2

活用ブック

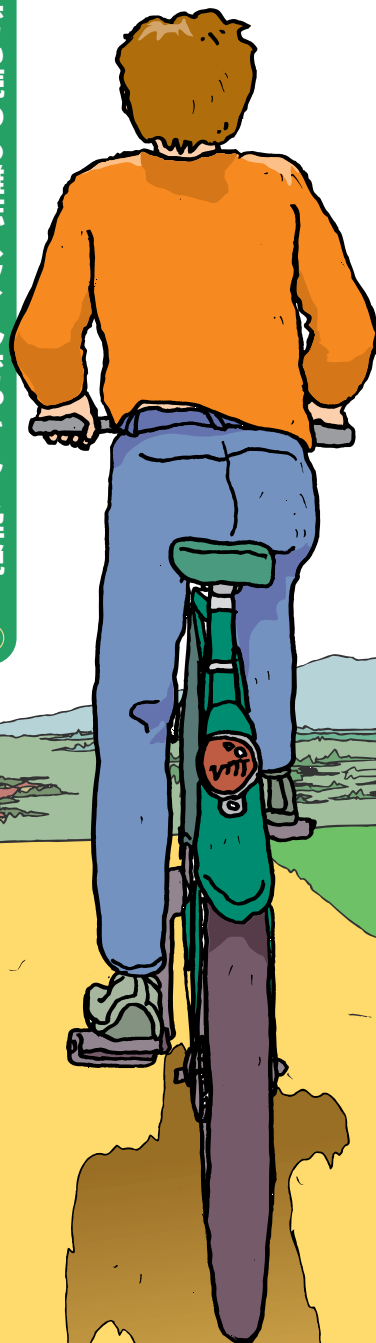
どこからでも読める雑誌スタイルでやさしく解説！

VALUESTAR
LaVie

マウスをはじめて使う人も
メール、インターネットが気になる人も

パソコン初心者道場

透明感のあるデザインで
検索機能も強化した新世代OSの魅力

Windows Vista
これがVistaだ！

ソフトがあるからパソコンが活きる

使って役立つ 便利なソフト活用術

もう、書類が出てこないなんて言わせない

見つかるさがせる 簡単ファイル整理術

デジタルカメラも音楽もテレビもビデオも

リモコンでデジタルメディアを制覇しよう

パソコン初心者道場

①基本編

②文字編

しっかりセキュリティで
あんしんインターネット

③メール編

④ホームページ編

「パソコンのいろは3」を
使ってみよう!

使って役立つ便利なソフト活用術

見つかるさがせる簡単ファイル整理術

Windows Vista これがVistaだ!

リモコンでデジタルメディアを制覇しよう

①写真を見る

②音楽を聴く

③テレビ・ビデオを見る

④つないで楽しむ

今、注目の新機能

索引

853-810601-739-A　　2008年4月　初版

あなたはパソコンで何をしたいですか？

いろんなことができる。その分難しいのがパソコン。欲張らないで、いちばんやりたいことから、少しずつ始める。それがパソコン上達への近道なんです。

パソコンを使うといろんなことができます。手紙を書いたり、調べ物をしたり、企画書を作ったり、デジタルカメラで撮った写真を保管したり……。いろんなことができるのが、パソコンのいいところなのです。

でも、パソコンを使うのは難しい。なかなか使い方を覚えられない。そう思っていませんか。

それは、いろんなことができるからなのです。いろんなことができるように作られているから、自分の使いたい機能に近づくのが難しい。いろんなことをいっぺんにやろうとするから覚えられない。

つまり、いろんなことができるから便利で、だから、難しい。

そこで、もし、あなたがパソコンにあまり慣れていないなら、まずいちばんやりたいことを決めてください。そして、そこから始めてください。決して欲張らずに。

ひとつの使い方に慣れると、つぎにほかの使い方を覚えるとき、ずっと簡単になります。

この『活用ブック』は、パソコンと楽しくつきあっていけるように、基礎的なことからていねいに説明するように心がけて作りました。

また、どこからでも読めるように雑誌のような作りにしました。マニュアルらしい約束事もできるだけ使わないようにしています。

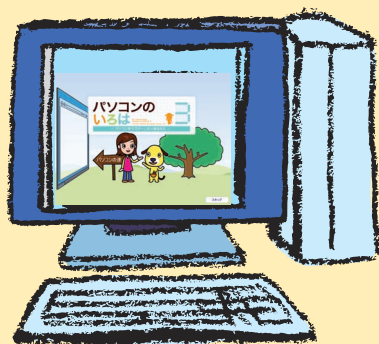
パソコンの専門用語も、あまり使わないように気を付けましたが、覚えてしまった方が便利な言葉は使っています。

新しく出てきた言葉は、すぐに説明するようにしましたが、くどくならないように、何度も説明することはしないようにしています。読み飛ばしてもいいですし、気になるときは、索引で説明がある場所をさがしてください。

「パソコンのいろは3」のご紹介

このパソコンには、パソコンの基本的な使い方を練習するためのソフト「パソコンのいろは3」が入っています(ＬａＶｉｅ Ｊを除く)。

実際にパソコンを使って、自分の手で操作しながら、パソコンの使い方をひとつずつ覚えることができます。画面にガイドが表示されるのでわかりやすく、自然にパソコンに慣れることができます。

ぜひ「パソコンのいろは3」を使ってみてください。詳しい使い方は、50ページに載っています。

心配しなくてもだいじょうぶ。気楽に始めよう。

初心者のかたは、知っているところは飛ばしながら、はじめから読んでいくといいと思います。慣れているかたは、必要なところから読んでください。

はじめてパソコンを使うなら

『活用ブック』の前半は、はじめてパソコンを使う人のための、「パソコン初心者道場」です。マウスの使い方から、メール、インターネットまで。

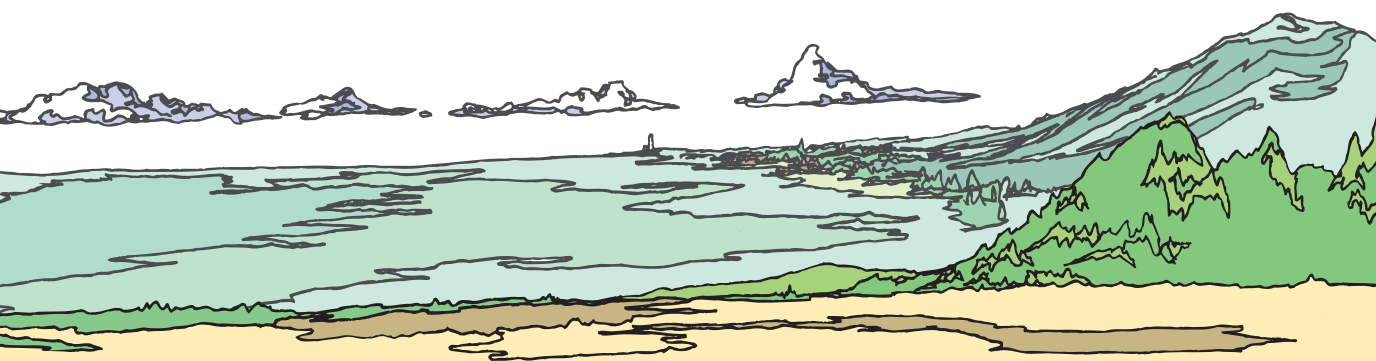
ソフトやファイルを使いこなす

つづけて、ソフト(アプリケーション)とファイルの扱い方。なんでも、道具＝ソフト、目的＝ファイルと考えるのがパソコン流。使いこなせば免許皆伝です。

リモコンで楽しむデジタルメディア

後半は、写真や音楽、テレビ、ビデオの楽しみ方。デジタルカメラやオーディオ機器をつないで、パソコンの使い方を広げます。

セキュリティやネット映像などの新しい話題は

注目されている話題は、「しっかりセキュリティであんしんインターネット」、「Windows Vista これがＶｉｓｔａだ！」、「今、注目の新機能」で説明します。

ノートを用意しよう

ひとつ、提案があります。

パソコンをはじめて使い始めるかたは、ノートを一冊用意しておいてほしいのです。

はじめて使うパソコンは、いつも思い通りにいくとはかぎりません。一度うまくいったことも、すぐに忘れてしまうものです。

たとえば、ハガキを印刷するときに、こうやってこうやったらうまくいったという作業の道順をかんたんにメモしておくと、また同じことをするときに、とても役に立ちます。

同じことをしょっちゅうやっていれば、すぐにそのやり方を覚えますが、なかなかそうはいきません。間があいてしまうことのほうが多いものです。

パソコンの設定をどう変えたか、インターネットでどういうところに登録したか、メモしておきたい場面はけっこう出てきます。

かんたんな、自分にしかわからないメモでいいんです。パソコンの横にいつも置いておくと、いろんなノウハウを蓄積できます。

目次

パソコンのメールやワープロの
文字は、キーボードを使って
書き込みます。これが………

①基本編
マウスから始めるパソコンの基本

マウス、デスクトップ、ウィンドウ……、パソコンを使い始めるときにまず覚えたい基本から。

②文字編
文字で伝えたい言葉があるから

パソコンで自由に文字を打てるようになったら、まず何を書きたいだろう？　文字が打てれば、パソコンでできることがグッと広がる。

マウスは、ラジコンやゲーム機の
コントローラーみたいなものです。
ちょっと違うのは………

「パソコンのいろは３」を使ってみよう！

実際にパソコンを使って、基本的な操作の
練習をしてみましょう。
まちがえても大丈夫！

インターネットを使うなら、ウイルス対策や個人情報管理は欠かせません。

日頃の注意が効いてくる

しっかりセキュリティで あんしんインターネット

③メール編

「あとでメールください」と言われたけど

切手も封筒もいらない手軽なメール。基本を押さえれば、むずかしくはない。気軽に覚えて使いこなそう。

「それじゃ、あとでメールください」って言われても、あせることはありません。メールを送るチャンス………

④ホームページ編

世界中のホームページをのぞいてやろう

天気も地図もショッピングも。インターネットは情報満載。ホームページは仕事にも趣味にも役に立つ。

ホームページは誰もが自由に作って公開できるので、世界中で日々増加しています。その………

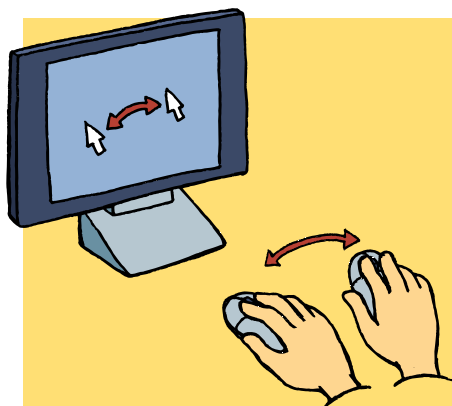
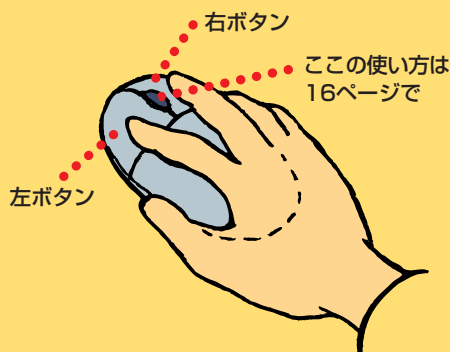
マウスから始めるパソコンの基本

マウスは、ラジコンやゲーム機のコントローラーみたいなものです。ちょっと違うのは机の上に置いて、手を乗せて操作するところ……。

机の上ですべらせてみよう

マウスはパソコンの画面の中にある矢印（マウスポインタ）を動かすコントローラーです。丸っこくてコードがシッポみたいでネズミみたいだったので、マウスと呼ばれます。

机の上に置いてすべらせてみましょう。画面の矢印も動きましたね。

大きくグルグル動かしながら、その形をよく見てみると……。マウスポインタの形は場所によって矢印（　）や手（　）などの形に変わるんです。

机の上でマウスを動かすと、パソコンの画面でマウスポインタが動く。グルグルと動かしてみよう

ボタンがついている側を前方にして机の上に置き、右手の平でそっと包むように持ち、人差し指を左ボタンの上に、中指を右ボタンの上に置きます（左ききの人は指の位置を逆にしてください）

クリックするとなにかが起きる

マウスポインタを、画面の中の「どこか」に動かして、そこで「なにか」をする。それが、パソコンへの指示になります。

「なにか」には、主に左の図の四つがあります。

パソコンの画面を見ながら、マウスポインタ（ ）をごみ箱（左上の方にあります）に合わせて、ダブルクリックしてみましょう。四角いものが開きましたね。これが、ごみ箱の中身です。今度は、右上の をクリックしてみましょう。ごみ箱が閉じます。こんな風に指示を出すわけです。

マウスを動かしているうちに、机の端まで行ってしまっても大丈夫。上に持ち上げて空いている場所に置きなおしてください。持ち上げている間は、マウスポインタは動きません。

【クリック】

左側のボタンをカチッと押してすぐ離すこと。何かを選ぶときなどに使う。

【ドラッグ】

左側のボタンを押したままマウスを動かすこと。何かを動かすときなどに使う。

【ダブルクリック】

左側のボタンをカチカチッと2回押すこと。

【右クリック】

右側のボタンをカチッと押してすぐ離すこと。

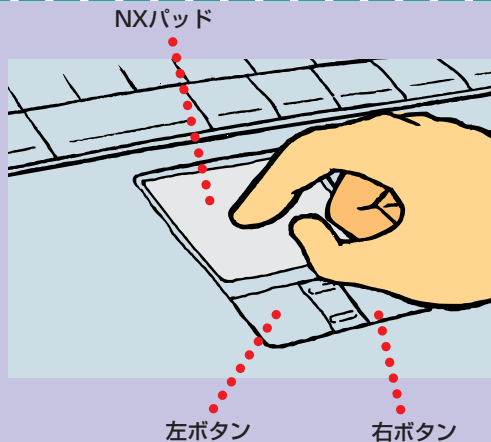
カチッ

NXパッドもマウスのように使える

ノートパソコンのキーボードの手前には、「NXパッド」がついています。これはマウスと同じ働きをするので、マウスと両方あるときは使いやすい方を使ってください。マウスを動かす場所がないときにも使えます。

NXパッドを指でこすると、マウスを動かしたときと同じようにマウスポインタが動きます。左ボタンと右ボタンはマウスのボタンと同じように使います。

NXパッド

左ボタン　右ボタン

NXパッドを1回トンとたたくことを「タップ」という。左ボタンのクリックと同じ働きをする

デスクトップの風景をながめてみよう

パソコンの画面をデスクトップといいます。あなた専用の机です。
あなたのデスクトップには、どんな風景が見えていますか？

左側にはマークがいっぱい

パソコンの電源を入れてしばらくすると、マウスポインタが回転する円から矢印になって、下図のような画面になります。この画面はパソコンのモデルや設定で違います。

これが「デスクトップ」。机の上です。ここにいろんなものをひろげて何かしようというイメージです。

左側にパラパラとマークが見えていますね。ごみ箱と書かれたものや、インターネットに関係がありそうなものが並んでいます。みんな同じくらいの大きさで、下に名前が書いてあります。

このマークを「アイコン」といって、パソコンの中に入っているものや機能をあらわし

パソコンの画面いっぱいにひろがる「デスクトップ」（机の上）。この上でメールを書いたり、ワープロを使ったりする

ています。アイコンは、デスクトップのいちばん下の横長の帯（タスクバー）の右端にもあるし、パソコンを使っているとあちこちで見かけることになります。

「デスクトップ」という言葉と「アイコン」という言葉は、パソコンのことを知るために、ぜひ覚えておいてください。

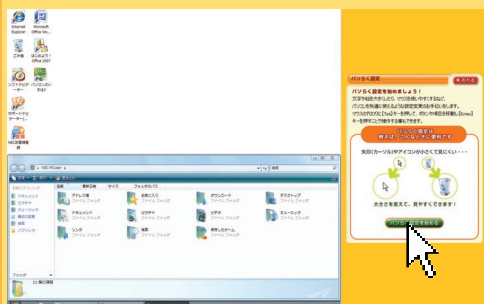
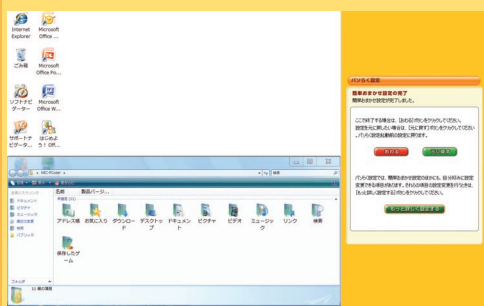
デスクトップの文字を大きくする

アイコンの下の名前が小さくて見づらい人は、デスクトップのアイコンを大きくしてみましょう。「パソらく設定」というソフトでアイコンやマウスポインタの大きさをかんたんに変えることができます。

「パソらく設定」を使うには、ソフトナビゲーターで「パソコンの設定」、「画面表示やマウス・キーボードの利用環境を設定する」、「ソフトを起動する」の順にクリックして、「パソらく設定」を起動します。（ソフトナビゲーターについて詳しくは次のページで）

「簡単おまかせ設定」を選べば、デスクトップのアイコンや文字が大きくなります。

■ パソらく設定

ソフトナビゲーター（14ページ）→「パソコンの設定」→「画面表示やマウス・キーボードの利用環境を設定する」→「ソフトを起動する」で起動する

「パソらく設定」は、デスクトップ画面の右半分に表示される。「パソらく設定を始める」、「簡単おまかせ設定」、「設定する」の順にクリックすると……

画面左側のアイコンや文字が大きくなる。これでよければ「おわる」をクリック。大きすぎるときは、「元に戻す」をクリックして、「自分で設定」を選べば、好きなように設定できる

これらの絵文字をアイコンという。ごみ箱のほかに、書類を入れる場所やソフトなど、いろんなものがアイコンであらわされている

いよいよソフトを開いてみる

ワープロソフト、メールソフト、表計算ソフト……、パソコンでなにかをするときは「ソフト」という道具を使います。

ソフトを使うためにすること

デスクトップの右側には、「サイドバー」があります。ここの「おすすめメニュー」をクリックして、左側に表示される「ソフトを探す」をクリックすると、「ソフトナビゲーター」が開きます。

このソフトナビゲーターは、ソフトを探して起動するときに使います。

「ソフト」というのは、パソコンでなにかをするための道具。「起動する」というのは、そのソフトを道具として使える状態にすること……。いや、こんな説明をするより、実際に、そのソフトというものを起動したほうが早いですね。「ワードパッド」というソフトはいかがでしょう。文章を書くために使うシンプルなソフトです。

左のページの手順にそって、ワードパッドを起動してみましょう。

ソフトナビゲーターは、ステップ1、ステップ2と、画面にあげられた目的を選んでいくと、右側に適切なソフトが表示される仕組みになっています。ワードパッドは、文章を書くためのソフトなので、「文書・はがき作成」、「メモを書く」、「そのほかのソフト」の順にクリックしていきます。

「ワードパッド」アイコンの下の「ソフトを起動する」をクリックすれば、ワードパッドが起動します。四角い枠が開きましたね。こういう枠を「ウィンドウ」といいます。

これは、ワードパッドのウィンドウ。文章を書くための場所です。

ソフトナビゲーターは、デスクトップの右端の「おすすめメニュー」をクリックして、左に出たメニューの「ソフトを探す」(ソフトナビゲーター)をクリックすると開く

サイドバー

ソフトを終了する

ここでキーボードを使うと文字を入力できるのですが（22ページ）、先に終わり方を試してみましょう。左上の「ファイル」をクリックすると、その下にいくつかの項目が出てきます。こういう一覧を「メニュー」といいます。この中の「ワードパッドの終了」をクリックすると、ワードパッドのウィンドウが閉じて、終了します。

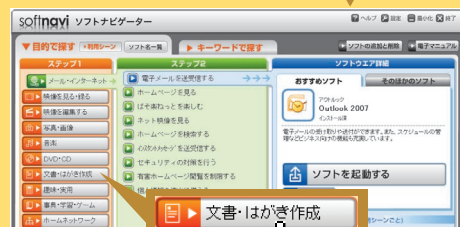
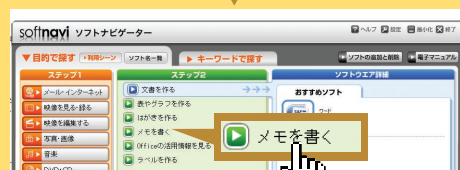
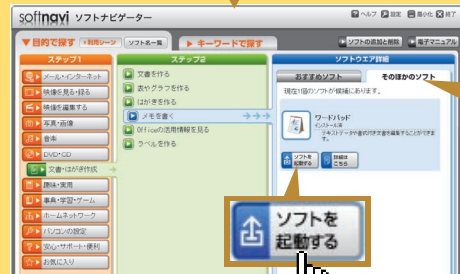
右上の赤い[X]をクリックしても閉じますが、メニューからも操作できるんです。

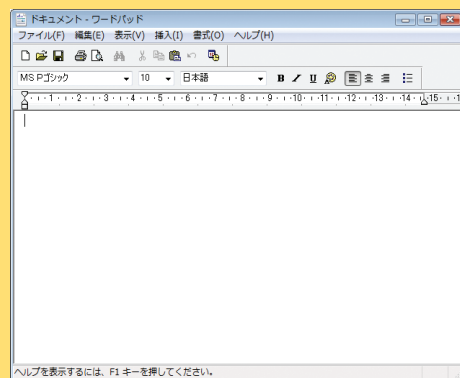
ここでは、ソフトナビゲーターを使ったソフトの起動と終了をやってみましたが、ソフトを起動する方法は、ソフトナビゲーターを使う方法だけではありません。これ以外にもいくつかの方法があります。52ページを参照してください。

デスクトップ右端の「おすすめメニュー」をクリック

「ソフトを探す」（ソフトナビゲーター）をクリック

デスクトップ左端の をダブルクリックしても同じようにソフトナビゲーターが開きます

ソフトナビゲーターは、左から右へ順に見ていく仕組み

「文書・はがき作成」をクリック

「メモを書く」をクリック

「そのほかのソフト」をクリック

「ワードパッド」のアイコンの下の「ソフトを起動する」をクリック

上に「ドキュメント-ワードパッド」と書かれた四角い枠が開く。これが「ワードパッド」というソフトである

ウィンドウの使い方いろいろ

ソフトを起動すると開く四角い枠をウィンドウといいます。デスクトップ（机の上）に開いたノートや本のイメージなんです。

スクロールでずらしてみる

ソフトを起動して画像を見ようとしたのに、あれ、様子がヘンですね。ウィンドウよりも大きいものは、はみだしたところが見えません。こんなときは、ウィンドウの右や下の端の ▲ や ▼ をクリックしてズラしてみましょう。これをスクロールといいます。

ウィンドウの右縁・下縁でスクロール

もっと上の方を見たいときは、ここをクリックする

いま全体のどのあたりが見えているかを示している。ここをドラッグしてもスクロールできる

もっと下の方を見たいときは、ここをクリックする

もっと右を見たいときは、ここをクリックする

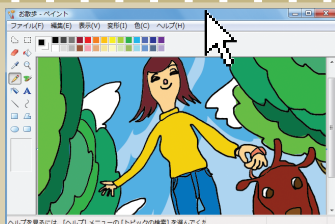
マウスで簡単スクロール

ここを奥に回すと上へ、手前に回すと下へスクロールします

横スクロールマウスでは、左右に倒すと左や右へスクロールできるソフトもあります

この冊子ではウィンドウのことを「画面」とも呼んでいます

ウィンドウの基本操作

この横長の帯（掛け軸でいえば、上の軸にあたる部分）をドラッグするとウィンドウが移動する。最大化しているとき（画面いっぱいに表示しているとき）はできない

角の部分をドラッグすると、ウィンドウの大きさが変わる。最大化しているとき（画面いっぱいに表示しているとき）はできない

ウィンドウはたくさん開ける

ウィンドウは、いくつも開けます。いろんなことができます。メールとホームページを見ながら、企画書を書く、そんな感じです。でも、いくつ開いても、一度に操作できるウィンドウはひとつだけです。それは、いちばん手前に見えているウィンドウです。

ウィンドウをたくさん開くと、最初に開いたウィンドウがだんだん隠れて見えなくなります。下の方に隠れたウィンドウを操作したいときはどうすればいいでしょう。

操作したいウィンドウが見えているときは、そのウィンドウの文字などがない部分をクリックすると、いちばん手前になります。ウィンドウが見えていないときやウィンドウが最大化に（画面いっぱいに）なっているときは、画面左下の■をクリックするか、画面のいちばん下のタスクバーに表示されたウィンドウの名前をクリックします。ただし、ほかのソフトと同時には使えないソフトもあります。

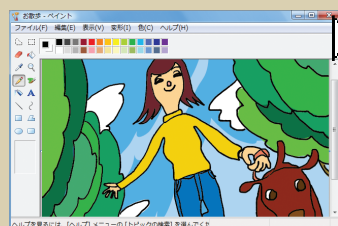
タスクバー

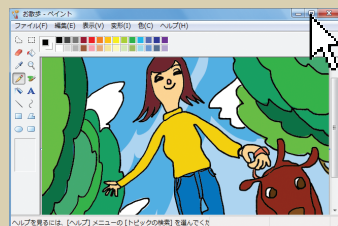
ここには、開いているウィンドウの名前が表示される。クリックすると、そのウィンドウがいちばん手前になる

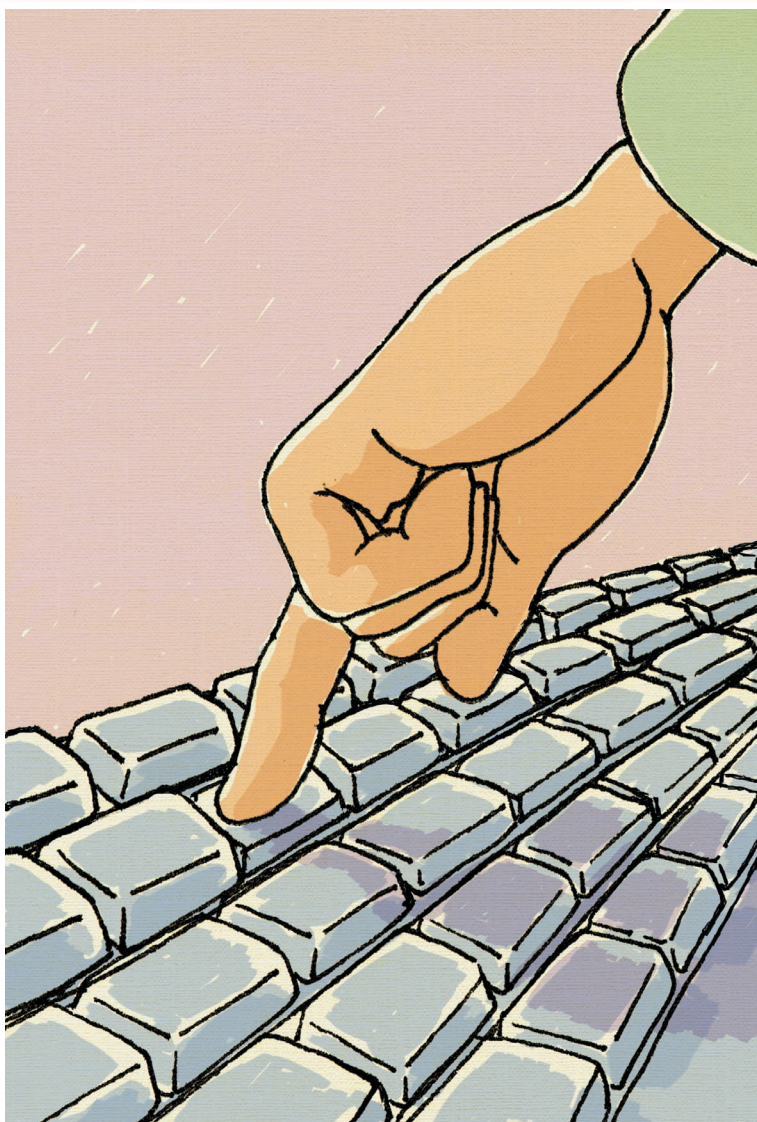
■をクリックする

こんな具合に重なっている。いちばん手前が、今操作しているウィンドウ。操作したいウィンドウを見つけたらそれをクリックする
Windows Vista Home Basicモデルでは、この画面は表示できません

この■印をクリックすると、ウィンドウが仮に閉じて（本当に閉じているわけではない）、タスクバーの表示だけになる。タスクバーの表示をクリックすると復活する

お散歩 - ペイント

この■印をクリックするとウィンドウが閉じる

この■印をクリックするとウィンドウがデスクトップいっぱいに開く。これを「最大化」という

文字で伝えたい言葉があるから

パソコンのメールやワープロの文字は、キーボードを使って書き込みます。これが「文字を入力する」という技です。

キーボードは慣れれば速くなる

自由自在に文字が入力できるようになったら、あなたは何を書きたいですか？　友だちにメールを送る？　小説を書く？　それとも日記をつけますか。

文字を打てば、パソコンでできることがグッと増えるのです。できるようになったら、と言わず、すぐ始めてみましょう。

キーボードにはたくさんのキーが並んでいますが、おそれることはありません。競争や試験ではないのですから、あなたのペースで、少しずつキーをさがしながら押していけばいいのです。まちがえても､やりなおしできます。

文字にしたい言葉があれば、いつのまにかスイスイ打てるようになるものです。

ローマ字入力がおすすめです

日本語のひらがなや漢字を入力するときは、まず読みを入力してから、スペースキーで変換します。その読みは、ローマ字で入力する方法とかなで入力する方法があります。

キーボードをよく見ると、左上に「A」、右下に「ち」という具合にいくつかの文字が書いてあります。この左上のローマ字を見て入力するのがローマ字入力、右下のひらがなを見て入力するのがかな入力です。

おすすめは、ローマ字入力。

「か」と入力するときに、かな入力なら「か」のキーを押すだけ、ローマ字入力では「K」と「A」のふたつのキーを押さなければならないので、一見ローマ字の方がタイヘンそうですが、ローマ字は数が少ないので、覚えるキーも少なくてすむし、さがすのもカンタンなのです。

日本語をローマ字で打つために必要なキー

日本語を入力する準備をしよう

文字の入力を始める前にちょっとした準備をしましょう。
どのように文字を入力するかを言語バーで選びます。

言語バーをさがそう

どんなふうに文字を入力するかは、「言語バー」（左図）で決めます。いま、どういう文字が入力される状態になっているのかも、これを見ればわかります。

六個くらいのアイコンが並んだ横長の帯で、たいていは、パソコンの画面の右下の方にあります。

それぞれのアイコンをクリックすると、メニューが表示されます。[アイコン]は、メニューではなく「IMEパッド」という画面が表示されます。マウスで手書きで文字を入力したり、一覧表から文字を選ぶことができます。

言語バー。文字の入力のしかたを変えるために使う（設定によって、画面は異なります）

ローマ字入力に切り換えよう

「ローマ字入力」と「かな入力」。どちらにするか決心はつきましたか？

どちらにするかは、パソコンを買って最初に使うときに指定しますが、あとで変えることもできます。

[Aち]キーを押して、「ち」と入力されるときは、「かな入力」になっています。「ローマ字入力」になっていれば、「あ」と入力されます。

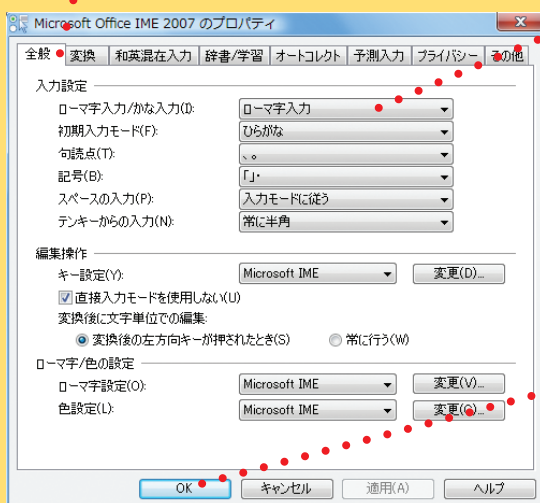
左ページの操作をすると「ローマ字入力」に変えられます。

■ ローマ字入力に切り換える

メニューが表示される

「プロパティ」をクリックする

言語バーの(ツール)をクリックする

「全般」をクリックする

ここが「ローマ字入力」になっているときは、すでに「ローマ字入力」に設定されているので、下の操作はしないで、「OK」をクリック
「かな入力」になっているときは、そこをクリックし、表示された一覧の「ローマ字入力」をクリック

「OK」をクリックすると、ローマ字入力になる

設定によって、画面は異なります

ローマ字変換表

ぱ PA	ば BA	だ DA	ざ ZA	が GA	わ WA	ら RA	や YA	ま MA	は HA	な NA	た TA	さ SA	か KA	あ A
ぴ PI	び BI	ぢ DI	じ ZI・JI	ぎ GI	を WO	り RI	ゆ YU	み MI	ひ HI	に NI	ち TI・CHI	し SI・SHI	き KI	い I
ぷ PU	ぶ BU	づ DU	ず ZU	ぐ GU	ん NN	る RU	よ YO	む MU	ふ HU・FU	ぬ NU	つ TU・TSU	す SU	く KU	う U
ぺ PE	べ BE	で DE	ぜ ZE	げ GE		れ RE		め ME	へ HE	ね NE	て TE	せ SE	け KE	え E
ぽ PO	ぼ BO	ど DO	ぞ ZO	ご GO		ろ RO		も MO	ほ HO	の NO	と TO	そ SO	こ KO	お O

ぁ、ぃ、ゃなどの小さい文字だけを入力するときは、直前に「L」キーか「X」キーを押す。例：ぁ→LA、ゅ→LYU
きゃ、きゅ、しゃなどは、間に「Y」キーを押す。例：きゃ→KYA、きゅ→KYU
（しゃ、しゅ、しょは、間に「H」キーを押しても入力できます）
「ディ」は「DHI」と打つ。「デ」と「ィ」に分けて、「DE」、「LI」と打つ方法もある。また、小さい「っ」は、次の文字を繰り返して打つ。例：きっかけ→KIKKAKE

さあ、文字を入力してみましょう

ここで、実際に文字を入力してみましょう。「地図を送ってください」という短い例文です。
ひとつずつ気楽に、まちがえたってだいじょうぶ。BackSpace（バックスペース）キーで消せばいいんです。

文字を入力する練習をしましょう。下のふたつの準備をしたら、左のページの手順をよく見て、文字を入力してみましょう。

準備１　ワードパッドを開く

「ワードパッド」を開いて、文字を入力してみましょう。

① 「ソフトナビゲーター」をダブルクリックする
② 「文書・はがき作成」をクリックする
③ 「メモを書く」をクリックする
④ 「そのほかのソフト」をクリックする
⑤ 「ワードパッド」の「ソフトを起動する」をクリックする

→「ドキュメント-ワードパッド」という画面が開き、下の白い長方形の部分の左上に縦棒が点滅する

準備２　日本語を入力できる状態にする

言語バーを見てください。

A になっているときは、「半角/全角」キーを押してください。

A が あ に変わります。

日本語入力の変換・確定

ローマ字で文字を入力したら、次のキーを使って変換・確定します。

日本語入力で変換・確定に使うキー		KAと入力してこのキーを押すと
スペースキー または 変換キー	変換の候補を表示する	か、ｶ、課、科、など
F6	ひらがなに変換する	か
F7	カタカナに変換する	カ
F8	半角カタカナに変換する	ｶ
F9	全角英字に変換する	ｋａ、ＫＡ、など
F10	半角英字に変換する	ka、KA、など
Enter（エンター）キー	確定する	

■練習■　「地図を送ってください。」と入力してみましょう。

地図を送ってください。

TI ZU WO O KU TTE KU DA SA I .

操作	画面
「T」キー（T か）を押す。	t
「I」キー（I に）を押す。	ち
「Z」キー（Z っ）を押す。	ちz
「U」キー（U な）を押す。	ちず
スペースキー（　　）を押す。	地図
Enter（エンター）キー（Enter）を押す。	地図
「W」キーを押す。	地図w
「O」キーを押す。	地図を
Enter（エンター）キーを押す。	地図を
「OKUTTE」の順にキーを押す。	地図をおくって
「送って」と表示されるまで、スペースキーを押す。	地図を送って
Enter（エンター）キーを押す。	地図を送って
「KUDASAI」の順にキーを押す。	地図を送ってください
Enter（エンター）キーを押す。	地図を送ってください
「. 」キー（> 。る）を押す。	地図を送ってください。
Enter（エンター）キーを押す。	地図を送ってください。
Enter（エンター）キーを押す。	地図を送ってください。

「ち」は、「TI」でも「CHI」でも入力できる。

スペースキーを押して、それまでに入力した文字をどの文字にするかの候補を表示する。
もし、「地図」という字にならなかったときは、「地図」という字になるまで、何回かスペースキーを押してみよう。（行き過ぎたときは、「↑」キーで戻れる）

「地図」と表示されたら、Enterキーを押して確定する。確定すると、文字の下の線が消える。

「を」は、これ以上変換する必要がないので、スペースキーを押さずに、Enterキーを押す。

小さい「っ」を入力するときは、その次に入力する文字「T」をもう一度押す。

Enterキーを押して改行

日頃の注意が効いてくる

しっかりセキュリティで あんしんインターネット

●パソコンを買ったら、まずインターネット！　でも、ちょっと待って。セキュリティは大丈夫？
せっかく建てた家が、窓も戸も開けっ放し、鍵もかからないってことになっていませんか？
●そう、いろんな情報が公開され、ショッピングも手軽なインターネットの世界ですが、
ウイルスや個人情報の流出、ネット詐欺など、とってもせちがらい世界でもあるのです。
●でも、基本的な防犯対策さえ続けておけば、危険性はぐっと減るんです。

あなたのパソコンを襲う危険な罠

ウイルスっていったい何？

世間を騒がすコンピュータウイルス（以下、ウイルスと略）のことは、聞いたことがありますか？

ウイルスというのは、パソコンの中で不正な動きをするプログラムのことです。インフルエンザなどのウイルスのように、パソコンからパソコンへ伝染して症状をひきおこすことからこう呼ばれています。

ウイルスに感染すると、ハードディスクの内容が書き替えられたり消されたりする、画面に覚えのないアイコンやメッセージが表示されて使えなくなる、インターネットに接続できなくなるなど、ウイルスの種類によっていろんな症状が出ます。

勝手にメールソフトのアドレス帳を覗いて、記入されているアドレス宛に自分自身を送りつけて増殖する、ワームタイプと呼ばれるウイルスもあって、知らないうちにたくさんの知人に迷惑をかけてしまうこともあります。信用にかかわる問題ですね。

逆に、知人から来たメールに、ウイルスが添付されていたからといって、その知人を責めてはいけません。その知人とあなたをアドレス帳に登録している別の人のパソコンに潜むウイルスが、知人のアドレスを差出人にして送ってきたかもしれないからです。

ウイルスに対抗するには？

まず、心当たりのないメールの添付ファイルは開かないで削除する、むやみにファイルをダウンロードしないというのが基本です。

ところが、Windows（このパソコンの基本ソフト）などのセキュリティの弱点、いわゆる、セキュリティホールをついて、勝手に入り込んでくるウイルスも増えています。

これらに対抗するには、Windowsを最新のセキュリティ対策がなされたものにアップデート（更新）して侵入を防ぎ、さらに、ウイルス対策ソフトでパソコンの中にウイルスがいないかをチェックして、駆除する必要があります。

これだけはやっておこう！ 1

Windows Update

セキュリティホールを修復する

このパソコンの基本ソフト、Windowsを発売しているマイクロソフト社は、Windowsに問題点が発見されると、修正用のプログラムをホームページで無料配布します。

これを、「ウィンドウズアップデート」といいます。

また、パソコンに入っているWindowsには「セキュリティセンター」という機能があって、インターネットを使って定期的に重要な修正がないかを調べて、重要な修正があると、「ウィンドウズアップデート」を使って、自動的にアップデート（更新）してくれます。

発売時には発見されていなかった問題点を攻撃する新種のウイルスはつねに発生していて、その対策は、こまめに継続しておこなう必要があります。

この「セキュリティセンター」を有効にして、インターネットに接続できる状態にしておくと、自動的に問題点が修正されるので、手間もかからないし、安心です。

Windows Update
デスクトップの「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Update」の順にクリックすると表示される。「更新プログラムの確認」をクリックすると、Windowsの問題点を修復するプログラムをダウンロードできる。この画面からさらに「他の製品の更新プログラムを取得します」をクリックすると、Microsoft Updateのページが表示される。「Microsoft Update」をインストールすると、Windowsだけでなく Office製品の更新プログラムもダウンロードできるようになる
（画面は予告なく変更される場合があります）

セキュリティセンターの「自動更新」が有効になっているか確認してみよう

「スタート」-「コントロールパネル」-「セキュリティ」-「セキュリティセンター」をクリック

これだけはやっておこう! 2
ウイルス対策ソフト

医者を常駐させる

Windowsをアップデートしても、ウイルスに感染する危険がゼロになったわけではありません。ウイルス対策ソフトで、定期的にパソコンを診察してウイルスの有無をチェックし、感染していたらすぐに治療しましょう。

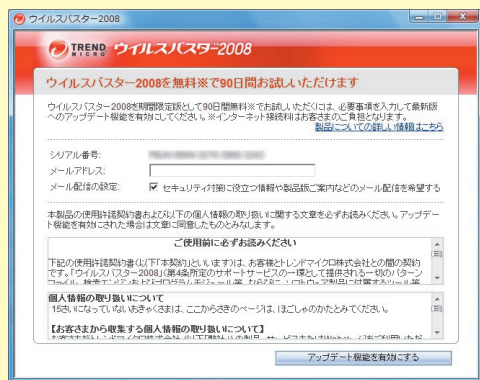
このパソコンには、「ウイルスバスター」というウイルス対策ソフトが入っていて、ウイルスの侵入をいつもチェックするように設定されています。

ただし、ウイルスには、頻繁に新種が発生するので、このウイルス対策ソフトも、そのつどアップデートしなくてはいけません。新種の情報や駆除法を取り込まないと、新種のウイルスは駆除できないのです。

インターネットにつないだら、まず「ユーザー登録」をおこなってアップデート機能を有効にしてください（パソコンが作られてから、あなたの手に届くまでの間にも、新しいウイルスが出回っているかもしれません）。

このときから、90日間は無償サポート期間なので、無料でアップデートできます。90日を過ぎると、「ウイルスバスター」のすべての機能が使用できなくなります。90日過ぎてしまう前に、ダウンロード販売やパッケージなどで製品版を購入したほうがいいでしょう。

デスクトップ右下の をダブルクリックして、「ウイルスバスター」を起動しよう

メイン画面の「検索開始」をクリックすると、ウイルスの検索を開始します

デスクトップに表示されている「ウイルスバスターの登録」アイコンをダブルクリックすると、この画面が表示されます
「オンラインユーザ登録」した日から90日間は無償でアップデートできます
（画面は予告なく変更される場合があります）

こんなことにも注意しよう！ 1

個人情報を守るために

気軽に個人情報を書かないこと

インターネットでは、住所や電話番号、クレジットカード番号、暗証番号などの個人情報の扱いにも気を付けなければいけません。

まず、個人情報をホームページなどに書かないこと。不特定多数の人が見る掲示板では、本名やアドレスの公開にも慎重さが必要です。クレジットカードを不正利用される、身におぼえのない請求書を送りつけられる、無言のいたずら電話の標的にされる、などのトラブルに巻き込まれることがあります。

アンケートや懸賞を装って個人情報を収集し、不正利用するサイトもあります。

怪しいメールには、返事を出さないこと。機械的にメールアドレスを作って送りつけてくる迷惑メールに返事を出すと、アドレスが実在することがわかって、迷惑メールが増えることもあります。配信を解除する操作と見せかけてメールアドレスをだまし取る手口もあります。

金融会社などを装ったメールからホームページを開くよう誘導し、そこで口座番号や暗証番号、ＩＤなどを入力させるフィッシング詐欺も増えています。メールには素直にしたがわず、電話などで確認しましょう。

ネットショッピングにも要注意

ネットショッピングなどの、クレジットカード番号の入力にも注意が必要です。

重要なことは、信頼できる業者を利用すること。さらに、入力した個人情報が暗号化して送られるようになっているかも確認してください。暗号化されていないと、情報を盗聴されてしまうことがあります。

暗号化された接続なら、Internet Explorerの画面の上部のアドレス（ＵＲＬ）表示に🔒マークが表示されます。

ファイル共有ソフトの危険性

winnyなどのファイル共有ソフトも、とても危険です。その仕組みを利用するウイルスによって、パソコンの中の文書やメール、写真などをインターネットでつながっているほかの利用者に流出させることがあります。

こんなことにも
注意しよう！ 2

無線LANを使うとき

傍受されないように設定が必要

無線ＬＡＮにも、危険な落とし穴があります。電波は意外と広い範囲に届くので、家の外でも傍受できてしまうことがあります。近所の人のパソコンの中身が見えてしまうというのも、よく聞く話です。

そこに悪意があれば、パソコン同士のやりとりが盗聴されたり、ハードディスクの中身を見られたり、消されたりすることもあります。あなたのパソコンが、勝手にインターネットへの接続に使われたりすることもあります。

こうならないようにするためには、ＬＡＮのデータのやりとりを暗号化したり、接続するパソコンを限定したり、ＬＡＮの存在を外部からわからないようにしたりするなどの対策が必要です。

無線ＬＡＮを使うときは、「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「ワイヤレスＬＡＮを安全に使う」を見て、しっかりと設定してください。

最終兵器!? ファイアウォール(防火壁)がインターネットからの不正侵入をくいとめる

外部(インターネット)からの不正侵入を防ぎ、情報の流出を防ぐ機能を、ファイアウォールといいます。

このパソコンには、「Windowsファイアウォール」と「ウイルスバスター」というファイアウォールの機能を持つソフトが入っています。

ただし、ファイアウォールのソフトを二つ以上同時に使うと干渉しあってうまく働かないことがあります。どちらかを選んで使ってください。

また、ソフトの設定によってはLANの共有ファイルなどが使えなくなることがあります。設定を変更するなどの対処をしてください。「サポートナビゲーター」-「安心安全に使う」-「不正アクセスの防止」に、詳しい説明があります。

インターネットの接続に、ファイアウォール機能があるルータを使うと、さらに効果的です。(多くのルータには、ファイアウォール機能があります)

「Windowsファイアウォールの設定」の画面。有効にするときは、この画面で「有効」を選ぶ

「ウイルスバスター」のパーソナルファイアウォール機能の設定

「あとでメールください」と言われたけど

「それじゃ、あとでメールください」って言われても、あせることはありません。メールを送るチャンス到来です。

メールアドレスを手に入れよう

ふと見回すと、みんなメールをやりとりしている。でも、自分にも送ってほしいと思ったら、あなたへの送り先＝メールアドレスを、相手に伝えなければなりません。

それでは、メールアドレスはどこに書いてあるのでしょう？　じつは、パソコンには書いてないのです。メールアドレスはパソコンについているのではなくて、「プロバイダ」というところからもらうものだからです。

「プロバイダ」はインターネットのさまざまなサービスを提供する会社です。インターネットのホームページを見たり、メールを使うためには、プロバイダと契約する必要があります。

メールソフトを使う

プロバイダとの契約やインターネットの接続についてはプロバイダのマニュアルを参考にしてください。

プロバイダに加入すると、あなたのメールアドレスが届きます。それ以外に、メールソフトの設定に必要な情報も届きます。重要な情報なので、大切に保管してください。パスワードなど、秘密にしなければならない情報も入っています。

メールソフトというのは、メールを送ったり、受け取ったメールを保存するのに使うソフトです。宛先の住所録を作ったりすることもできます。

Ｏｆｆｉｃｅ２００７モデルに入っている「アウトルック２００７」というソフトには、メールソフトの機能があります。このソフトを使ってメールを出してみましょう。

「アウトルック２００７」の使い方は、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」にもあります。

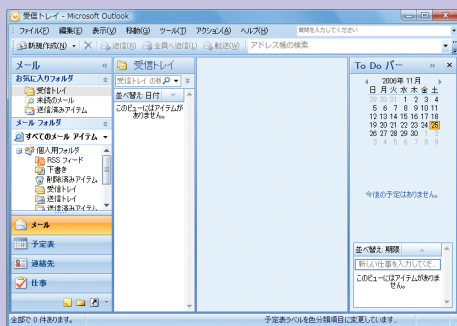
プロバイダ＝Internet Service Provider(ISP)の略

アウトルック2007を起動する

ソフトナビゲーター

メール・インターネット

電子メールを送受信する

Outlook 2007の「ソフトを起動する」

アウトルック2007は、スケジュール管理やアドレス帳、メールなどの機能を持っている

Windows® メールについて

アウトルック２００７が入っていないモデルをお使いのかたは、Windows® メールというソフトでメールを利用できます。

Windows® メールの使い方は、「サポートナビゲーター」-「使いこなす」-「ソフト一覧」-「Windowsメール」をご覧ください。

次の操作で起動

ソフトナビゲーター

メール・インターネット

電子メールを送受信する

Windows メールの「ソフトを起動する」

このほかにも、メールの送受信だけでなく、複数の電子メールアカウントを一括管理できる「Windows Live™ メール」というソフトもあります。

メールを書いて、送信をクリック！

切手も便箋も封筒もいりません。書いて、送信ボタンを押すだけです。さあ、メールを出しましょう！

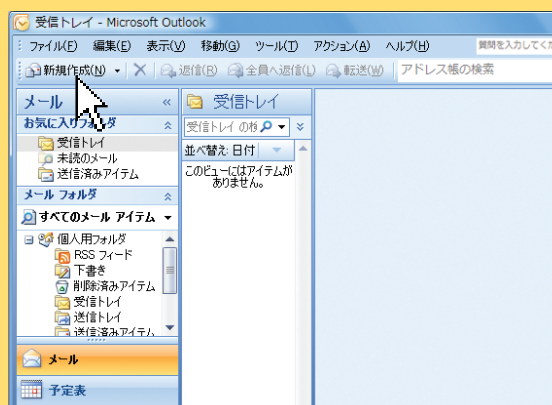
自分宛に送って試してみよう

メールをもらうのはうれしいけど、まず自分が出さないと、相手からも届きません。どんどんメールを書くのが、メール上達のコツです。

メールを書く画面にはいろいろな項目がありますが、宛先、件名、本文の三つさえ書き込めばメールを送れます。

宛先には、真ん中に「@」（アットマーク）の入ったメールアドレスを入力します。携帯電話のメールアドレスでもだいじょうぶ。

うまく届くかどうか、試しに自分のメールアドレスを宛先に入れて、自分にメールを送ってみましょう。自分にメールを出すなんて、ちょっと奇妙な感じですけどね。

メール送信にチャレンジ！

アウトルック2007（左）の「新規作成」をクリックすると、新しいメールの画面が開く（下）。宛先、件名、本文に記入し、「送信」をクリックするとメールが送信される

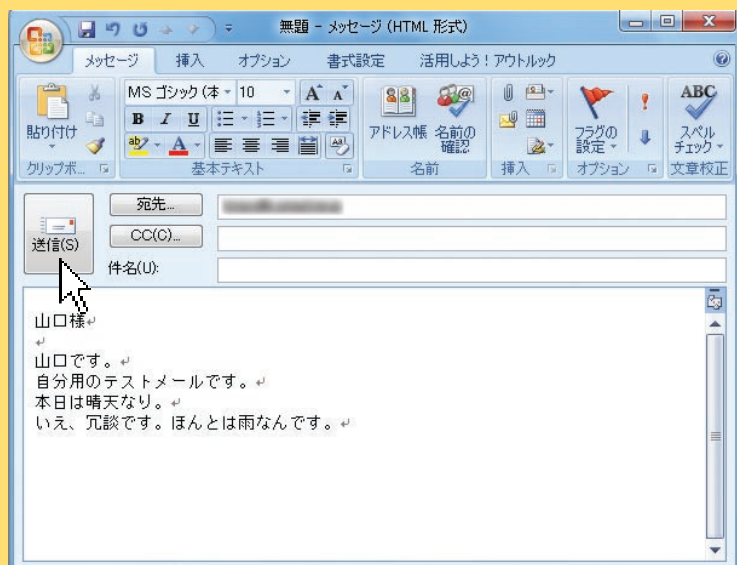
件名には、メールの題名を書きます。受信したとき、一覧に「件名」として表示されます。自分宛なので「テスト」でいいでしょう。

本文には、用件を書きます。手紙でいうと便箋にあたる部分です。最初に相手の名前と自分の名前を書くと、届いたときにわかりやすく、礼儀正しい印象になります。文字数に制限はありませんが、簡潔な方が好まれます。

書き終わったら「送信」をクリックしてください。これで、送信されます。

さて、メールがどうなったか確認するために、「送信済みアイテム」というフォルダを開いてみましょう。送ったメールがそこにあれば、無事送信されたということです。

読みなおしてから送ろう

「上書き保存」をクリックすると、メールは「下書き」に保存される

普通の設定では、「送信」をクリックすると、メールはすぐ送信されますが、（上書き保存）をクリックすると、書いたメールをすぐ送らずにとっておくことができます。

メールは「下書き」の中に入るので、送信するときに開いて「送信」をクリックすればいいのです。

自分の文章を読み返すと、意外と誤字や勘違いが見つかるものです。送る前に読み返す習慣をつけるといいですね。また、相手に意見をしたり、自分が、怒っていたりあわてているときは、「下書き」に少し寝かせて、落ちついてから送信する方がいいでしょう。メールは、表情や口調が伝わらない分、意図したものより強く伝わって、誤解されることがあるからです。

写真やファイルもいっしょに

文字だけでなく、写真などのファイルをいっしょに送りたいときは、写真などのアイコンをドラッグして、メールの本文の上に載せます。これを添付ファイルといいます。

写真やワープロ、表計算などのファイルを送りたいときは、ファイルをメールの画面にドラッグする

添付ファイルの名前をダブルクリックすると写真が表示される

届いたメールを読む

一日一度は、メールが来ていないかチェックしたいものです。それから、メールが来たら返事を忘れずに。きっと、あの人はあなたの返事を心待ちにしています。

メールはプロバイダに保管されている

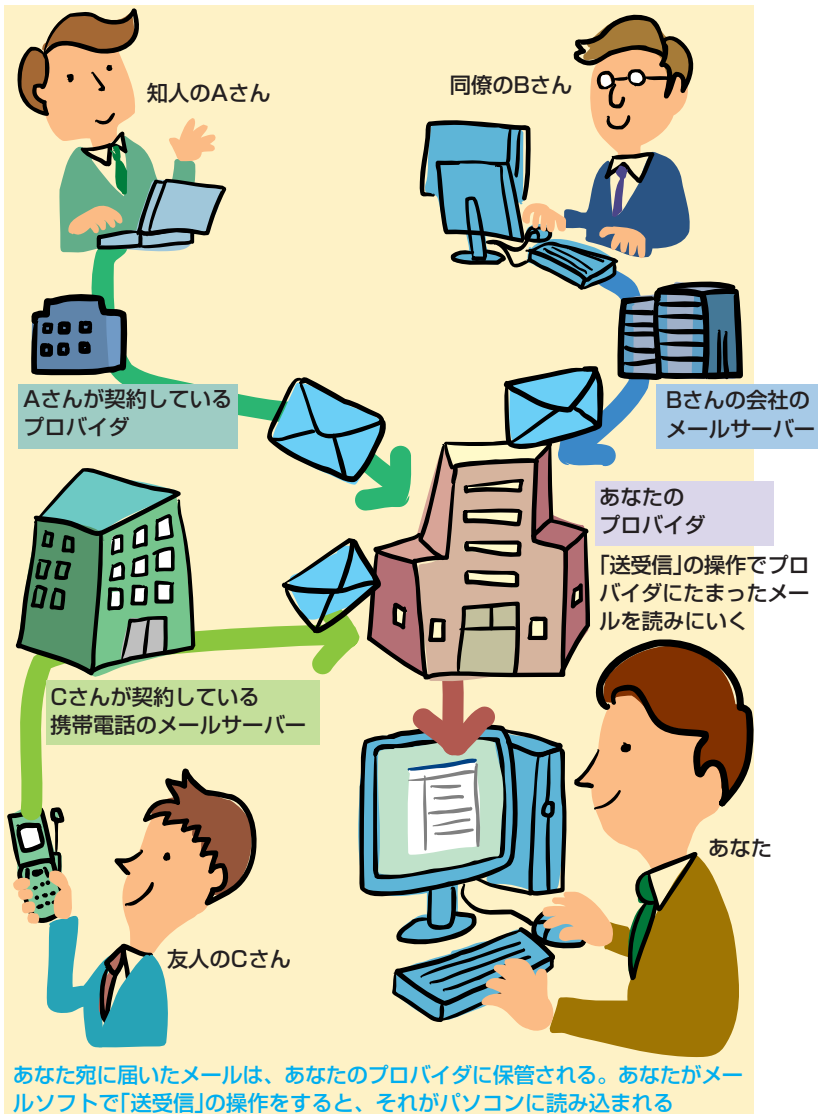
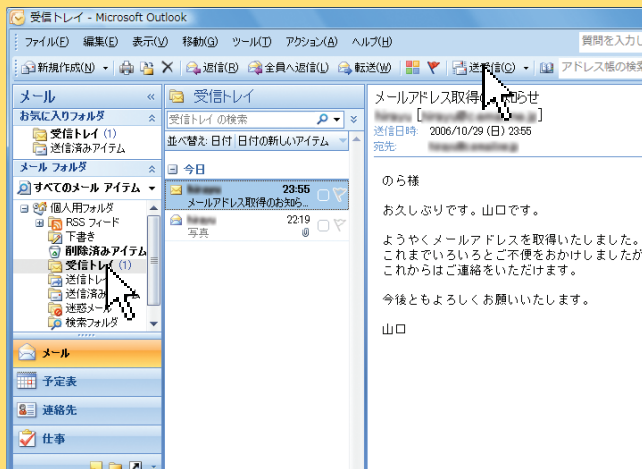
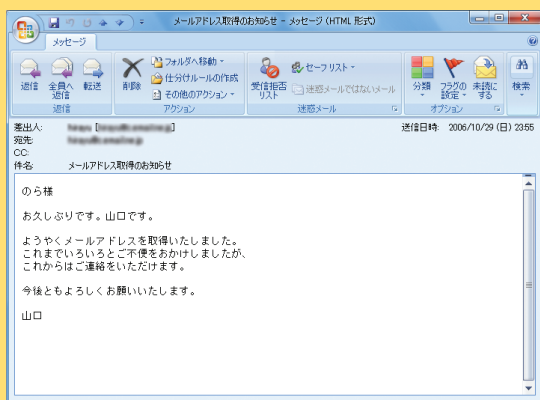
メールアドレスは住所のようなものです。

でも、メールは郵便のように、あなたの手元のパソコンまで直接届けられるわけではありません。あなた宛に送られたメールは、プロバイダの「受信メールサーバー」という郵便受けの中で、読まれるときを待っているのです。

「アウトルック2007」の画面上部の「送受信」をクリックしてみてください。メールソフトが、あなた宛のメールが届いていないかをチェックして、届いていれば、そのメールをあなたのパソコンまで持ってきてくれます。

新しく届いたメールは、マークがついて

知人のAさん
同僚のBさん
Aさんが契約しているプロバイダ
Bさんの会社のメールサーバー
あなたのプロバイダ
「送受信」の操作でプロバイダにたまったメールを読みにいく
Cさんが契約している携帯電話のメールサーバー
あなた
友人のCさん

あなた宛に届いたメールは、あなたのプロバイダに保管される。あなたがメールソフトで「送受信」の操作をすると、それがパソコンに読み込まれる

メールの受信と返信

「送受信」をクリックしよう。新しいメールがあれば、「受信トレイ」に表示される

「受信トレイ」をクリックして、読みたいメールをダブルクリックすると、新しい画面が開き、メールの文面が表示される

太字になっているのですぐわかります。このメールをダブルクリックすると、別の画面が開いて、メールの本文が表示されます。

メールは、できるだけ毎日読む習慣をつけましょう。急ぎの用件が書かれていることもあるし、すばやくやりとりできるのがメールの利点のひとつですから。

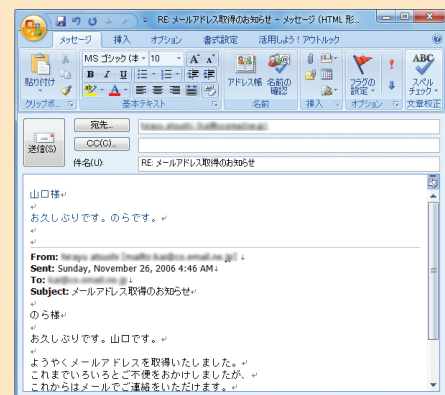
また、メールを読んだら、なるべく早めに返事を出しましょう。メールを送った人は、無事届いたか、気になっているものなのです。

じっくり返信を書きたいときは、とりあえず、「読みました。詳しくは後ほど」というメールだけでも、先に返しておくと親切です。

それから、携帯電話にメールを送るときは、文字数などに制限があるので注意してください。

返事には、引用をほどよく使って

メールに返事を出すときは、「返信」をクリックします。宛名に送ってくれたもとのメールの差出人、件名に「RE:（もとの件名）」が入った画面が出てきます。この本文に返事を書き込んで送信すればいいのです。

本文には、自動的にもとのメールがまるまる引用されます。必要な箇所を上手に残して、前や後ろや途中に返事を書き込めば、会話のようなやりとりになって、わかりやすく読んでもらえます。

本文には、引用のために、もとのメールが入っている。プライベートでは引用が多いメールは嫌われるが、ビジネスでは確認のために全文を残すこともある

アドレス帳を使えば宛先もラクラク

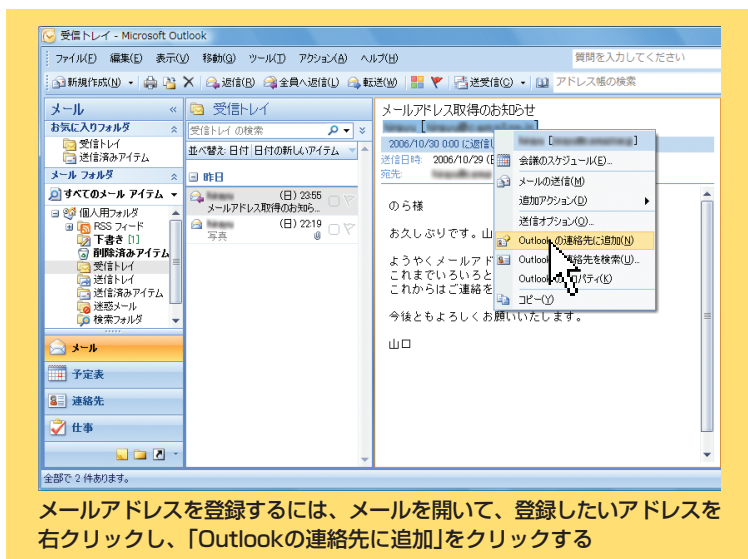
メールアドレスって、長いし、変な記号があって、いちいち入力するのは大変ですね。でも、アドレス帳（連絡先）に登録すれば、次からは選ぶだけですむんです。

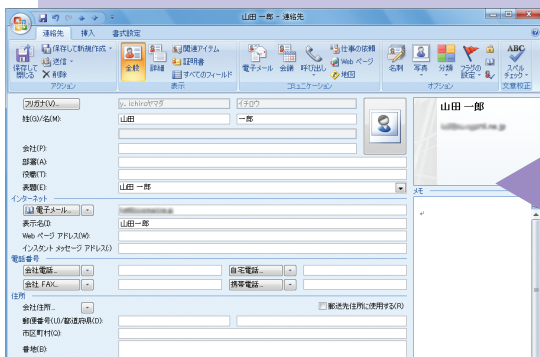
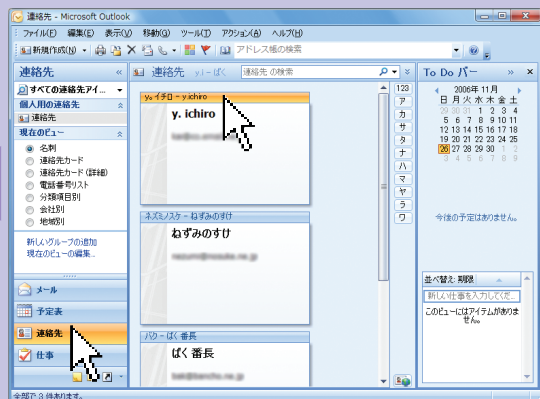
「連絡先」から選ぶだけ

メールアドレスをキーボードで入力するのは、慣れている人にとってもめんどうな作業です。

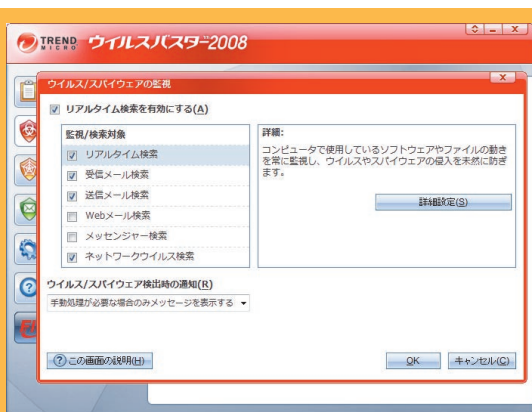
しかも、一文字間違えると、もう相手に届きません。届かないだけならまだしも、ぜんぜん別の人に届いてしまうかもしれません。

でも、「連絡先」に登録しておけば、そこから選ぶだけです。この方法なら、最初に慎重に登録しておけば、あとは間違いなくメールを送れます。

相手からメールをもらっているなら、そのメールを開いて、差出人にマウスポインタを合わせて右クリックし、「Ｏｕｔｌｏｏｋの連絡先に追加」をクリックすると、簡単に登

メールアドレスを登録するには、メールを開いて、登録したいアドレスを右クリックし、「Outlookの連絡先に追加」をクリックする

■ 連絡先に登録した名前をわかりやすくする方法

全般タブの「姓／名」と「表示名」の部分で「y-ichiro」を「山田一郎」に変えられる。相手のメールアドレスが変わったときもここで書き替える

「連絡先」をクリックし、登録した「y-ichiro」をダブルクリックしてみよう

録できます。

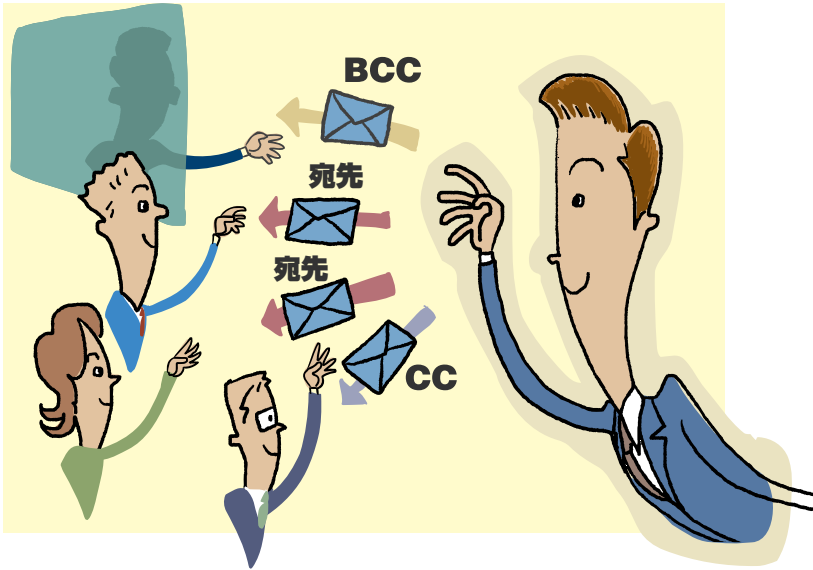
登録された名前などを変えたいときは、「連絡先」をクリックし、その人の名前をダブルクリックして、連絡先を開いてください。たとえば、「y-ichiro」という名前で登録されたものも、「山田一郎」などのあなたが読みやすい名前に変えておけば、次にさがすときに、ずいぶん見つけやすくなります。

ウイルス対策ソフト「ウイルスバスター」。設定によって電子メールの送受信をリアルタイムに監視して、ウイルスの検知と駆除をできる（この画面はアップデートサービスなどによって変更される場合があります）

ウイルスに気を付けよう

コンピュータウイルスの多くはメールを介して感染します。特に添付ファイルには注意が必要です。

このパソコンには、ウイルスからパソコンを守ったりウイルスを削除するために、「ウイルスバスター」というウイルス対策ソフトがインストールされていて、ウイルスの特徴を書き込んだウイルスパターンファイルを使って、ウイルスを発見し、パソコンから取り除きます。

ところが、ウイルスは日々新種があらわれるので、ウイルスパターンファイルもどんどん新しいものが発表されます。

「ウイルスバスター」のウイルスパターンファイルは、「ユーザー登録」をおこなってから90日間はインターネットを使って無料で新しいものに更新（アップデート）できます。ぜひ製品版を購入し、継続して使ってください。詳しくは、「しっかりセキュリティであんしんインターネット」（24ページ）をご覧ください。

たくさんの人に出しても手間は同じ

パーティーの連絡で、何度も同じ内容の電話をかけて、うんざり……。メールならそんなめんどうはありません。たくさんの人に同時に同じ内容を送ることができるんです。

「同報メール」で幹事の達人に！

楽しいパーティーや懐かしい同窓会。でも、幹事は大変ですね。参加者が多くなるほど、連絡や調整に時間をとられます。

ところが、メールを使えば、人数が多くてもまるで平気。宛先欄に全員のメールアドレスを指定するだけで、一度に送れます。

このように、たくさんの人に、一斉に同じメールを送ることを、「同報メール」と呼びます。

メールを受け取った人は「返信」を選ぶと、送信してきた人だけに返事を送ることができます。また、「全員へ返信」を選ぶと、宛先に併記された全員に同じ文面のメールを返信できます。

参加者全員が「全員へ返信」でやりとりすれば、同報メールが「会議」や「打ち合わせ」になります。誰が何を書いたか、記録が残るのでなかなか重宝します。

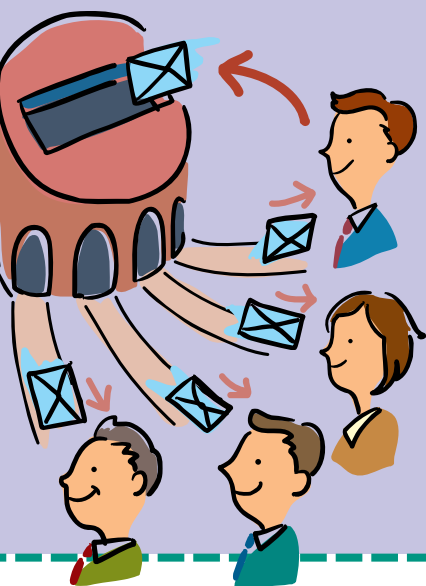
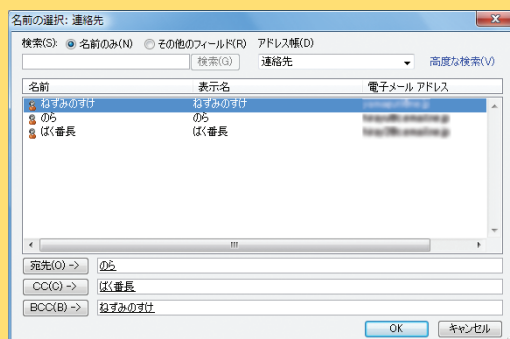
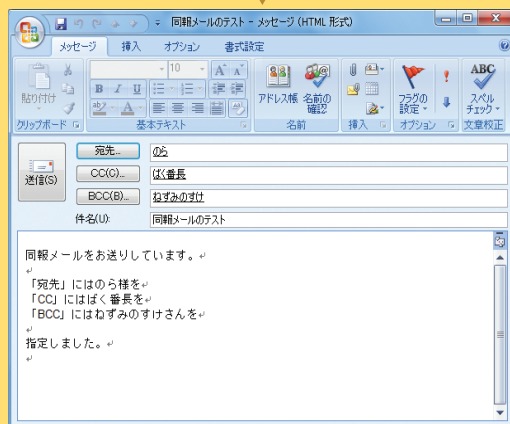
回覧板やお知らせ、会報にも使えます。

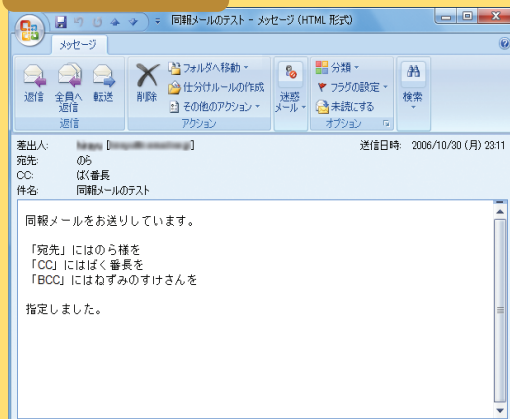
「宛先」の下には「CC（シーシー）」という欄もあります。「CC」はカーボンコピーの略で、直接の相手ではないけれども、一応内容に目を通しておいてほしい人の宛先を入力します。

「宛先」をクリックすると出てくる「名前の選択」画面には、もうひとつ「BCC（ビーシーシー）」という欄があります。ブラインドカーボンコピーの略で、この欄に入力した宛先は届いたメールに表示されません。内緒でメールを同報したい人に使います。

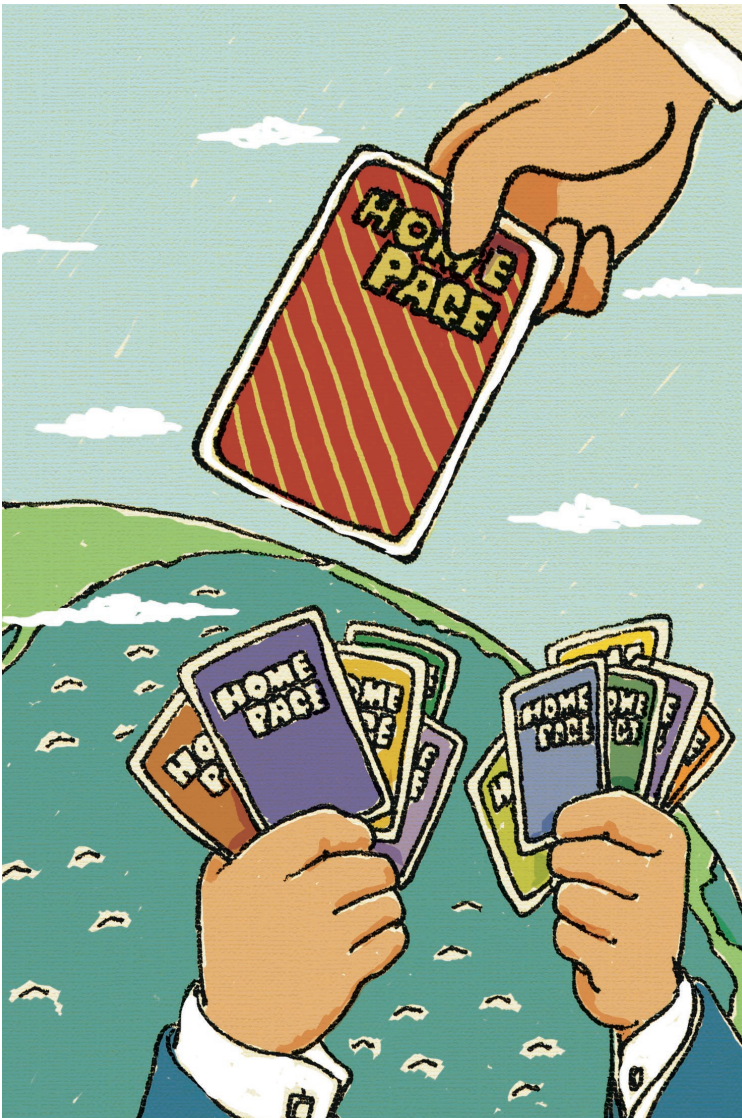
グループでメールを交換する

同報メールを使いやすくした、メーリングリスト（略して、ML）というものもあります。ある特定のメールアドレスにメールを送ると、そのメールが登録した人全員に届く仕組みです。興味のある事柄をいろいろな人と語りあったり、情報を共有したりできます。検索エンジン（42ページ）でさがすといろいろなメーリングリストが見つかります。プロバイダなどのサービスを使えば自分でも主宰できます。「メーリングリスト　無料」で検索すると無料で利用できるサービスも見つかります。決まったメンバーだけで使っても、仲間を一般公募してもかまいません。

雑誌のように、自分が書いたものをたくさんの人に配りたいときには、メールマガジンというよく似たシステムもあります。

■ 同報メールの設定方法

メールを書く画面で「宛先」をクリックすると、「名前の選択」の画面があらわれる。名前をクリックして、「宛先」「CC」「BCC」をクリックする操作を繰り返すと、アドレスが指定されていく。選び終えたら「OK」をクリック

「宛先」「CC」「BCC」の欄にそれぞれメールアドレスを入れた。このメールを送信すると……

送信先に届いたメール

「宛先」と「CC」の名前は表示されるが、「BCC」の名前は表示されない

世界中のホームページをのぞいてやろう

ホームページは誰もが自由に作って公開できるので、世界中で日々増加しています。そのホームページをあなたのパソコンに映し出すには、こうすればいいのです。

ホームページは情報の宝庫

わからないことがあったら本で調べろ。それでもダメなら人に聞け。この二つは情報収集の鉄則でしたが、最近は「本」の前に「インターネット」が来るようになりました。

インターネットにはホームページという情報を人に見せる仕組みがあります。

ホームページは、誰でも作って、公開することができます。そのため、あっという間に全世界に広がりました。

ホームページは「ブラウザ」を使って見ます。このパソコンにはInternet Explorer（インターネットエクスプローラー）というブラウザが入っています。

ホームページ＝正確にはWorld（ワールド） Wide（ワイド） Web（ウェブ）。略してWeb（ウェブ）。「サイト」ともいいます。

URLを入力してホームページを見る

ホームページには、住所（アドレス）があります。URL（ユー・アール・エル）と呼ばれるものです。

最近は、新聞、雑誌、テレビ、製品のパッケージなど、あらゆる場所でURLを見たり聞いたりするようになりました。それだけさまざまなホームページが作られているということです。

ホームページを見るには、ブラウザのアドレスバーにこのURLを入力して、Enterキーを押せばいいのです。

とはいえ、URLには長いものも多く、アンダーバーのようにふだん使わない記号も出てきます。

一字違っても「Not Found」（見つかりません）と返されてしまうので、直接入力するときは、慎重に。

ここにURLを入れて
Enterキーを押します

たとえば、「http://www.nasa.gov/home/」と入力して、Enterキーを押す

http://www.nasa.gov/home/

これがNASAのホームページ

記号	読み方	半角入力で下のようにキーを押します
:	コロン	[*: け]を押す
/	スラッシュ	[?・/ め]を押す
.	ドット、ピリオド	[>・. る]を押す
~	チルダ、ニョロ	Shiftキーを押しながら[~ ^ へ]を押す
-	ハイフン	[= - ほ]を押す
_	アンダーバー	Shiftキーを押しながら[_ \ ろ]を押す

「リンク」でページをめくる

ホームページは雑誌のようにページ単位で作られています。でも雑誌とは違った読み方をします。「リンク」をクリックして「リンク先」のページを表示するという方法です。

ホームページには、本文と別の色（たとえば青）になっている文字やボタンの形をした部分があります。これらをクリックすると、そこにつながるページが表示されるのです。

これが紙の本の「めくる」に相当します。

もとのページに戻るときは、ブラウザの左上の（戻る）をクリックします。

ホームページの中でリンクされている部分にマウスポインタを置くと、手の形に変わる。クリックすると、そのリンクの指し示すページに切り換わる

検索エンジンで宝の山をさがしだす

あのコトについてもっと知りたいとき。どんな方法で調べます? インターネットなら、こんなに簡単にいろんな情報が!

ネットの検索は「検索エンジン」で

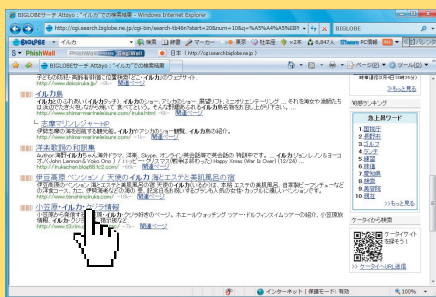
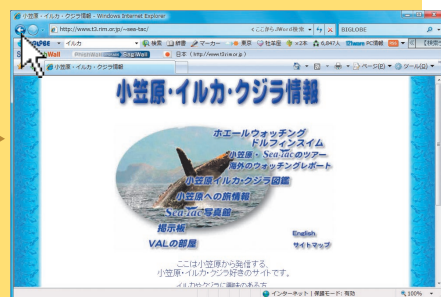
情報をさがすなら、何といっても検索エンジン! それは、ホームページを検索できるからです。

検索の便利さは本と比べるとよくわかります。本は、一度読んだことがあっても、なにかの情報を見つけるには、ページをめくって見当でさがしたり、索引から調べなおさないといけません。ましてや、読んだことのない本に何が書いてあるかは、カンで判断するしかありません。

ところが、検索エンジンなら、キーワードを入れるだけで、その言葉が書かれているホームページの一覧が表示されます。一覧にはホームページの名前だけでなく、概略も表示されますから、必要な内容かどうかを判断するときの参考になります。

あとは、見たいホームページをクリックするだけ。そのホームページが表示されます。

検索エンジンは、インターネット全体の便利な索引なのです。

「スタート」-「インターネット」をクリックして、Internet Explorerを開く。キーワードを入力して、Enterキーを押す

表示された一覧の青い文字をクリックすると、そのページが表示される

一覧に戻るときにはツールバーの←ボタンをクリックする

キーワードを入力してEnterキーを押すと、そのキーワードを含むホームページが検索されます。

絞り込みこそ腕の見せ所

よく使う言葉でホームページを検索すると、感動的なほどたくさんのホームページが見つかりますが、じつはこれがネット検索最大の難点なのです。膨大すぎてほんとうに必要なホームページが見つからないのです。
たとえば、「イルカ」で検索すると、五十七万件以上のホームページが出てきてしまいます。とても全部を見ることはできませんし、無関係なものも多そうです。
必要なページだけが表示されるようにするためには、賢いキーワードが必要なのです。これが検索のワザ。
たとえば、「イルカ」を「イルカショー」に変えて検索すると、一気に絞り込まれます。なるべく具体的な名前を入力すればいいのです。
単語と単語の間をスペースで開けてふたつ以上のキーワードを入力する方法もあります。入力したすべてのキーワードを持つホームページが検索されます。
たとえば、「イルカショー　東京」と入力すると、さらに半分以下に絞り込まれます。

絞り込み検索してみよう!!

「イルカ」で検索

ウェブ　画像
イルカ
約573000件中　1〜10件目を表示

約573000件

「イルカショー」で検索

ウェブ　画像
イルカショー
約51900件中　1〜10件目を表示

約51900件

「イルカショー　東京」なら!!

ウェブ　画像
イルカショー 東京
約21100件中　1〜10件目を表示

約21100件

※上の数字は、この本を作ったときの検索結果です。

画像を探したいときは

「あの俳優の顔が思い出せない」、「オミナエシってどんな花だったっけ？」なんていうとき、画像検索が便利です。
検索して、「画像」タブをクリックすると、入力したキーワードに関連する画像が表示されます。

「タブ」機能を使ってみよう

「タブ」ってちょっと聞きなれない言葉ですね。でも「タブ」機能を使えばこんなに便利！

「タブ」を使えば一目瞭然

検索エンジンで面白そうなホームページがたくさんみつかったとき、ひとつめのホームページを開いて内容を確認したあと、また検索結果に戻って次のホームページを開くのはちょっと面倒ですよね。

Internet Explorerのタブ機能を使えば、もっと効率よくたくさんのホームページを楽しむことができます。

使い方は簡単。検索結果で見たいホームページを右クリックし、表示されたメニューの「新しいタブで開く」をクリックすると、選んだホームページが新しいタブで開きます。

画面の上のほうを見ると、開いたホームページの名前が突き出すように表示されていますね。厚い本や資料の重要なページに貼り付けた目印の紙のようなもの、これが「タブ」です。

そのとなりには、はじめに見ていた検索結果も別のタブとして表示されています。ここをクリックすれば、新しいホームページをタブで開いたまま、検索結果に戻ることができるしかけです。

どんどんホームページを開いていっても、それぞれの名前がタブで一覧できるから、いま開いているホームページが一目でわかるというわけ。

もちろん切り換えて表示させるのも簡単なんです。

リンクを「タブ」で開いてみよう

検索結果の一覧のリンクを右クリックして、「新しいタブで開く」をクリック

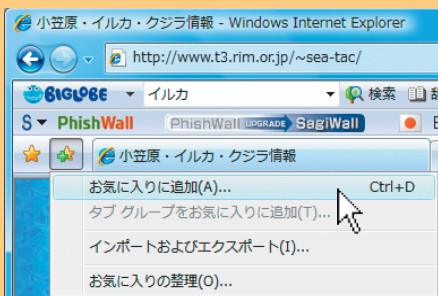
タブ

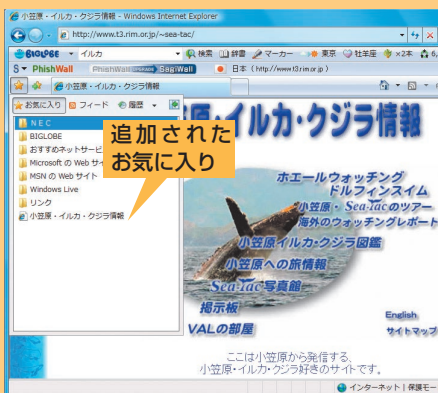
リンク先のページが新しいタブで開く。タブをクリックすればページの切り換えも簡単

よく見るページはお気に入りに登録！

Internet Explorerには、気に入ったページを記憶しておく「お気に入り」という機能があります。

（お気に入りに追加）をクリックして「お気に入りに追加」、「追加」をクリックすると、今、開いているホームページが登録されます。次に見るときは、いちいちリンクをたどったりしなくてすみます。

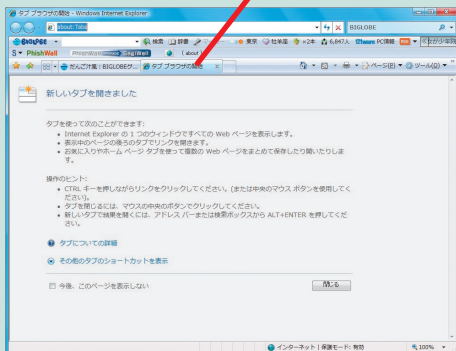
お気に入りがたくさんたまったら、フォルダを作って整理しましょう。

登録したいページを開いて、、「お気に入りに追加」の順にクリックし、「お気に入りの追加」画面が開いたら、「追加」をクリックする

追加されたお気に入り

次にそのページを見るときは、（お気に入りセンター）をクリックすると、下のほうに登録したホームページの名前が表示されるので、それをクリックする

こんなときも「タブ」の出番

料理のレシピを調べている最中に今日の野球の結果が気になったら。そんなときもタブ機能の出番です。

あらかじめ新しいタブを作って、そこに別のホームページを表示させましょう。ニュースを確認したあと、すぐ調べものに戻れます。

いろいろなレシピのページを比較するときも、タブを使えば便利ですね。

便利で役立つホームページがいっぱい！

インターネットには、役立つ情報や便利なホームページがたくさんあります。上手に使いこなしてくださいね！

おトクな情報がこんなにそろう

世界中にあるホームページの数は一億を超えているそうです。作られた目的はさまざま。ニュースや情報発信、便利なサービス、企業の宣伝、品物を販売するページもあれば、個人の日記もあります。それらを上手に使い分け、暮らしに役立てましょう。

たとえば、東京タワー観光に出かけるとしましょう。

検索エンジンに「東京タワー」と入力すると、数十万件の結果が出てきました。東京タワーのホームページを見ると、基礎知識から最近のニュース、行き方までわかります。

グーグルマップなどの地図サイトで検索すると、現地の地図も確認できます。電車で出

たとえば、東京タワー観光に行くなら

交通

乗換案内（http://www.jorudan.co.jp/）。出発駅と到着駅を記入して検索。到着や出発予定の時間を指定して調べることもできる

目的地

東京タワー（http://www.tokyotower.co.jp/）。展望台の入場料や交通案内だけでなく、「東京タワーの秘密」コーナーにはトリビアネタも満載

地図

Googleマップ（http://www.maps.google.co.jp/）。地図検索サイト。「航空写真」をクリックすると地図が写真に切り換わる

宿泊

楽天トラベル（http://travel.rakuten.co.jp/）。場所、予算、設備など、さまざまな条件にあった宿泊施設を検索して、予約することができる

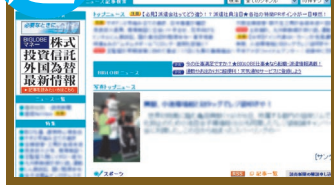
かけるなら、路線も調べたいですね。「乗り換え案内」なら自宅からの鉄道路線だけでなく、所要時間や金額もわかります。これで、現地までのスケジュールを組むことができますね。飛行機や車での移動を調べられるホームページもあります。

旅先で宿泊するなら、出発前に宿も決めておくと安心ですね。宿の予約ができる「楽天トラベル」といった旅行関係のサービスもあります。

今夜のディナーは「ぐるなび」をチェック。場所や予算・雰囲気などの希望にあったレストランを探せて、オトクな割引クーポンも入手できます。

仕事や勉強の調べものにも、ホームページが役立ちます。新聞社などのニュースサイトには、時々刻々と新しいニュースが掲載されています。

もっと詳しく調べてみたいと思ったら、百科事典もネットにあります。博物館や美術館などのページには、さらに専門的な情報が掲載されています。検索に慣れれば、必要な情報を上手に探せるようになるでしょう。

話題

BIGLOBEニュース(http://news.fs.biglobe.ne.jp/)。読売新聞や時事通信、サンケイスポーツ、夕刊フジなどのニュースを読める

食事

ぐるなび(http://www.gnavi.co.jp/)。レストラン・飲食店を検索して予約することができる。割引クーポンも入手できる

知識

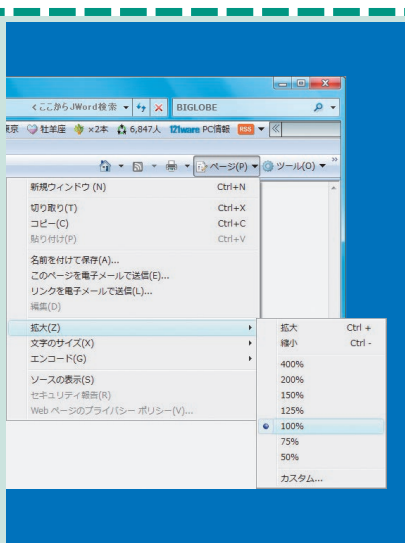
ウィキペディア(http://ja.wikipedia.org/)利用者が自由に執筆できるインターネット上のフリー百科事典

ホームページの画面や内容は、ここに掲載したものと異なることがあります

ホームページの字が小さくて読みにくいときは

ホームページの文字が小さくて読みにくいときは、「ページメニュー」の「拡大」で、「125%」や「150%」を選んで拡大してみましょう。一部分だけをうんと拡大してみたいときは、「200%」や「400%」を選びます。ただし、画像は拡大しすぎると粗くなるのでご注意を。

Ctrlキーを押したまま、「+」キーまたは「−」キーを押して、拡大・縮小することもできます。

もとの表示に戻したいときは、「100%」を選んでください。

ブログを書いてみよう

個人の情報発信ツールとして、手軽に更新できるブログが注目されています。あなたの日記や考えていることを、ブログにしてみませんか。

登録すれば、あとは書くだけ

あなたは日記を書いていますか？　あなたの文章を、たくさんの人に読んでもらいたいと思いませんか？

最近は、アイドルから政治家まで、自分の仕事や日記、雑感などをブログに書く人が増えました。ブログというは、ウェブ（つまり、ホームページ）のログ（日誌）を縮めた言葉で、旅行記、オリジナル料理のレシピ、趣味の研究など、テーマもさまざま。人気のブログが本になることもあります。

ブログは、ブログサイトに登録すれば、誰でも作ることができます。最初にブログのタイトルやページデザインなどいくつかの設定をして、その後は自分専用の管理ページで、見出し、本文などを記入して更新すれば出来上がり。写真を掲載したり、ケータイから更新できるようになっているサイトもあります。ホームページほどの自由度はありませんが、テンプレートと呼ばれるページのデザインを変えたりして、自分らしさも出せます。

「今作成した記事を見る」をクリックすると、できあがったブログが開く。あなたも書いてみませんか

ブログの特徴的な機能のひとつに「トラックバック」があります。あるブログに自分のブログからリンクをはったとき、相手にそれを知らせる仕組みです。ブログの記事の下に、文章の一部とＵＲＬのリストができていることがありますが、それがトラックバック。トラックバックされたサイトには「この記事を参照している記事一覧」が自動的に作られ、どこでどのように引用されているか、わかるわけです。

ブログは、不特定多数の人が読むので、個人情報を掲載しないなどの注意が必要です。内容にも責任を持って楽しみましょう。

ウェブリブログで作ってみよう

無料で利用できるBIGLOBEのウェブリブログに登録してみましょう。登録（登録内容入力）時にブログのタイトルや希望するURLなどを記入するので、あらかじめどんなブログにしたいのか考えておくとスムーズです。もちろん、タイトルやデザインは、あとで変えられます。気軽にはじめるのが、長続きのコツかもしれません。

左上の「新規に登録する」をクリック

BIGLOBEのIDかメールアドレスを記入

ブログ名（タイトル）や希望するURL、ニックネームなどを記入

管理ページにログインをクリック

ウェブリブログのアドレス
http://webryblog.biglobe.ne.jp/

新しい記事を作るときは、「ブログ」の「新規作成」をクリック。過去記事を編集するときは、「編集」をクリック

記事のタイトル、本文を入力。画像や音声、文字の修飾、背景のデザイン（テンプレート）、トラックバックの設定などもここで

デザインを選ぶ。記事ごとに変えたり、ランダムに表示させることもできる

ウェブリSNSに参加しよう

日記をインターネット全体に公開するのはちょっと……、というかたは、ウェブリSNSはいかがでしょう。ウェブリSNSはBIGLOBEが提供するSNS（ソーシャルネット・サービス）。メンバーはそれぞれ利用登録してから参加しているので、安心してコミュニケーションを楽しめます。日記の公開範囲を指定できるから、「友達だけに公開する」なんて設定もOKです。

ウェブリSNSのアドレス
http://webrysns.biglobe.ne.jp/

趣味の合うメンバーの集まり「コミュニティ」に参加して情報交換したり、仲間同士でメッセージのやりとりも

「パソコンのいろは3」を使ってみよう！

対話型のパソコン練習ソフト、「パソコンのいろは3」を使って、パソコンの達人を目指しましょう！

使いながら覚える「パソコンのいろは3」

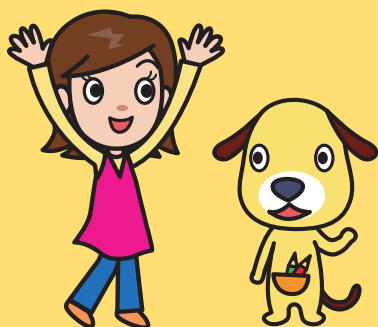
パソコンの操作は、実際にやってみたほうが、ずっと早く身につきます。難しく考えずに、まずはやってみることが一番！

でも、最初はどこをどうしたらいいかわからないし、ちょっとしり込みしてしまいますよね。

そんなときはぜひ「パソコンのいろは3」にチャレンジしてください。

「パソコンのいろは3」は、マウスやキーボード、Window Vistaの基本的な使い方から、インターネット、メールの使い方まで、パソコンで練習しながら覚えていけるトレーニングソフトです。

※「パソコンのいろは3」はＬａＶｉｅ Ｊには添付されていません

デスクトップの「パソコンのいろは3」をダブルクリックすると！

ポッケくんと、アイコ先生が登場します。

目次は前後編のふたつの画面に分かれています。練習したい項目をクリックしましょう。
（はじめてパソコンにさわるかたは、最初の項目から順番にやってみることをおすすめします）

それぞれの項目を、アイコ先生がひとつずつやさしく教えてくれます。

画面に表示されるガイドを見ながら、実際に自分の手で操作することで、パソコンの使い方を自然に覚えることができます。

Office 2007の学習もできる！（Office 2007が添付されているモデルのみ）

このマニュアルでもワード2007（Word 2007）、エクセル2007（Excel 2007）、アウトルック2007（Outlook 2007）といったソフトについて紹介していますが（56ページ・30ページ）、「パソコンのいろは3 Office 2007編」でも、Office 2007の基本操作を学習することができます。

本を読むより、実際に画面を操作しながら操作を覚えたい…という方は、このソフトを使ってみてください。

「ソフトナビゲーター」-「事典・学習・ゲーム」-「Office 2007の基本操作を学ぶ」-「パソコンのいろは3 Office 2007編」の「ソフトを起動する」をクリック

使って役立つ 便利なソフト活用術

起動する方法はひとつじゃない

パソコンは、いろんなソフトを使うことで、いろんな目的に使えます。ソフトを使いこなすことが、パソコンを使いこなすということだと言っていいでしょう。

ワープロソフトやメールソフトなどのソフトはパソコンに入っています。

パソコンの電源を入れてデスクトップが表示された状態では、ソフトは動いていません。ソフトを動かすことを「起動する」といいます。もっと簡単に「開く」ということもあります。

ソフトは、「ソフトナビゲーター」を使って起動します。（14ページ）

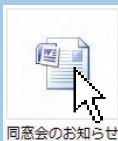
でも、ソフトを起動する方法は、ほかにもあります。ここでは、代表的なふたつを紹介しましょう。

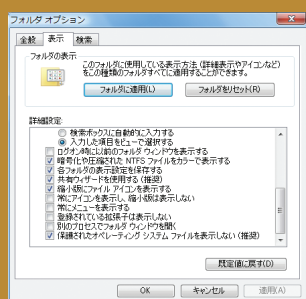
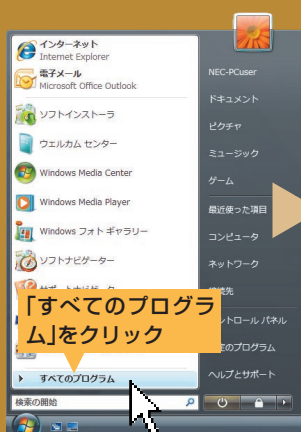
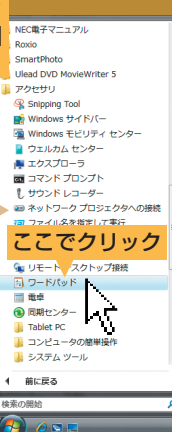
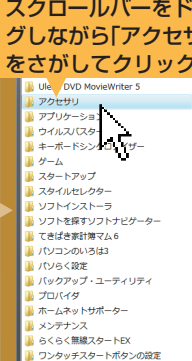
ひとつは、そのソフトで作って保存したファイルをダブルクリックして、ソフトを起動しながら、ファイルも開く方法。もうひとつは、スタートボタンからメニューで選んで起動する方法です。

ファイルをダブルクリックするとソフトが起動してファイルが開く

「ワード2007」で「同窓会のお知らせ」という文書を作って保存すると、ファイルはワードのアイコンで表示されます。

この「W」のマークがついたアイコンは、「ワード2007」で作ったファイルだという印で、ダブルクリックすると、「ワード2007」が起動し、そのファイルが開きます。

実は、普通は表示されませんが、ファイル名の後ろには、拡張子という、作ったソフトを示す名前がつけられていて、その拡張子にしたがって、アイコンが表示されているのです。

「W」の印のついたワードの文書ファイルをダブルクリックすると、ワードが起動する

起動したワードで「同窓会のお知らせ」が開く

拡張子を表示するには
フォルダを開いて、「整理」メニューから「フォルダと検索のオプション」を開き、「表示」、「詳細設定」の「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外す

まず、画面左下のボタン（スタート）をクリック

スタートボタンからソフトを起動する

デスクトップの左下の丸いボタン。ここをクリックすると、ボタンの上にメニューがあらわれます。これを「スタートメニュー」といいます。

ここには、パソコンの中の文書などをさがすときに使う「検索」や、設定を変えるときに使う「コントロールパネル」など大切なものが集まっています。

「スタート」のすぐ上には「すべてのプログラム」があって、ここにソフトが登録されています。たくさんのソフトが登録されているので、ものによってはいくつかの階層になっています。

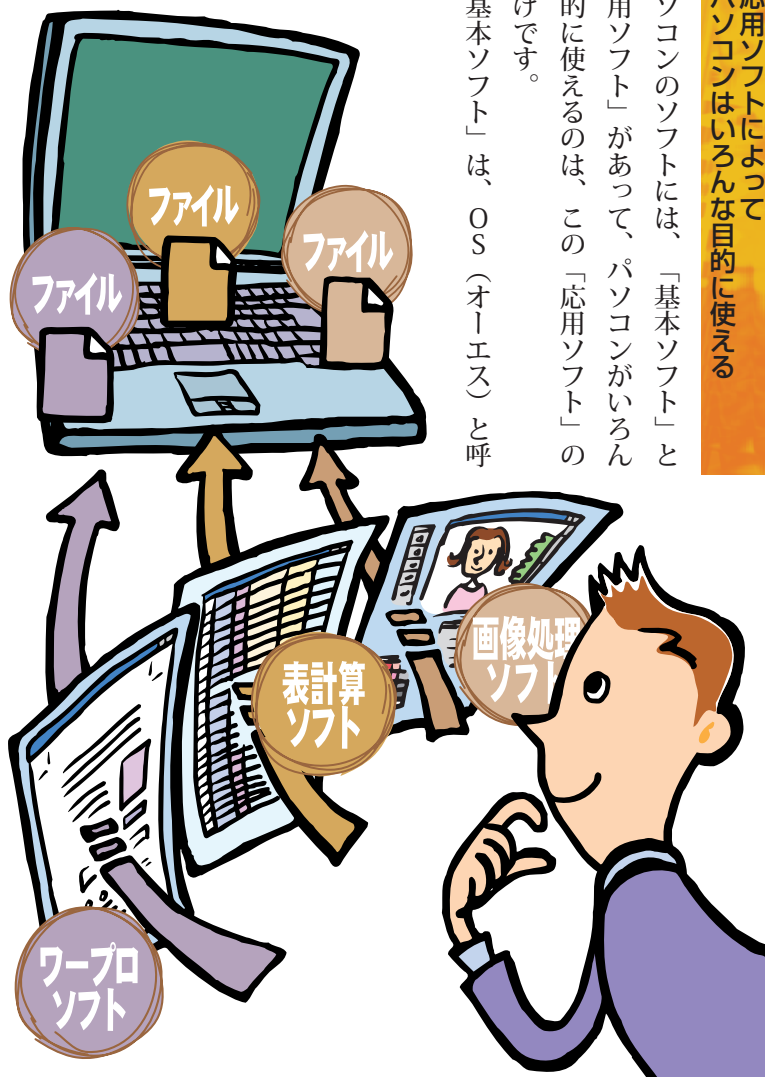
「ワードパッド」（簡易ワープロソフト）を開いてみましょう。（上図参照）

「スタート」をクリックする→「すべてのプログラム」をクリックする→「アクセサリ」をクリックする→「ワードパッド」をクリックする……と操作すると、ワードパッドが開きます。

好きなソフトをインストールしよう

パソコンのいちばんの特長は、いろいろな目的に使えることです。計算も、ビデオ編集も、作曲も一台のマシンでできてしまうのです。そのために、新しいソフトを追加することもできるのです。

応用ソフトによってパソコンはいろんな目的に使える

パソコンのソフトには、「基本ソフト」と「応用ソフト」があって、パソコンがいろんな目的に使えるのは、この「応用ソフト」のおかげです。

「基本ソフト」は、OS（オーエス）と呼ばれるもので、ハードウェアの制御やファイルの操作などをする縁の下の力持ちです。このパソコンには、「Windows Vista」という基本ソフトが入っています。

具体的な目的のために使う「応用ソフト」は、「基本ソフト」の上で動きます。わたしたちは、応用ソフトを使って、パソコンの中にあるファイルを扱うことで、パソコンをいろんな目的に使えるのです。

ソフトは、パソコンショップの店頭やホームページなどで購入します。

また、雑誌の付録のCDやインターネットのホームページには、フリーソフト（無料で使えるソフト）やシェアウェア（試用した上で、使うと決めたら料金を払うソフト）もあります。

インストールは、パソコンに新しいソフトを追加すること

ソフトをパソコンに追加して、使える状態にすることを「インストール」といいます。

「ソフトナビゲーター」に出てくるソフトには、まだ、インストールされていないものもあります。

インストールされていないソフトは、「インストールして起動」をクリックすると、自動的にソフトがインストールされたあと、起動します。次に使うときは、もうインストールの必要はありません。

「ソフトナビゲーター」の左下の「お得なソフトダウンロード」をクリックすると、ソフトの優待販売や無料体験版のダウンロードができるBIGLOBEの「SOFTPLAZA（ソフトプラザ）」を利用できます。

もちろん、「ソフトナビゲーター」に入っていないソフトもインストールできます。インストールのしかたは、それぞれのソフトのマニュアルをご覧ください。

ただし、不審なソフトはインストールしないよう十分に注意してください。

「SOFTPLAZA」の画面。NECのパソコンユーザー限定のソフト優待販売や無料体験版のダウンロードができる

いらなくなったソフトを削除する

インストールしたソフトを削除することを「アンインストール」といいます。

「ソフトナビゲーター」の「ソフトの追加と削除」から起動する「ソフトインストーラ」で削除します。

自分でインストールしたソフトは、ソフトに専用の削除用のソフト（アンインストーラー）がついているときはそれを使って、専用のソフトがついていないときは、コントロールパネルの「プログラムのアンインストール」で削除します。

「ソフトインストーラ」で、削除したいソフトの左側の「削除」をクリックして、「次へ」をクリックする

定番のオフィスソフトを使ってみよう

パソコンソフトの定番といえば、ワープロソフト。紙に印刷することを前提にして文書を作成するソフトです。「ワード2007(Word 2007)」で見栄えのする文書を作ってみましょう。

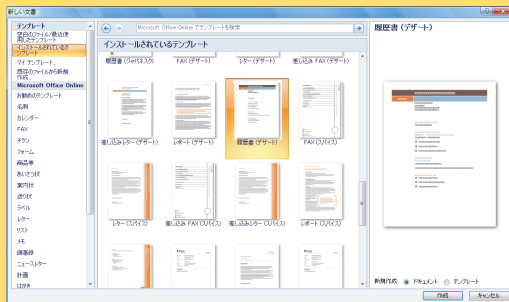
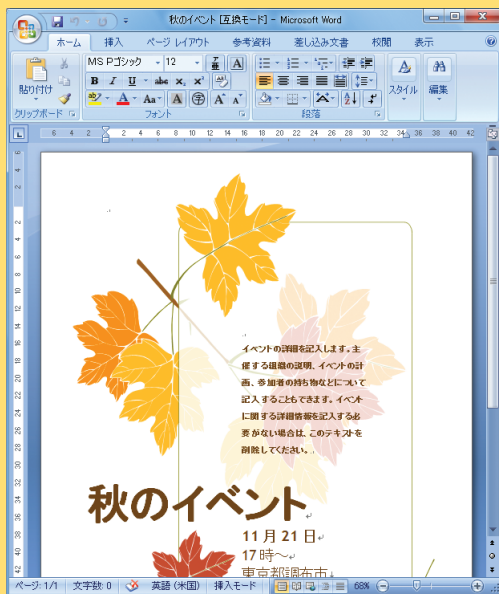
文章と図を組み合わせるワープロソフト

「ワード2007」は、書類を作って印刷するためのソフトです。手紙などの文章を書くことはもちろん、文字の形や大きさを変えたり、図を入れたりすることができます。

ワード2007の画面はそのままA4サイズの白紙だと思っていいでしょう（もちろん、ハガキなど、ほかのサイズの紙も指定できます）。

その白紙のなかに、見出しや本文、図版、表など、いろいろな部品を適切に配置していく作業を「レイアウト」と呼びます。

いちいちレイアウトするのがめんどうな人のためには、テンプレート（ひな形）が用意されています。さまざまな社内文書、社外文書のテンプレートが用意されているので、文書を書き替えたり、図版を入れ替えるだけで、きれいに整った文書を作ることもできるのです。また、作った文書をインターネットのホームページの形で保存することもできます。

ワード2007の使い方は、ワード2007のヘルプをご覧ください。

テンプレートを使いたいときは、左上の ボタンから「新規作成」を選び、左側のメニューでテンプレートを選ぶ

テンプレートを選ぶと、そのままワードの編集画面に取り込まれる

表を使って計算する表計算ソフト

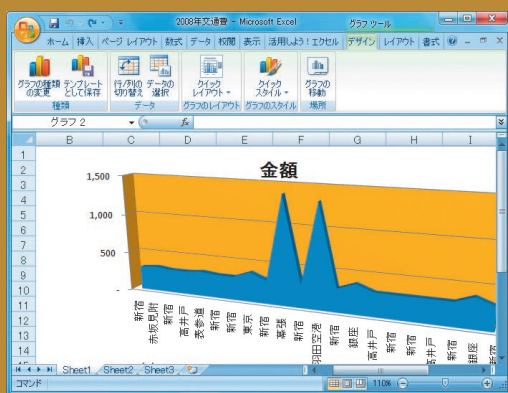
交通費など、毎月集計しなければならない単純作業はとてもめんどうなものです。

「毎日、数字だけ入力すれば、自動的に集計ができるようにならないだろうか……」こんなときにぴったりなのが表計算ソフト「エクセル２００７（Excel 2007）」です。

表計算ソフトの基本はセルと呼ばれるマス目です。行は数字で、列はアルファベットで数えます。たとえば、左上から五列三行目に当たるセルは「Ｅ３」と呼びます。

ずらりと並んだセルの中に項目名や数値を入力すると、表が完成します。表は簡単にグラフにすることもできるし、セルの中に計算式を入れて自動的に計算もできます。さまざまな関数が用意されているので、複雑な計算もできます。

表やグラフはそのまま印刷することもできるし、ワード２００７に取り込んで文書の中に配置することもできます。

エクセル２００７の使い方は、エクセル２００７のヘルプをご覧ください。

表は、必要な部分だけ選んで、グラフ化できる。グラフ機能は「挿入」メニューの中にある

	A	B	C
1	日付	行き先	金額
2	2008/1/3	新宿	300
3	2008/1/6	赤坂見附	320
4	2008/1/7	新宿	300
5	2008/1/8	高井戸	300
6	2008/1/8	表参道	320
7	2008/1/9	新宿	300
8	2008/1/10	新宿	300
9	2008/1/11	東京	380
10	2008/1/12	新宿	300
11	2008/1/13	幕張	1,380
12	2008/1/14	新宿	300
13	2008/1/15	羽田空港	1,320
14	2008/1/19	新宿	300
15	2008/1/20	銀座	380
16	2008/1/21	高井戸	300
17	2008/1/22	新宿	300
18	2008/1/25	新宿	300
19	2008/1/26	高井戸	300
20	2008/1/27	新宿	300
21	2008/1/28	銀座	380
22	2008/1/29	新宿	300
23	小計		8,680

1か月間の交通費を入力したエクセル2007の画面。小計の右側のセルには計算式が埋め込まれているので、自動的に合計が表示される

	A・B	C	D	E
1	幕末年表			
2		坂本龍馬	新撰組	歴史の動き
21	1854 嘉永7年（安政1年）	土佐に帰る。河田小龍から世界情勢を学ぶ。		日米和親条約が調印される。
22	1855 安政2年	父、亡くなる。		
23	1856 安政3年	江戸で剣術修行。		アメリカ総領事ハリス、下田に来る。
24	1857 安政4年			
25	1858 安政5年	千葉定吉より「北辰一刀流長刀兵法目録」を授かる。帰郷。歴史やオランダ語を学ぶ。		日米修好通商条約、日仏通商条約が調印される。
26	1859 安政6年			
27	1860 安政7年（万延1年）			桜田門外の変が起こる。
28	1861 文久1年	土佐勤王党に加わる。	近藤勇、天然理心流四代目襲名。	
29	1862 文久2年	土佐勤王党と別れ脱藩。勝海舟の弟子となる。		吉田東洋暗殺される。生麦事件が起こる。
30	1863 文久3年	脱藩の罪が許される。五月、松平春嶽から5000両を借りる。海軍塾塾頭となる。またしても脱藩。	新撰組、誕生。	長州藩が下関でアメリカ、フランス、オランダの艦船を攻撃。イギリス艦隊、鹿児島を砲撃。
31	1864 文久4年（元治1年）	神戸海軍操練所完成。勝海舟の使いとして西郷隆盛に会う。		四国連合艦隊、下関を砲撃。幕府、第一長州征伐を命じる。

計算やグラフだけでなく、年表やスケジュールなどの表を作るときにも便利

餅は餅屋、年賀状には年賀状ソフト

ソフトにはイラストを描くためのソフト、音楽を作るためのソフトなど、目的を絞ったソフトがあります。たとえば、年賀状を作るための専用ソフトもあるのです。

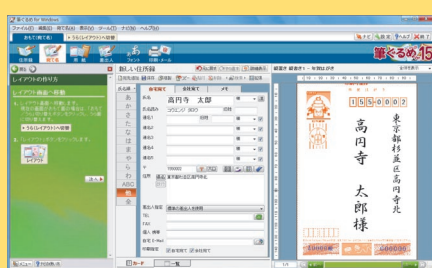
年賀状のデザインや素材が豊富

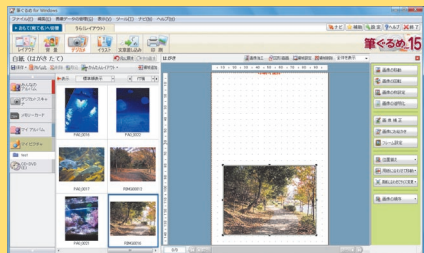
年賀状などのハガキの印刷はワープロソフトでもできますが、年賀状ソフトを使うともっと簡単に美しく仕上げられます。

なぜかというと、年賀状ソフトには、多くの基本デザインが用意されているからです。イベントや季節に合わせたイラストなどの素材も豊富です。

こうした素材を織り交ぜ、文章を付け加えるだけで見栄えのするハガキがあっという間にできあがるのです。

さらに、年賀状ソフトは表書きの機能も強力です。ふつうに名前と住所を入力するだけで、バランスのとれた表書きが完成します。一度入力した氏名、住所は住所録として管理されるので、何度でも使えます。

また、行書体や草書体などの書体も用意されているので、文字の形も好きなものを選べます。筆ぐるめの使い方は、筆ぐるめのヘルプをご覧ください。

年賀状ソフト「筆ぐるめ」の住所録作成画面。郵便番号を入力するだけでわかるかぎりの住所が自動入力されるなど、工夫が凝らされている

暑中見舞いやクリスマスカードなどのレイアウトが用意されている

ハガキに自分で撮った写真などを載せたいときは、「デジカメ」のリストから画像を選ぶ

画面はモデルによって異なる場合があります。

次の操作で起動

▼

ソフトナビゲーター

▼

文書・はがき作成

▼

はがきを作る

▼

筆ぐるめの「ソフトを起動する」

プリンタを使えば、何倍も楽しい

「チラシができた」「ハガキができた」「さて、印刷しよう」。でもそのためには、プリンタが必要です。プリンタがあれば、ワープロ、年賀状ソフト、表計算ソフトなどの印刷機能を使えるようになります。

用紙サイズの設定には注意しよう

パソコンにプリンタをつなぐと、自分で作った書類やインターネットのホームページを印刷することができます。

プリンタにはさまざまな種類がありますが、現在、もっとも普及しているのはインクジェット方式の製品です。パソコンショップへ行けば、数万円で十分な性能の製品を購入できます。

印刷できる用紙も、機種によって、普通の紙だけでなく、シールやCD、DVDに印刷できるもの、アイロンプリント用の印刷ができるもの、透明なシートに印刷できるものなどがあります。

また、スキャナ（写真などをパソコンに読み込む周辺機器）やカラーコピーがいっしょになった複合機もあります。

一般にプリンタはUSBケーブルを使ってパソコン本体と接続します。

付属のCD-ROMからドライバソフトとユーティリティーソフトをインストールすれば、用意は完了です。機器の接続とソフトのインストールの順番はプリンタによって違うので、マニュアルにしたがってください。

実際に印刷するには、ソフトの「ファイル」メニューで「印刷」や「プリント」という項目をクリックします。

気を付けたいのは、印刷のプレビュー（実際に印刷する前に、どのように印刷されるかを画面に表示すること）機能があるときは、プレビューで確認することと、ソフトで設定した用紙サイズと同じサイズの紙をプリンタにセットすることです。

印刷のプレビュー

ワード2007の印刷プレビュー画面。余白や用紙のサイズなどもここで指定できる

もっと写真を楽しもう

SmartPhotoで写真を楽しむ

「SmartPhoto（スマートフォト）」はデジタルカメラの写真を管理・編集するためのソフト。思い出の写真をパソコンでもっともっと楽しみましょう。

たくさん撮ってすっきり整理

どんどん増えるデジタルカメラの写真。楽しみも増えるけれど、整理するのもひと苦労ですね。

そんなときは「SmartPhoto」の出番です。SmartPhotoには、デジタルカメラから写真を取り込んで整理したり、より美しく補正したりするための便利な機能がいっぱい！

撮りためた写真をアルバムにまとめてDVDに保存して友達に配ったり、整理した写真をまとめて印刷できます。

ここでは、SmartPhotoの機能を簡単にご紹介します。詳しい使い方は、SmartPhotoのヘルプをご覧ください。

パソコン

デジタルカメラ

デジタルカメラから写真を取り込む

シンプルな操作で編集・整理！

一枚の用紙に写真を並べて
インデックス印刷

コメントをつけた印刷も

お気に入りの写真をまとめて、
アルバムを作ることもできる

DVD

あなただけのアルバムができたら
DVDに保存して、DVDプレーヤーやほかのパソコンでも楽しめる

SmartPhotoの起動

サイドバーの
「おすすめメニュー」
▼
「写真編集
（SmartPhoto）」
で起動！

トップメニューで、「取り込み」、「ライブラリ」、「アルバム」のいずれかを選びます。

写真を取り込む

まずは接続して……

下図の方法で、デジタルカメラをパソコンにつなぐか、メモリーカードをパソコンに差し込むと、左の「自動再生」画面が表示されます。

自動再生
Combo Drive (F:)
ピクチャ に対しては常に次の動作を行う:
ピクチャ のオプション
画像の取り込み -Windows使用
画像の表示 -Windows使用
画像の表示 -Windows Media Center使用
ディスクをコピー -Roxio Central Copy使用
写真の取り込み -デジコレ使用
リムーバブル メディアのピクチャを表示します -Corel Paint Shop Pro Photo XI使用
写真を取り込む -SmartPhoto使用
コントロール パネルで自動再生の既定を設定します

まずはここをクリック！

「写真を取り込む SmartPhoto使用」をクリックするとSmartPhotoの取り込み画面が表示されます。

①USBケーブルで接続する方法

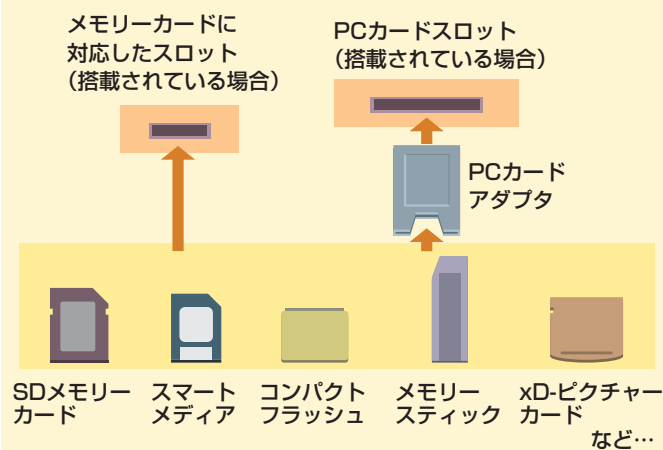
デジタルカメラの機種によってはパソコンに「ドライバ」をインストールする必要があるものもある

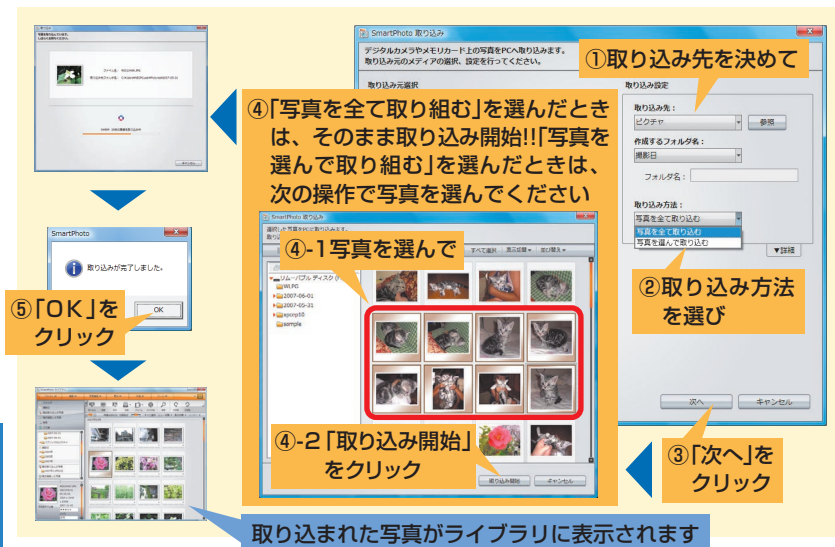
②メモリーカードを挿入する方法

メモリーカードに対応したスロット（搭載されている場合）

PCカードスロット（搭載されている場合）

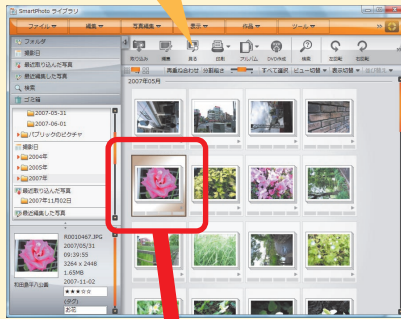
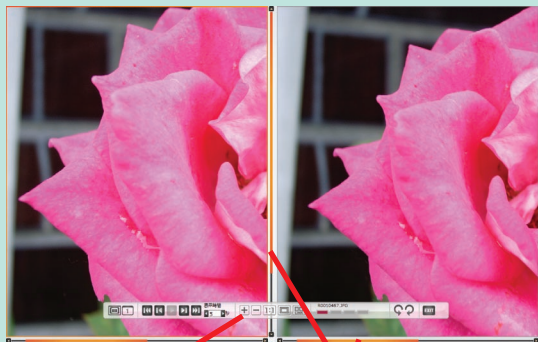
PCカードアダプタ

SDメモリーカード　スマートメディア　コンパクトフラッシュ　メモリースティック　xD-ピクチャーカード　など…

フォルダを指定して取り込む

SmartPhotoの取り込み画面で、取り込み先のフォルダを指定して、「次へ」をクリックすると写真がパソコンに取り込まれます。

写真を見る

画面いっぱいに表示して鑑賞

ライブラリで写真を選び、「見る」ボタンをクリックすれば、画面いっぱいに拡大した写真をじっくり鑑賞できます。

複数の写真を自動的に切り換えるスライドショー（自動送り）も楽しめます。

二枚並べて比較する

写真を二枚並べて表示させ、同時に拡大・縮小したり、スクロールしたりすることもできます。

同じシーンの写真を見比べて、どっちの写りがいいかな？と検討するときに便利ですね。

写真を整理する

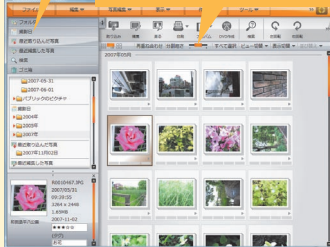
写真を整理するための便利な機能

取り込んだ写真の整理もSmartPhotoにお任せください。ライブラリ画面では、撮影した写真を年・月・日や撮影時間で自動的に分類してグループ分けするだけでなく、一枚の写真から似たような写真を探し出して集めたりすることができます。

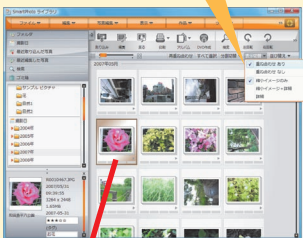
また、集合写真などで「もう一枚とるよー！」といったことがありますね。そうした予備の写真（同じ日に撮った同じシーンの写真）をまとめて管理することもできるのです。

■ 撮影したタイミング（日時）で分類する

①「撮影日」をクリック

②「分割粗さ」スライダーをドラッグ

時刻で分類する際の細かさを調節できる。

■ 同じシーンの写真は重ね合わせて

「表示切替」で「重ね合わせ あり」をクリック

メニューバーの「編集」-「重ね合わせ写真の展開」で一覧することも

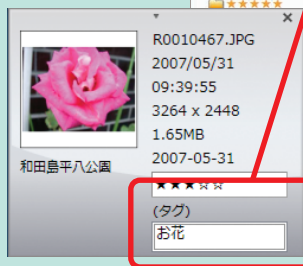
よく似た写真を検索！

写真を選び、メニューバーの「編集」-「類似写真を検索」で、似た写真を検索できる。

写真にタグをつける

写真にタグと呼ばれるキーワードをつけることができます。タグをつけると、左側のフォルダ一覧に、そのタグと同じ名前のフォルダが表示されます。そのフォルダ内には同じタグのついた写真だけが表示されるのです。つまり、同じタグのついた仲間だけ自動的にまとめてくれるというわけ。

タグ名のついたフォルダに複数の写真をドラッグ&ドロップして、まとめてタグをつけることもできます。

写真の「タグ」に対応した、同名のフォルダが表示される

写真を編集する

手間いらずの「おまかせ補正」

せっかくの写真が逆光気味。明るさを調節したいけれど、画像編集ソフトは難しくて……。そんなときは「おまかせ補正」の出番です。写真を解析してバランスよく自動補正してくれます。

写真を選んで「おまかせ補正」ボタンをクリック

「補正開始」ボタンをクリック！

「上書き保存」または「別名で保存」ボタンをクリック

結果がお気に召さないときは、「写真編集」の「オリジナルに戻す」をクリック。編集前の状態に戻ります。

細かい編集もシンプルな操作で

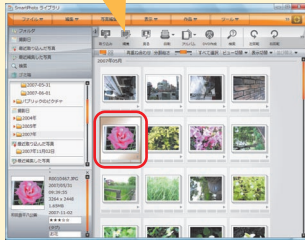
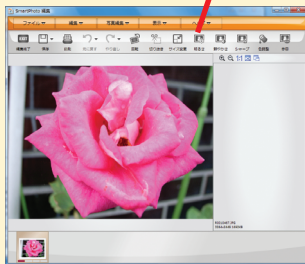
もちろん「明るさ」や「鮮やかさ」などを個別に調節することもできます。結果を確認しながら、納得がいくまで編集してみましょう。

写真のサイズを変更する

写真のサイズが大きすぎると、メールで送ったりブログに載せたりするとき不便ですね。「サイズ変更」ボタンをクリックすれば、手軽に写真のサイズや保存形式を変更できます。

複数の写真を選んで、まとめてサイズを変更することもできます。

■ 編集操作の例（「明るさ」の調節）

写真を選んで「編集」ボタンをクリック

「明るさ」ボタンをクリック

①スライダーで調整して

②「適用する」をクリック

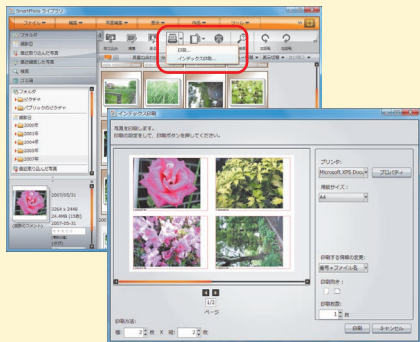
SmartPhotoで写真を楽しむ

印刷する／アルバムを作る

ライブラリでは物足りないあなたへ

撮りためた写真を編集したり整理したら、もうひと手間加えてみませんか？

パソコンにプリンタを接続したら、整理した写真を1枚の用紙に並べてインデックス印刷したり、写真にコメントをつけて印刷できます。

写真を選んで「印刷」-「インデックス印刷」をクリック

※プリンタの接続方法は、プリンタのマニュアルをご覧ください。

整理した写真を使って、パソコンの中にアルバムを作ることができます。表紙や台紙のデザインを決めて、表紙に載せる写真を決めて、それから写真を貼り付けるレイアウトを選んで……。あなただけのオリジナルアルバムができあがります。

■アルバムができるまで

①アルバムに載せる写真を選ぶ

②「アルバム」ボタンの右の▼をクリックし

③「デザインを選んでアルバムを作成」をクリック

あとは画面を見ながら作るだけ

できあがったアルバムにクリップアート、テキストなどを追加することも

プロ級のかっこいいアルバムを作る

もっとかっこいいアルバムが作りたいなら、「デザイナー作品例」から使いたいサンプルを選んで「アルバムのコピー」でコピーを作って編集してください。

SmartPhotoにはプロのデザイナーが作ったサンプルアルバムが12種類用意されているので、これを元に写真やテキストを編集すれば、簡単にかっこいいアルバムが作れます。

基本とヒント

見つかるさがせる簡単ファイル整理術

あのファイルはどこへ？作った書類は積極的にリサイクル

あなたは、今までにどのくらいの数のファイルを作りましたか？　それらのファイルはすぐに出てきますか？

パソコンでは、ワープロの文書も、表計算ソフトで作ったスケジュール表も、デジタルカメラで撮った写真も、なんでもファイルという形で保存します。

ファイルはどこにでも保存できるので、いいかげんに名前をつけて行き当たりばったりに保存していると、すぐにどこに行ったかわからなくなります。

どうしてもそのファイルが必要になったら、ファイルをひとつずつ開いて中身を確認しながらさがさなければなりません。

見つからないものはしかたがないとあきらめるのも潔くていいんですが、一度作った書類を何度も印刷できることや、ちょっとなおして新しい書類を作れることがパソコンのいいところなのです。リサイクルの精神です。せっかく作った書類をみすみす埋もらせておく手はありません。

手がかりを見つけてとにかく検索してみよう

さがし方の基本は、一、名前でさがす、二、場所でさがす、のふたつです。

どんなファイル名で保存したか覚えていれば、そのファイル名ですぐに検索できます。ファイル名の一部やファイルの中の言葉、ファイルを作った日付でもさがせます。ただ、同じ名前のファイルがたくさんあると、全部検索されてしまうので、絞り込むのがやっかいです。

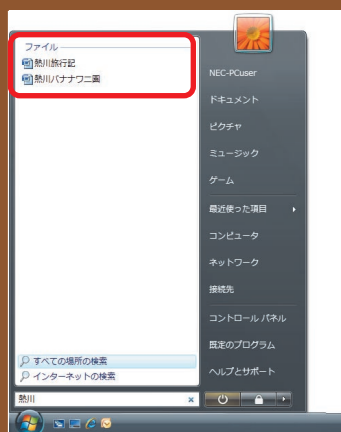
「ドキュメント」フォルダなど、保存した場所がわかっていればそのフォルダを開いてさがします。これが、場所でさがす方法。

このほかに、使って間もないファイルなら、スタートメニューの「最近使った項目」で見つかるかもしれませんし、ワード、エクセルのファイルなら、ボタンをクリックすると表示されるかもしれません。

あとはまちがってごみ箱に捨てていないか確認するぐらい。やっぱり、普段から、見つけやすいように保存しておくのが大切です。

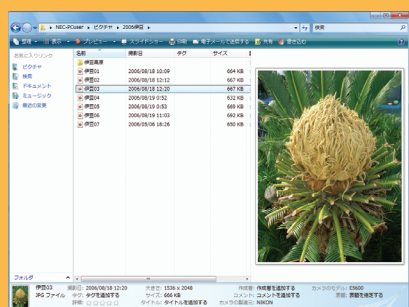
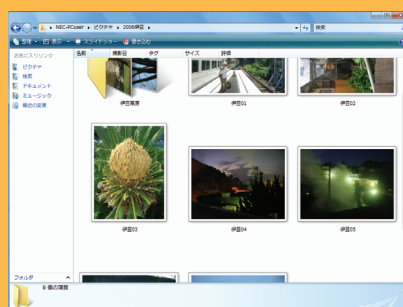
■ 基本はファイル名で「検索」

をクリックし、

検索するファイル名の一部を入力する

みつかったファイルの一覧が表示される。ファイル名がキーワードを含むファイルだけではなく、内容の文中に含むものやメールも検索される

■ 写真は表示を使い分けてさがす

フォルダの中身の表示は、「表示」メニューで切り換えます。をクリックして選んでください。

それぞれの絵柄が大きく表示される「特大アイコン」、更新日付や容量も表示される「詳細」などがあります。さがし方によって使い分けましょう。

「詳細」表示にすると、「撮影日」や「サイズ」がわかる。上の項目名をクリックして、その順番に表示することができる。「整理」メニューの「レイアウト」で「プレビューペイン」を有効にすると、右に写真が表示される

「特大アイコン」表示にすると、写真の絵柄が大きく表示される

秘訣1 さがしやすい名前をつけよう

ファイル(文書)の名前のつけ方を決めてそれを守る。
これが、第一の秘訣です。
ルールをちゃんと守っていれば、
手のかかるファイルさがしがグッとラクになります。

見つけにくい名前はあとで苦労する

新しく作ったファイルを保存しようとすると、「名前を付けて保存」という画面が出ます。ファイル名の欄には、文章の書き出しの部分や「文書1」などの名前が入っていて、このまま「保存」をクリックすると、この名前で保存されます。

急いでいるときはしょうがないとしても、あとでさがすことを考えると、いかにもまずい。

「文書1」、「文書2」なんていう名前では、開いて中を見るまで何のファイルだかわかりません。書き出しのファイル名も同じです。「拝啓、時下ますます」では、手紙だということしかわかりません。

ほかのファイルとの違いをファイル名にすると、さがしやすくなります。

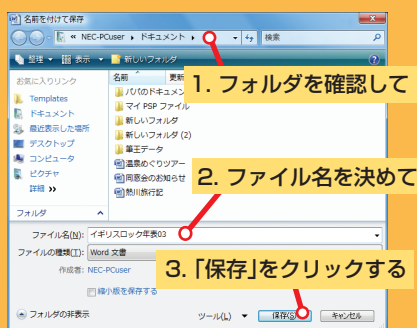
名前をつけるいちばん普通で確実な方法は、ファイルの内容から拾い出したキーワードを組み合わせて名前にする方法です。同じキーワードのファイルがいくつかあるときは、連番もつけます。

たとえば、「イギリス」の「ロック」の「年表」の三つめだから、「イギリスロック年表03」といった具合です。

ひとつだけのものでも、のちのち、同じ内容のファイルができることを見越して、最初から連番をつけておくと確実です。

キーワードを考えるのがめんどうなら、単純に日付と連番という手もあります。06年04月20日に伊豆高原で撮った三枚目の写真を「0420-03」という名前にして、「2006伊豆高原」というフォルダに入れておきます。

■ ファイルを保存する画面

1. フォルダを確認して
2. ファイル名を決めて
3. 「保存」をクリックする

※ ファイル名やフォルダ名を日本語でつける場合、環境依存文字(日本語変換で一覧に「環境依存文字」と表示される文字)は使用しないでください。ソフトによっては、正しく動作しなくなります。

ルールを決めて継続するのがポイント

さがしやすい名前にするコツは、ルールを決めてそれを継続することです。キーワードもすぐに思いつくような言葉にかぎります。それも、できるだけワンパターンな拾い方がいいのです。ナゾナゾのようなファイル名では、すぐに思い出せません。

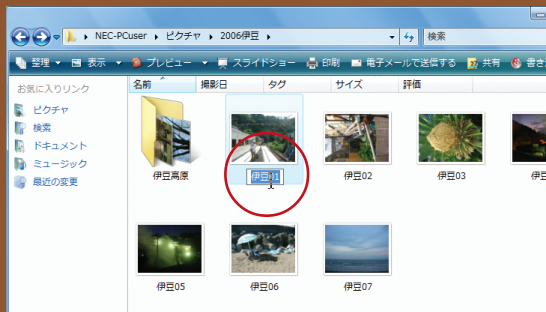
作ってから時間がたったファイルも、同じルールで名前がつけられていれば、ファイルをさがすときに、自分がどういう名前をつけたか推測しやすいでしょう。

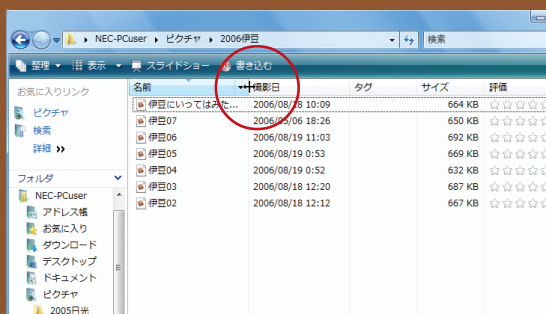
もちろん、ファイル名はあとで変えることもできます。増えてきたら、見分けやすい名前につけなおしてもいいのです。

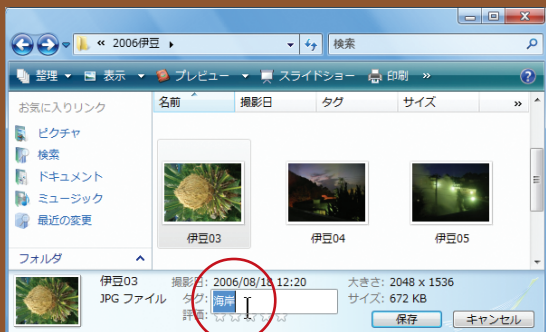
ただ、いくつか注意してほしいことがあります。

あまり長い名前にすると、詳細表示や縮小表示のときに後ろのほうが表示されません。全角なら十文字程度、半角なら二十文字程度までにしたほうがいいでしょう。

また、半角の「/」や「¥」、「*」、「?」は、ファイル名に使えません。ひとつのフォルダに、同じ「種類」で同じ名前のファイルを入れることもできません。

■ ファイル名を変更する

表示を「大アイコン」にした画面。ファイルの名前を変えたいときは、ファイルを一度クリックして、しばらくしてから、ファイルの名前の部分をクリックすると、入力できるようになる。すぐに続けてクリックするとファイルが開いてしまうので、少し間隔をあけてクリックしよう

■ ファイル名の見えない部分を表示する

表示を「詳細」にした画面。ファイル名の後のほうが隠れているときは、「名前」の右側の縦の区切り線を右側にドラッグする。10個以上のファイルに連番をつけるときは、「03」のように、一桁の数字も前に0をつけておけば「3」が「10」の後ろに並んでしまう心配もない

■ タグ（キーワード）をつける

写真などのファイルは、画面下部の「タグの追加」をクリックするとタグをつけられる。タグをつけておけば、ファイル名だけでなく、そのタグをキーワードにして検索できる

「ドキュメント」フォルダに集めよう

パソコンの中にはいろんなファイルが入っています。買ったときから入っているものもあって、勝手に消すわけにはいきません。そういったものと自分が作ったファイルを混ぜてしまっては混乱のもとです。

ファイル整理の鉄則は、「一か所に集めて、フォルダで分類する」。フォルダというのは、ファイルを分類するための入れ物。なんでも入る整理箱みたいなものです。

では、どこに集めればいいのでしょう。そのために「ドキュメント」というフォルダが準備されています。

大事な書類を、あちこちに置いていてはワケがわからなくなります。自分で作ったファイルは、全部「ドキュメント」に保存すると決めましょう。

整理整頓のカギは、この「ドキュメント」の中。ここにどんなフォルダを作って、どんな基準で整理するかが工夫のしどころです。

フォルダを作るのは簡単です。フォルダを開いて、そのフォルダの、アイコンなどが何もないところで右クリック。「新規作成」にマウスポインタを合わせ、「フォルダ」をクリックすると新しいフォルダができます。名前はファイルと同じ方法で変えられます。

ワードなどのソフトでファイルを保存するときにも、「名前を付けて保存」の画面でフォルダを作れます。「新しいフォルダ」をクリックすればいいのです。でも、保存のついでに作ろうとすると、名前もいい加減なものになりがちです。先に作っておいたほうがいいでしょう。

「スタート」をクリックして、「ドキュメント」をクリックすると、「ドキュメント」が開く。写真用の「ピクチャ」や音楽用の「ミュージック」もある

一か所に集めて、フォルダで分類しよう

ファイルがたまってきたら、どういうフォルダを作るか考えてみましょう。

机の上を整理する方法と同じです。写真、ハガキ、名刺など、仲間同士を同じ箱にしまいますね。

そういう具合に、右の図のように、あなたがどんなことにパソコンを使っているか、どんな種類のファイルがあるか書き出して、丸で囲んでグループ分けします。この丸のひとつひとつに該当するフォルダを作ればいいのです。

これを、家系図やトーナメント表みたいな書き方にすることもできます。

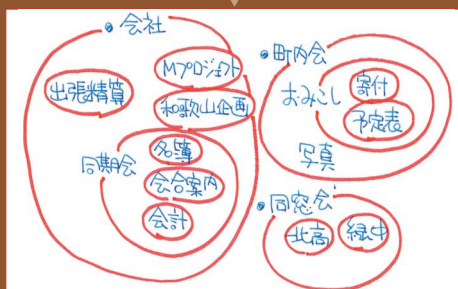
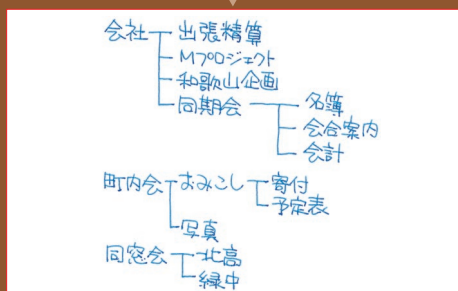
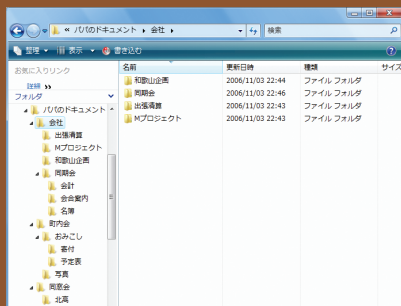
こんな書き方の図をパソコンの画面で見たことはありませんか？

フォルダの画面の左下にある「フォルダ」をクリックすると表示される、あの図によく似ています。

ひとつのフォルダの中に、いくつかのフォルダがあって、さらにそのフォルダの中に、またフォルダがある……入れ子になっているフォルダの全体構成を見るときに便利な、あの画面です。

あなたが書き出した用途の分類と同じ構成のフォルダを作れば、あなたがこれから作るファイルをうまく分類していけるのです。

■ フォルダをどう作る？

パソコンをどんなことに使うかを書き出す

丸で囲って分類する。このようにフォルダを作れば、これから作るファイルを収めやすい

家系図を横にしたように並べてみる

フォルダの階層図と見比べながらなら作りやすい

フォルダ

ファイルやフォルダを表示している画面の左下にある、「フォルダ」をクリックすると、その上に、パソコンの中のフォルダの構造図が表示され、今表示されているフォルダが、そのうちのどこに位置するかがわかる

秘訣3 いらないファイルは捨てる

フォルダを作って整理したら、
いらないファイルもでてきました。
こんなときには、思いきって、ごみ箱に捨ててしまいましょう。

うっかり必要なものを捨ててもダイジョウブ！

いろいろやっているうちに、フォルダはファイルであふれてしまいます。もういらないファイルも混じっていませんか。

パソコンの画面のすみっこには「ごみ箱」があります。ここに捨ててしまえばいいのです。いらない物が多いと必要なものが見えなくなりますしね。

いらないファイルやフォルダのアイコンをドラッグして、そーっとごみ箱まで移動します。そして、ごみ箱の上でマウスのボタンを離すと、ファイルがごみ箱に入ります。

ファイルやフォルダはごみ箱に捨てただけでは消えません。ごみ箱に入った状態で保存されていますから、心配はいりません。

試しにファイルをどれかごみ箱に入れてみましょう。入れたらごみ箱をダブルクリックして開いてみましょう。

さっき捨てたファイルがここに入っているはずです。このファイルを右クリックして「元に戻す」をクリックすると、ファイルはもとの場所に戻ります。

いらなくなったファイルは、ごみ箱へドラッグ。空っぽのごみ箱にファイルやフォルダが入ると、アイコンも少し変化する

ごみ箱をダブルクリックして開き、捨てたファイルをクリックして、ごみ箱画面上部の「この項目を元に戻す」をクリックしても、ファイルはもとの位置に戻る

※テレビ番組データは、「ごみ箱」を使わず、SmartVision上で削除してください。

本当にファイルを消したいときは

逆に、本当にファイルを消したいときは、ファイルをごみ箱に入れた後、ごみ箱画面上部の「ごみ箱を空にする」をクリックします。たとえば、ハードディスクがいっぱいになったときは、本当にファイルを消さないと、ファイルを保存したり、ほかからコピーしたりすることができなくなります。また、ごみ箱にあまりたくさんのファイルやフォルダが残っていると、もとに戻そうと思ったときに、そのファイルをさがすのがたいへんです。

「ごみ箱を空にする」と、ファイルは完全に消えてもとに戻せなくなります。残しておきたいときは、CDやDVDなどに保存してから、削除してください。

仮のごみ箱を作っておくと安心

いずれいらなくなりそうだが、まだ保管しておかなくてはいけないファイルは、「08年10月削除予定」といった名前のフォルダを作ってそこに入れておく手もあります。その時期が来たら、フォルダごと捨ててしまえばいいので安心です。

便利な右クリックメニュー

ごみ箱がウィンドウ（画面）に隠れてどこにあるかわからないときやファイルとごみ箱が離れていてドラッグするのがたいへんそうなとき、意外に重宝するのが右クリックメニュー。

ファイルやフォルダを右クリックすると、その場所にペロッと垂れ幕のようにメニューが出ます。その下のほうに「削除」というのがあるので、今度はそこをクリックする。「ファイルの削除」という画面で「はい」をクリックする。

こうすると、ごみ箱までドラッグしたのと同じように、ファイルやフォルダがごみ箱の中に入ります。

大事なファイルは大切に保管する

消えてしまったファイルはさがしようがありません。
いざというときのために、データの
こまめな保存とバックアップを心がけましょう。

削除や上書きは慎重に

ここまで、ファイルのさがし方やさがしやすい整理のしかたを見てきましたが、これは、存在しているファイルの話です。消えてしまったファイルは、さがせません。ファイルが消えないようにする工夫も必要です。

いろんな作業をしていると、どうしても、うっかり削除してしまったり、上書きしてしまうことがあります。

上書きというのは、もともとあったファイルの上に、ほかの新しいファイルを保存して、もとのファイルを消してしまうことです。

たとえば、同じフォルダに、同じソフトで作った、同じ名前のファイルを保存しようとして、「上書き」を選ぶと、もともとあったファイルは消えて、新しいファイルだけが残ります。

こういったことで、時間をかけて作った書類や絵が消えてしまうことがあります。

どうすれば、こういう問題を避けることができるでしょう。ダメージを最小限に抑えることができるでしょう。

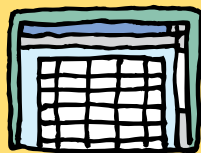
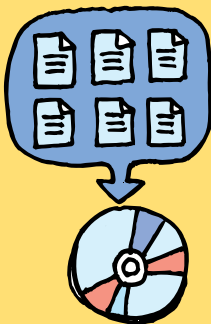
作業中だからこそこまめに保存

まず、作業中のデータはこまめに保存すること。

ワープロや表計算ソフトで書類を作っているときは、つい熱が入って、少しでも先へ進むように、我を忘れて作業を続けてしまうことがあります。そんなときも、十分とか二十分おきに、や「ファイル」メニューの「上書き保存」を選んでください。ハードディスクに保存されている文書が、作業中の最新の状態に更新されます。メニューから選ぶのがめんどうであれば、「Ctrl」キーを押しながら、「S」キーを押す方法もあります。

制作の各段階の履歴ファイルを残しておくと、さらに、安心です。

たとえば、このマニュアルの原稿もパソコンで書いていますが、多くの人と相談しながら、何度も書きなおしています。何度も書きなおすうちには前のものに戻そうということもあるので、古いファイルが役に立つのです。

履歴を残すためには、メニューや「ファイル」メニューで「名前を付けて保存」を選ん

で、ファイル名を少しずつ変えて、同じフォルダに保存しておけばいいのです。
　ファイル名に番号をつけておいて、古いものから順に「ファイル整理術01」、「ファイル整理術02」……という具合に番号を増やしていくだけなので、簡単なことです。

■ 三段階でファイルを守る

①こまめに保存する

②履歴を保存する

③まとめてバックアップする

バックアップがデータを守る

　ハードディスクのデータが壊れたり消えたりしたときのために、ハードディスクに入っているデータをCDやDVDに保存しておくことを、「バックアップを取る」といいます。
　定期的にバックアップを取っておけば、いざというときに、そのCDやDVDに保存したデータをもとに戻せば、バックアップを取ったときの状態まで復帰することができます。万一のための備えです。

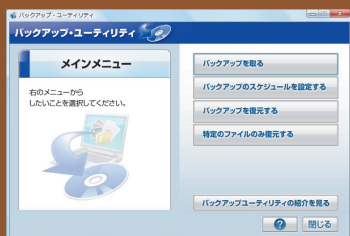
　このパソコンには、「バックアップ・ユーティリティ」という、データのバックアップを取るためのソフトが入っています。
　また、当分使いそうにないデータは、まとめてCDやDVDに保存して、ハードディスクからは消してしまったほうが、整理しやすい（あとでさがしやすい）こともあります。CDやDVDに書き込むときは、「Roxio Creator LJ」を使います。

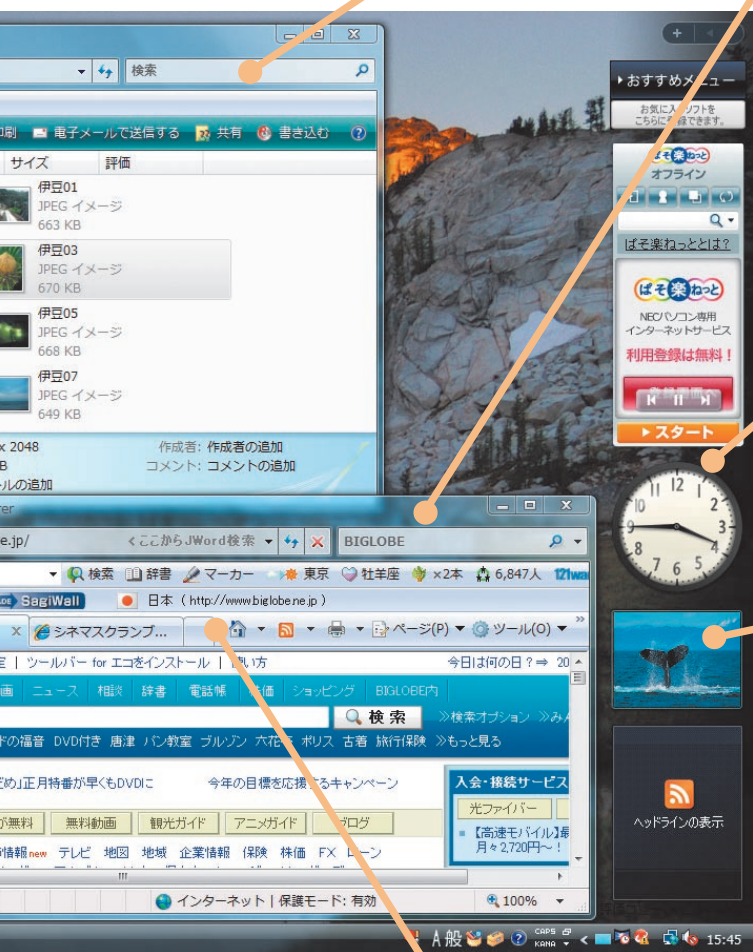
■ バックアップ・ユーティリティでデータをまとめて保存する

ソフトナビゲーター

安心・サポート・便利

データをバックアップ/復元する

バックアップ・ユーティリティの「ソフトを起動する」

この画面でしたいことを選びます。
スケジュールを決めて、自動的にバックアップを取るよう設定することもできます（たとえば毎晩決まった時刻に自動でバックアップを取る、など）。
詳しくは「バックアップ・ユーティリティ」のヘルプをご覧ください。

※著作権保護された音楽データは、購入に利用したソフトでバックアップしてください。

ws Vista

このパソコンには、Windows Vista（以下、Vista）というOS（基本ソフト）が入っています。Vistaは、Windows XP（以下、XP）の後継OSです。

VistaとXPの違いはどこでしょう。

まず、透明感があって立体的な画面に目を奪われます。

ウィンドウが透明で下のウィンドウやデスクトップが透けて見えたり、ボタンをクリックするとウィンドウが斜め方向から立体的に表示されたり、タスクバーのウィンドウ名をポイントするとそのウィンドウが表示さ

Windows

これがVistaだ！

透明なウィンドウに透明なサイドバー。
強力な検索機能と強化されたセキュリティ対策。
新OS、Windows Vistaをご紹介します。

れたり、操作をわかりやすくする斬新な試みが随所に見られます。（Windows Vista Home Basicモデルでは、これらは表示されません）
でも、それだけではありません。検索機能やセキュリティ機能の強化、エンタテインメント機能の充実、サイドバーとガジェット、データ移行やスケジュール管理、写真のアルバムソフトなどの便利なソフトの搭載など、いろんな新しさが満載です。
それでは、XP登場から約五年ぶりに発売された新しいOSについて、じっくりと見てみましょう。

アドレスバーの▶をクリックするとそのフォルダの中のフォルダが表示される

フォルダ内の画像を順番に表示するスライドショー

大きくて立体的なアイコン

スタートメニューのいちばん下にも検索欄

スタートボタン

ファイルを検索するためのタグ（キーワード）

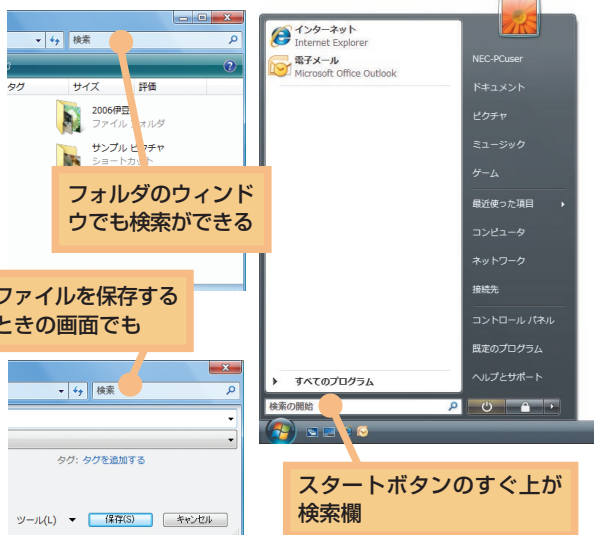
Windows Vista

これがVistaだ！

ファイルの中身もメールも検索

いろんなウィンドウで、いろんな形の検索ができます。
写真、映像、音楽、メール、書類と日々増えていくデータを扱うために、ファイルだけでなく、メールや書類の中身まで検索できるんです。

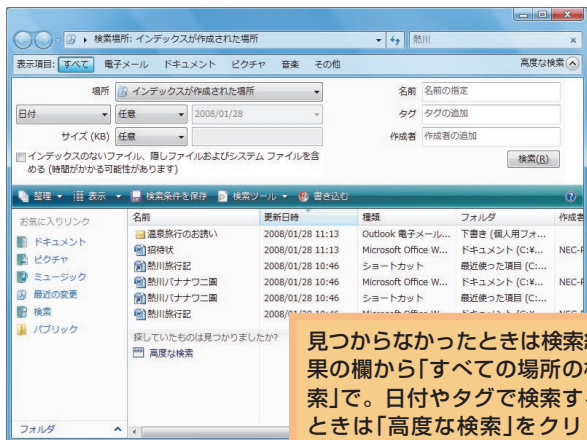
スタートメニューにも検索欄

スタートメニューのいちばん下に検索の欄があります。しかも、検索のキーワードを一文字入力するごとに、検索がおこなわれ、絞り込まれていきます。このすばやい検索は、パソコンがあいている時間に作られる検索用データベースによるものです。
フォルダのウィンドウやファイル保存のウィンドウにも検索欄がつきました。

フォルダのウィンドウでも検索ができる

ファイルを保存するときの画面でも

スタートボタンのすぐ上が検索欄

ファイルの中身やタグも

メールやワード、エクセルなどのソフトの文書の中身も検索できるようになりました。
また、ファイルには、検索や分類のためのタグを付けられるようになりました。
デジタルカメラで撮られた写真のほとんどには、撮影日時、撮影機種などのデータが登録されていますが、パソコンに取り込むだけで、これらのデータもタグになります。

見つからなかったときは検索結果の欄から「すべての場所の検索」で。日付やタグで検索するときは「高度な検索」をクリック。「インターネットの検索」では、検索エンジンでの検索結果が表示される

Windows Vista

これがVistaだ！

ソフトの切り換えも立体表示で

ウィンドウをいくつも開いて作業するときは、ウィンドウを探すのも、切り換えるのもたいへん。

切り換えをカンタンにする工夫もあります。

(Windows Vista Home Basicモデルを除く)

重なったウィンドウは斜めから

スタートボタンの右側の ボタンをクリックすると、デスクトップにウィンドウが重なっている様子を、斜めの方向から眺めることができます。たくさん重なっているウィンドウを全部見わたせます。

使いたいウィンドウが見つかったらそれをクリックすると、前面に表示されます。

キーボードの←、→キーを押すと順序を入れ替えることができる

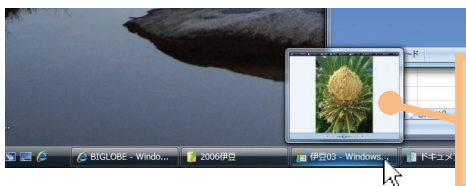
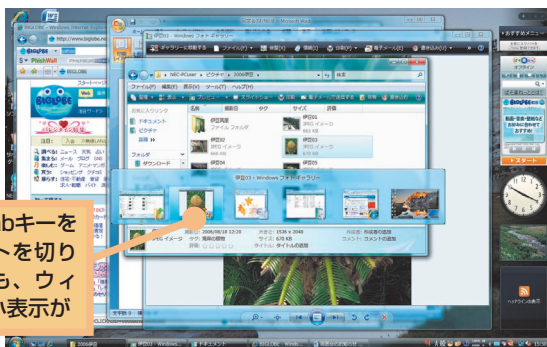
ボタンをクリックすると、デスクトップを斜め方向から表示した画面になる

使いたいウィンドウをクリックすると、もとの画面にもどる

タスクバーでも縮小表示

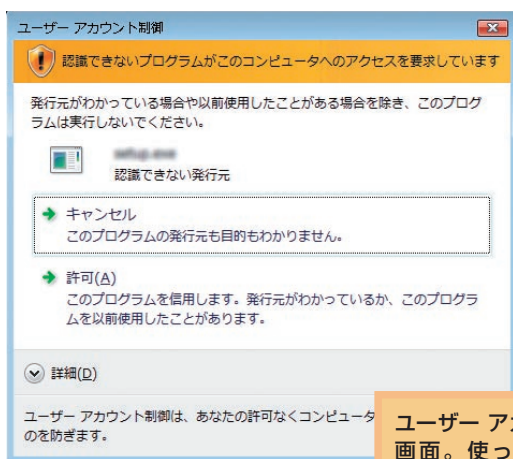
タスクバーには、今開かれているウィンドウに対応したボタンが並んでいますが、これに を合わせると、ウィンドウを小さく縮めたものが表示されるようになりました。

ソフトを切り換えるときも、それぞれのウィンドウを縮小したものが表示されます。

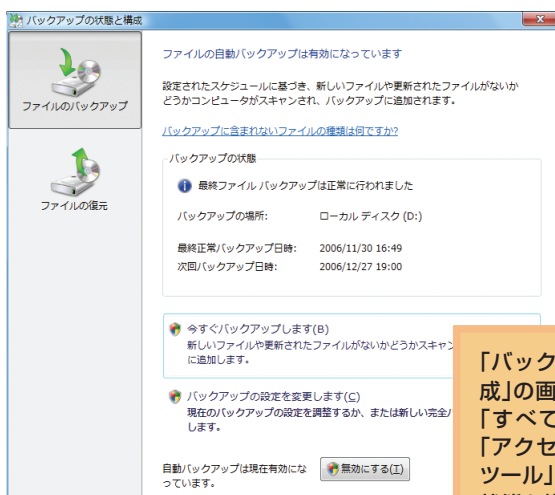
最小化したウィンドウもマウスポインタを置くと小さく表示される

AltキーとTabキーを押してソフトを切り換えるときも、ウィンドウの縮小表示が

パソコンを使っていて気になるセキュリティ。Vistaでは、さまざまな場面でセキュリティが強化されました。また、自動バックアップなどパソコンを安心して使うための機能も増えています。

設定変更の前に確認画面

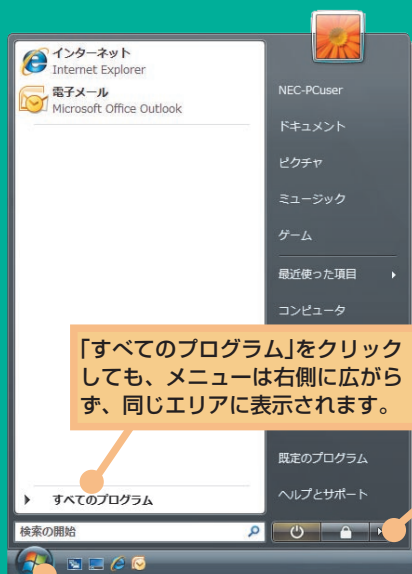
管理者として使っているときも、インストールや重要な設定変更のときに確認画面（ユーザー アカウント制御）が表示されます。ウイルスなどの悪質なプログラムによって、勝手にインストールがおこなわれたり、設定を変えられたりしないようにするためです。

ユーザー アカウント制御の画面。使っている環境によって別の画面が表示されることも

※ プログラムによっては、メッセージが異なることがあります。

上書きしたファイルも復元

システムツールに新たに追加されたのが、「バックアップの状態と構成」。この画面で、普段から自動的にバックアップをとるようにしておくと、まちがって消してしまったファイルを復元できます。

「バックアップの状態と構成」の画面。「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」→「バックアップの状態と構成」で表示される

使いなれたXPの機能、どこにいったの？

XPを使いなれていると、その変貌ぶりにとまどうかもしれません。
XPと外見が変わったり、名前が変わったために、
どこに行ってしまったのか迷いそうな機能もあります。
ここでは、おぼえておくと迷わないVistaのよく使う機能を紹介しましょう。

「すべてのプログラム」をクリックしても、メニューは右側に広がらず、同じエリアに表示されます。

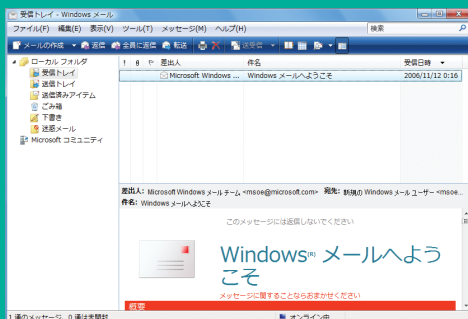
⏻をクリックすると、「スリープ」状態に

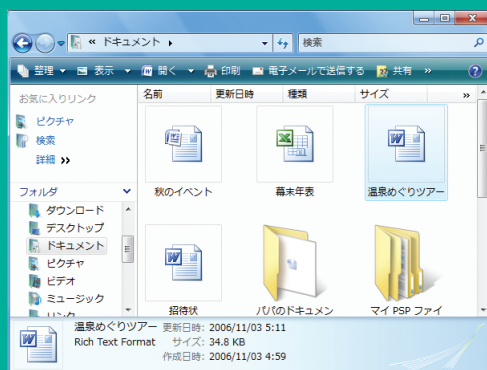
⏻をクリックすると、「スリープ」という状態になります。すばやく起動できて、しかも完全に電源が切れても復帰のためのデータが失われません。ＸＰの「スタンバイ」のすばやさと「休止状態」のデータ保持の確実性の両方を生かすため、メモリとハードディスクの両方に復帰のための情報を保持します。
（ハイブリッドスリープの場合）

再起動やシャットダウン（完全に電源を切る）のときはメニューから

- ユーザーの切り替え(W)
- ログオフ(L)
- ロック(O)
- 再起動(R)
- スリープ(S)
- シャットダウン(U)

スタートボタンとスタートメニュー

スタートボタンは、 になりました。クリックするとスタートメニューが表示されますが、すぐ上に検索欄ができました。「ファイル名を指定して実行」は、「すべてのプログラム」の「アクセサリ」に移動しましたが、この検索欄でも指定できます。

「Outlook Express」は「Windows® メール」に

メールソフト「Outlook Express」は、「Windows® メール」という名称に変わりました。

マイドキュメント

「マイ」がとれて「ドキュメント」になりました。「マイコンピュータ」や「マイピクチャ」も同様です。

これがVistaだ！

サイドバーに手軽なガジェット

デスクトップの右側には、サイドバーが表示されます。

ここに並んでいる「ガジェット」は、手軽に使えるソフトです。一般のソフトとは違う特殊なソフトです。取り替えたりすることもできます。

サイドバーに時計やぱそ楽ねっと

サイドバーには、時計やおすすめメニュー、ぱそ楽ねっとなどのガジェットが登録されています。

写真が表示されているのは、「スライドショー」（写真を順番に表示すること）というガジェットです。をクリックすると、どのフォルダの画像を表示するかや切り換えの速さを変えられます。

サイドバー
画面の右側に表示される

ガジェット
サイドバーに入れて使う手軽なソフト

ガジェットの取り付け、取り外し

ガジェットは、サイドバーにあるものだけではありません。ほかのガジェットを入れたり、はずしたりすることができます。

サイドバーの上の＋をクリックすると、ほかのガジェットが表示されます。サイドバーに追加したいときは、ここからサイドバーにドラッグします。

ガジェットのアイコンをサイドバーにドラッグするとサイドバーに追加できる。サイドバー上でもドラッグして並び順を変えることもできる

Windows Vista

これがVistaだ！

新規追加された便利なソフト

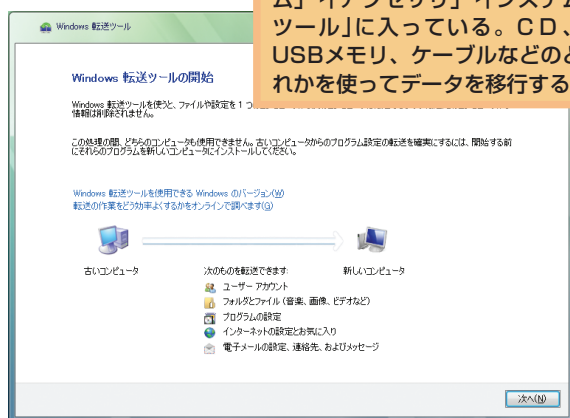
新しいパソコンへのデータ移行ソフトなど、いくつかのソフトが新しく追加されています。

これまで別々の場所で行っていた設定を、「センター」という名称で、ひとつに集めたものもあります。

新しいパソコンへデータを移行

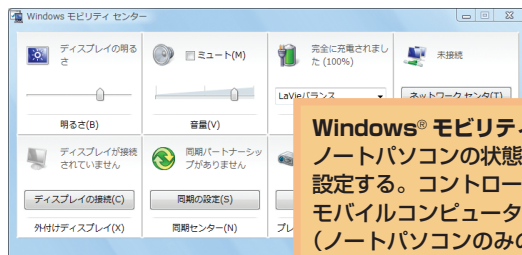
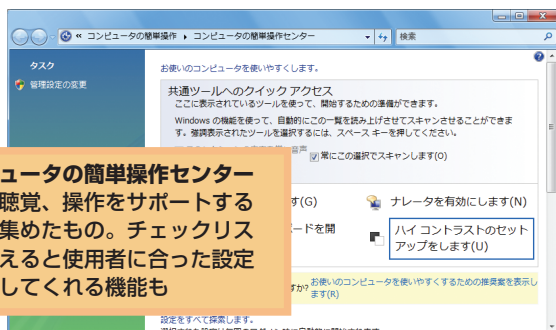
新しいパソコンのインターネットやメールの設定は面倒なものですが、古いパソコンの設定をそのまま移せば、すぐに使えるようになります。

Windows® 転送ツールは、これらの設定や、音楽、画像などのデータ、ホームページのお気に入り、ユーザーアカウントなどを、パソコンからパソコンへ移すソフトです。

Windows® 転送ツール
「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」に入っている。ＣＤ、USBメモリ、ケーブルなどのどれかを使ってデータを移行する

散らばった設定を「センター」に集中

ノートパソコンの充電や無線ＬＡＮの状態を調べたり設定する機能を集めたのが「Windows® モビリティ センター」。

「コンピュータの簡単操作センター」は、拡大鏡や音声読み上げ、画面の調整、音声入力など、視覚や聴覚や操作をサポートする設定を集めたものです。

Windows® モビリティ センター
ノートパソコンの状態を調べたり設定する。コントロールパネルのモバイルコンピュータの中にある（ノートパソコンのみの機能）

コンピュータの簡単操作センター
視覚や聴覚、操作をサポートする設定を集めたもの。チェックリストに答えると使用者に合った設定を提案してくれる機能も

リモコンでデジタルメディアを制覇しよう

リモコンが添付されていないモデルでは、マウスで操作できます。
「スタート」→「すべてのプログラム」→「Windows Media Center」をクリックして起動します。

Windows Media Centerは、写真、音楽、映像などを、リモコンでかんたんに楽しめるソフトです。ここでは、このWindows Media Centerを中心に、写真や音楽やテレビ・ビデオをパソコンで楽しむ方法を紹介します。

　リモコンのボタンを押せば、あなただけ（または、あなたと家族だけ）の専用劇場の開幕です。

Windows Media Centerは、Windows Vista Home BasicモデルとWindows Vista Businessモデルでは利用できません。

1 写真を見る

デジタルカメラで撮った写真を
パソコンに入れれば、
大きい画面で鑑賞できるし、
CDやメールで友達にも送れます。

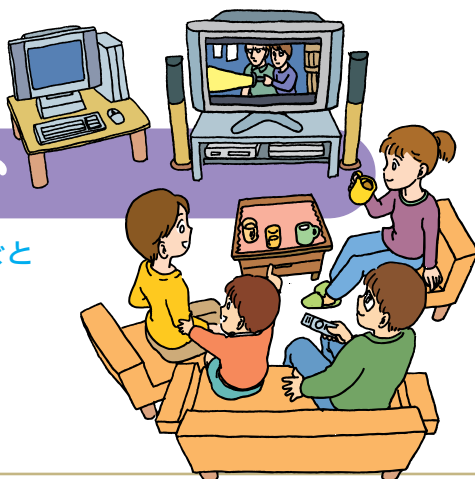
2 音楽を聴く

パソコンをオーディオに
使ってみましょう。
好きな曲を集めて、
ジュークボックスにできるんです。

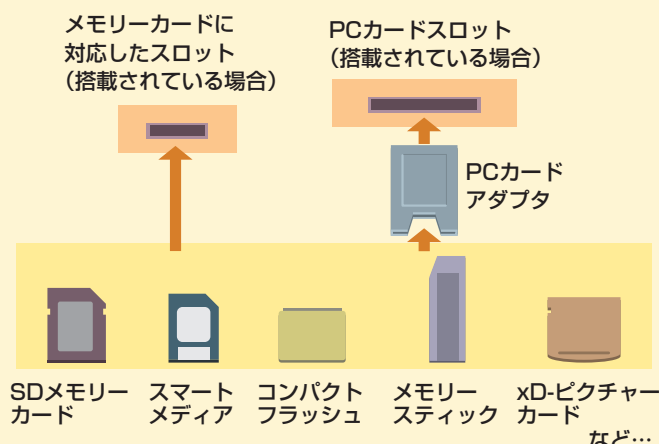
3 テレビ・ビデオを見る

パソコンでテレビを見てみましょう。
ハードディスクにも録画できます。
（テレビ機能が搭載されているモデルのみ）
ビデオカメラで撮った映像を編集できます。

4 つないで楽しむ

パソコンやオーディオ製品をつなぐと
音楽や映像をほかの場所で見たり、
聞いたりできます。

写真を見る

メモリ（メモリーカード）いっぱいに撮ったデジタルカメラや携帯電話の写真。パソコンに取り込めば、大きい画面で見られるし、色補正もできます。CDに保存したり、メールで送ることもできます。

デジタルカメラの写真をパソコンに取り込む

ボタンを押して、Windows Media Centerを起動し、下図の方法でデジタルカメラかメモリーカードをパソコンにつなぐと左の画面が表示されます。「画像とビデオのインポート」を選ぶと写真がパソコンに取り込まれて、Windows Media Centerで見ることができるようになります。

■ パソコンとカメラをつなぐと

「画像とビデオのインポート」を選んで、「取り込み」を選ぶと写真がパソコンに取り込まれる

①USBケーブルで接続する方法

デジタルカメラの機種によってはパソコンに「ドライバ」をインストールする必要があるものもある

②メモリーカードを挿入する方法

メモリーカードに対応したスロット（搭載されている場合）

PCカードスロット（搭載されている場合）

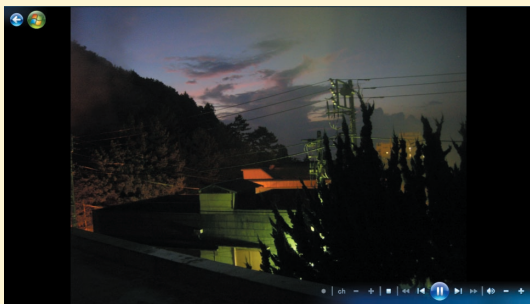
PCカードアダプタ

SDメモリーカード　スマートメディア　コンパクトフラッシュ　メモリースティック　xD-ピクチャーカード　など…

画面いっぱいに写真を表示して楽しむ「スライドショー」

フォルダなどに入っている写真を、一枚ずつ次々と画面いっぱいに映すことを「スライドショー」といいます。

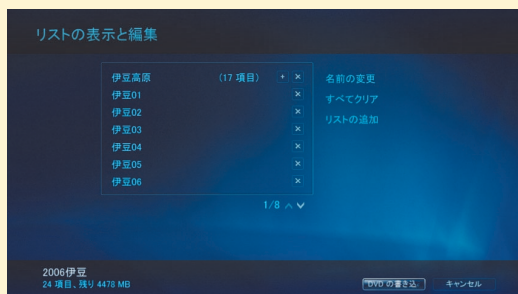
Windows Media Centerだけでなく、「ピクチャ」のフォルダの「スライドショー」ボタンやWindows®フォトギャラリー、サイドバーの「スライドショー」などのソフトでもスライドショーができます。

■ スライドショーで写真を楽しむ

「ピクチャ・ビデオ」の画像ライブラリで「スライドショー」を選ぶか、「すべて再生」を選ぶ。リモコンで ►（次の写真）、◄（前の写真）、■（停止）などの操作ができる。「ミュージック」で音楽を流しながら、スライドショーを表示することもできる

写真をCDやDVDにして友だちにプレゼント

旅行の写真や同窓会の写真。いっしょに写っている人にもあげたいものです。

印刷してあげてもいいのですが、CDやDVDにしてプレゼントすれば、その人は何枚でも印刷できるし、ほかの人にメールで送ることもできます。

■ プレゼントにはCDで

パソコンにCDをセットし、「画像ライブラリ」でフォルダを選んで（または、「すべて再生」で）サブメニューボタンを押し、「書き込み」を選ぶと、CD作成の操作が始まる。「データCD」、CDの名前を指定し、CDに入れる写真を一覧表（上の画面）で確認して、「CDの書き込み」を選ぶとCDへの書き込みが始まる

明るさを変えてみよう！

写真の明るさや色合いを変えられるのも、パソコンならでは。

Windows Media Centerにも自動で調節する機能がありますが、Corel Paint Shop Pro Photoなら、明るさやコントラスト、色あいなどを調節できます。

鉛筆画や油絵のタッチに変換する機能（「効果」→「アートメディア効果」）などもあって楽しめます。

▶ソフトナビゲーター▶写真・映像▶写真を編集する▶Paint Shop Proの「ソフトを起動する」

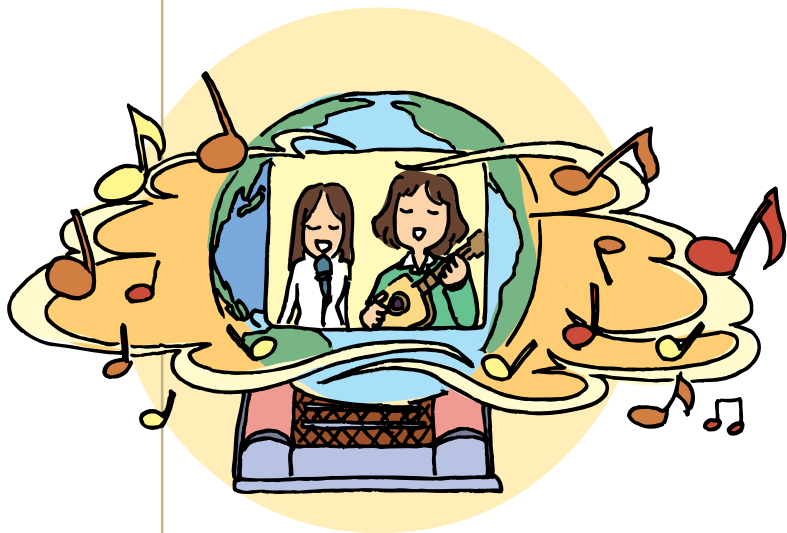
Corel Paint Shop Pro Photoで、写真を選んで、「調整」→「明るさとコントラスト」→「明るさ/コントラスト」を選ぶとこの画面が表示される。「明るさ」「コントラスト」のスライドバーをドラッグすると、変更後を確認しながら調節できる

音楽を聴く

パソコンにCDを入れると音楽を聴けます。それだけではありません。CDや音楽配信サイトから音楽をパソコンに取り込めば、携帯音楽プレーヤーやCDに書き出すこともできます。パソコンが音楽のライブラリーになるのです。

CDの音楽をパソコンに取り込んで再生すれば

ボタンを押して、Windows Media Centerを起動してから、CDをセットすると、プレイビューの画面が表示され、CDに入っている音楽が再生されます。

プレイビューの画面の「取り込み」を選ぶと、曲の取り込みの作業が始まります。

■ CDを入れると演奏が始まる

Windows Media Centerを起動して、CDをセットすると、自動的にこの画面になり、CDの演奏が始まる。曲をパソコンに取り込みたいときは、「取り込み」を選ぶ

- 音楽CDなど、市販のCDは、著作権によって保護されています。個人で楽しむ以外の目的で複製することはできません。
- コピーコントロールCDなど一部の音楽CDは使用できない場合があります。

インターネットの音楽配信サービスで音楽を購入する

インターネットの音楽配信サイトでは、インターネットを使って音楽を購入し、パソコンにダウンロードすることができます。

アルバム単位での販売だけでなく、一曲ずつ買うことができるものもあり、使い方によってはずいぶんお得です。

■ インターネットで音楽を買う

モデルによって画面が異なる場合があります

Windows Media Centerでは、「ミュージック」の「音楽ライブラリ」か「すべて再生」の画面で曲を選び、「音楽の購入」を選ぶ

携帯音楽プレーヤーで音楽を持ち歩く

携帯音楽プレーヤーや音楽携帯で音楽を持ち歩いて聞くときもパソコンが活躍します。CDから取り込んだり、インターネットで購入した音楽を、パソコンから転送できます。

一般には、専用のソフトを使います。そのプレーヤーのマニュアルをご覧ください。Windows Media Centerでは、「タスク」の「同期」で、転送をおこないます。

好きな曲を集めてお気に入りCDを作る

好きな曲を集めてCDを作りたいときは、空の書き込みができる新しいCDをセットして、「ミュージック」の「音楽ライブラリ」か「すべて再生」の画面でサブメニューボタンを押して（マウスの場合は右クリック）、「書き込み」を選んでください。

あなたの音楽ライブラリーの中から、CDに入れたい曲を選んでCDを作れます。

■ CDに書き込む

メニューで「書き込み」を選ぶと、CD書き込みの操作が始まる。この画面は書き込む曲目の一覧

このソフトでも音楽を聴けます

音楽を聴くソフトは、Windows Media Centerだけではありません。

このパソコンに入っているWindows Media Player※やBeatJamなどのソフトで音楽を聴くことができます。音楽配信サイトからの音楽の購入や、CDの制作などができます。あなたが使いやすいソフトをさがしてみてください。

※リモコンで操作することはできません。

ソフトナビゲーター▶音楽▶音楽を聴く▶Windows Media Playerの「ソフトを起動する」

▼

Windows Media Playerの画面

ソフトナビゲーター▶音楽▶音楽を聴く▶そのほかのソフト▶BeatJamの「ソフトを起動する」

▼

BeatJamの画面

テレビ・ビデオを見る

■ここに掲載している内容の中で、テレビに関する記載は、テレビ機能が搭載されているモデルのみの機能です。詳しい使い方は『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

パソコンでテレビを見てみましょう。
タイムシフトモードを利用すれば、見ている番組のうち一定時間分がハードディスクに記録されているので、その分、巻き戻しもできます。

アンテナと初期設定ができたらさっそくテレビを見てみよう

アンテナ線の接続とテレビ機能の初期設定ができていれば、テレビを見ることができます。アンテナ線の接続については『準備と設定』、テレビ機能の初期設定については『テレビを楽しむ本』をご覧ください。

リモコンの▲▼◀▶ボタンを押して、「テレビ（SmartVision）」の「テレビ視聴」を選び、決定ボタンを押すと、番組が表示されます。番組情報ボタンを押すと、番組のタイトルなどの情報が表示されます。

録画ボタンを押せば、見ている番組を録画できます。番組は、パソコンのハードディスクに録画されます。録画を終わるときは、■（停止）ボタンを押してください。

（テレビメニュー）ボタンを押すと、テレビ関連の機能をメニューにまとめた画面が表示されます。

録画を再生するときは録画番組一覧から

録画した番組を見たいときは、テレビメニュー画面で（録画番組一覧）を選び、番組が保存されているフォルダ（通常は「録画フォルダ」）を選んで決定ボタンを押し、録画番組一覧から番組を選んで決定ボタンを押します。

■ 録画番組一覧

録画した番組には、番組情報にしたがって番組のタイトルがつけられている

あなたがテレビ放送や録画物などから取り込んだ映像や音声は、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用できません。

DVDに保存すればDVDプレーヤーでも楽しめる

ハードディスクがいっぱいになると、録画やパソコンのほかの作業ができなくなります。必要な映像、保存しておきたい映像は、こまめにDVDに保存して、ハードディスクの映像は削除しておきましょう。

DVDには、左の図のように、多くの種類があります。DVDプレーヤーなど、ほかの機器で再生するときは、機種によって再生できるDVDが違うので気を付けてください。

DVDをパソコンにセットすると再生がはじまる

DVDをパソコンにセットすると、WinDVD for NEC※が起動して、DVDが再生されます。早送りや前後のチャプターへのジャンプなどの操作はリモコンでできます（DVDによってはできない機能があります）。

マウスで操作するときは、マウスでどこかをクリックすると、画面の上下に操作用のボタンが表示されます。

■ このパソコンで書き込みできるDVDの種類

・DVD-R、DVD+R
データの書き込みは1回だけ。書き替えはできない。

・DVD-R(2層)、DVD+R(2層)
データの書き込みは1回だけ。書き替えはできない。約8.5Gバイトのデータを保存できる。

・DVD-RW、DVD+RW
データの書き替えができる。

・DVD-RAM
データの書き替えができる。DVD-RAMに保存したデータは、DVDプレーヤーなどによっては見られないことがあるので要注意。

ブルーレイディスクが使用できるモデルではBD-R、BD-REにも書き込みできます。

■ DVDの容量

DVDに録画できる時間は、画質によって異なる。DVD-Rでは、地上アナログ放送の標準画質で約2時間、高画質なら約1時間程度。

■ DVDの再生

WinDVD for NEC※で再生中の画面

※ ブルーレイディスクドライブモデルでは、WinDVD BD for NECが起動します。

ビデオの編集に挑戦！

旅行や子どもの運動会のビデオ、思い出に残しておいても、撮りっぱなしで編集なしでは、見るのもひと苦労。でも、デジタルビデオカメラをパソコンにつないで、映像を取り込めば、かんたんに編集できるんです。

※デジタルビデオカメラとパソコンの接続方法については、デジタルビデオカメラのマニュアルをご覧ください。

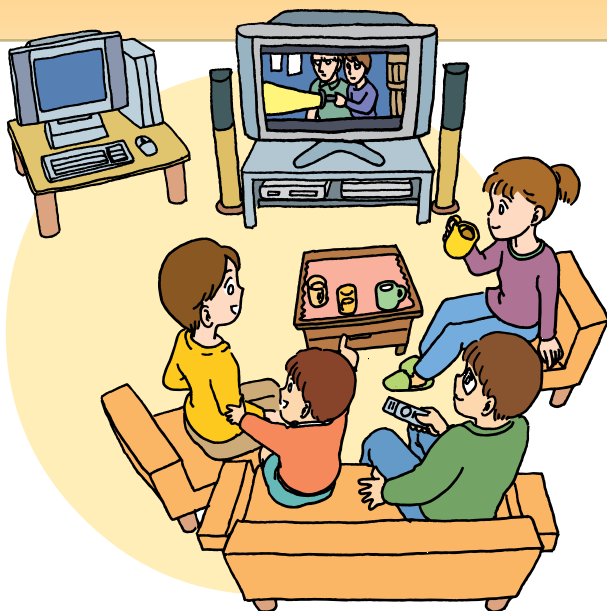
DVD MovieWriter for NECを使うと、タイトルや音楽もかんたんにつけられる

つないで楽しむ

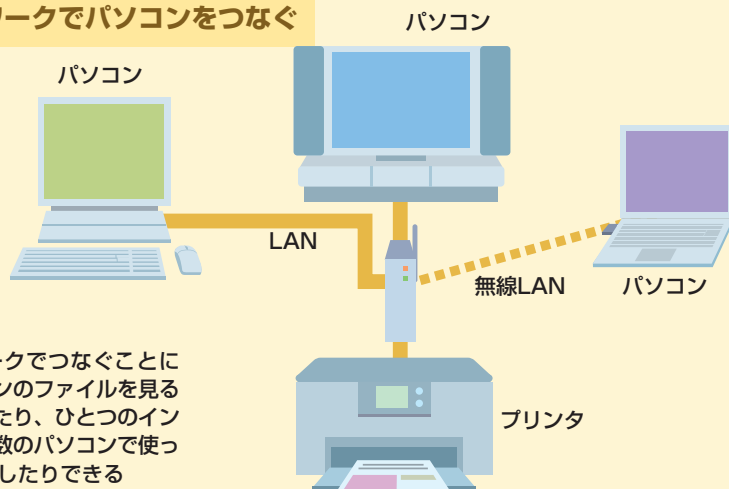
書斎のパソコンに入れた音楽をリビングのオーディオで聴きたい。リビングのビデオデッキに録画したテレビ番組を寝室で見たい。そんなふうにできたらいいなと思ったことはありませんか？

ホームネットワークでパソコンをつなぐ

家庭内にいくつかのパソコンがあれば、それをホームネットワーク（家庭内LAN）でつなぐことができます。

LANケーブルやハブでつないだり、無線LANでつないで、「ホームネットサポーター」で設定します。

■ ネットワークの設定は

ホームネットワークの設定は、「ソフトナビゲーター」→「ホームネットワーク」→「ホームネットワークを設定する」→「ホームネットサポーター」でおこなう

■ ホームネットワークでパソコンをつなぐ

パソコンをネットワークでつなぐことによって、ほかのパソコンのファイルを見ることができるようにしたり、ひとつのインターネットの回線を複数のパソコンで使ったり、プリンタを共有したりできる

DLNAがパソコンやAV機器をつなぐ

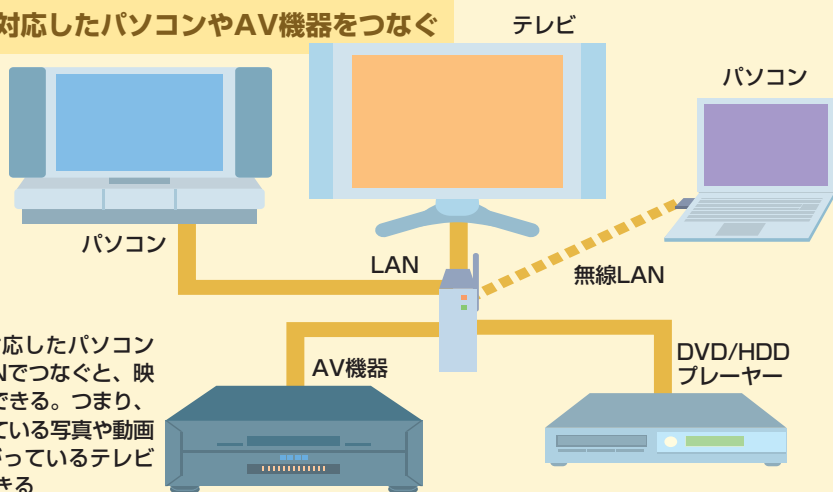
NECのパソコンのWindows Media Centerは、DLNAという規格で、パソコンやAV機器をつなぐことができます。

DLNA（Digital Living Network Alliance）は、ホームネットワークを使って、ほかのパソコンやAV機器に保存されている映像や音楽を見たり聴いたりできるようにする規格です。

パソコンやホームサーバー、DVD／HDDレコーダーなどは映像や音楽を蓄積する「サーバー」に、テレビやAVコンポ、パソコンはそれらの映像や音楽を再生する「プレーヤー」になります。

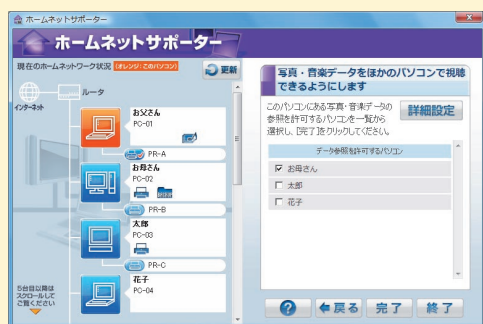
2005年10月以降に発売され、MediaGarageがインストールされているNECのパソコンもDLNAに対応しています。

DLNAに対応した機器をホームネットワークでつなぐと、書斎に置いたパソコンに入っている写真や動画を、リビングのテレビで見るといったことができるのです。

■ DLNAに対応したパソコンやAV機器をつなぐ

DLNA規格に対応したパソコンやAV機器をLANでつなぐと、映像や音楽を共有できる。つまり、パソコンに入っている写真や動画をLANでつながっているテレビで見ることができる

コンテンツを公開してWindows Media Centerで楽しむ

パソコンなどの機器は、ネットワーク上のほかの機器からはすぐに利用できないように保護されています。DLNAに対応した機器に保存されている、音楽、画像、映像といったコンテンツも「公開」という手続きをしないと、ほかの機器から見ることはできません。

コンテンツを公開すると、Windows Media Centerの「ホームネットワーク」で、視聴できるようになります。

■ コンテンツを公開する

コンテンツの公開は、「ホームネットワークサポーター」（右ページ）の「写真・音楽データの共有設定」でおこなう

今、注目の新機能① ぱそ楽ねっと

【「ぱそ楽ねっと」は手軽で便利なネットの入り口】

あなたのデスクトップからインターネットにひとっとび

インターネットはとっても便利だけど、天気予報やニュースをチェックするのに、いろんなホームページを見て回るのはめんどくさい。いつも見る情報は、パソコンの画面のどこかにいつも表示されていればいいのに。

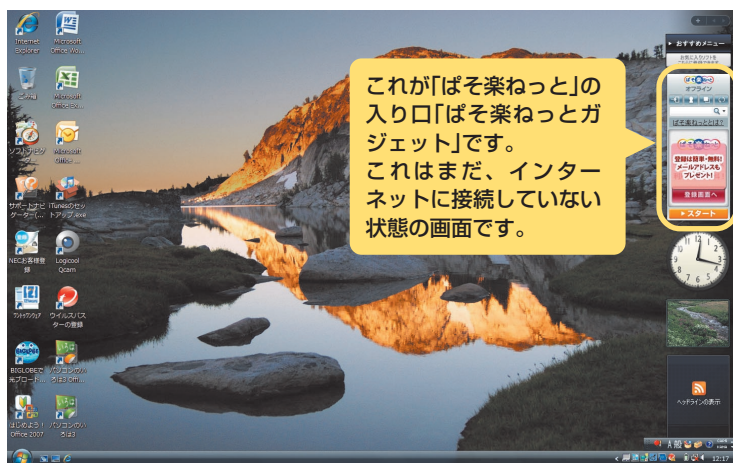
そんな願いにこたえるのが「ぱそ楽ねっと」です。

「ぱそ楽ねっと」は、デスクトップ上のサイドバーに、インターネットで提供される天気、星占い、ニュースや、動画、音楽、壁紙のおすすめ情報など、あなたの好みに合わせたコンテンツを表示します。

そして、それを入り口にして、インターネットにもっと簡単に入っていけるようにしてくれる仕組みです。最新の情報を表示するために、いつもインターネットを使うので、ADSLや光ファイバーなどのブロードバンド接続のかたにおすすめします。

コンテンツ＝映像、音楽、文章、サービスなどの総称。

※ここで紹介している画面は、実際の画面とは異なることがあります。

まずは「スタート」をクリックして利用登録！

「スタート」をクリックすると、インターネットに接続され、こんな画面に変わります。

「ぱそ楽ねっと」は、自分の好みに合わせた情報を表示するために、BIGLOBEのユーザIDを利用しています。

デスクトップ右側のサイドバーにある、「ぱそ楽ねっとガジェット」に「スタート」があるので、この「スタート」をクリックしてください。インターネットに接続され、入会案内、ニュースや無料動画情報がローテーションしてガジェットに表示されます。入会案内の『登録画面へ』ボタンをクリックして、BIGLOBEのユーザIDを取得（無料のカフェ会員登録）し、「ぱそ楽ねっと」に利用登録（無料）してください。

「ぱそ楽ねっと」に利用登録したら、ここをクリックして、ログインしてください

登録画面が表示されていないときは、ここのボタンをクリックしてから「入会案内」を選択してください。登録画面が表示されます

この画面は、「ぱそ楽ねっと」にログインする前の画面です。「ぱそ楽ねっと」への利用登録はここからおこなってください

ゲストさん
アロマテラピー
ぱそ楽ねっと
NECパソコン専用
インターネットサービス
利用登録は無料！
登録画面へ

※すでにBIGLOBEのユーザIDをお持ちのかたは、「ぱそ楽ねっと」の利用登録をするだけでお使いいただけます。
※「ぱそ楽ねっと」の利用登録は無料ですが、サービスやコンテンツには、有料のものがあります。

あなたにピッタリの情報がギュッとつまったぱそ楽ねっとガジェット

あなた専用に作られたページ（Myページ）を表示する

メニューを表示する

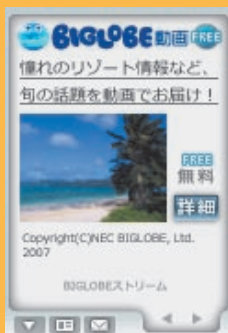
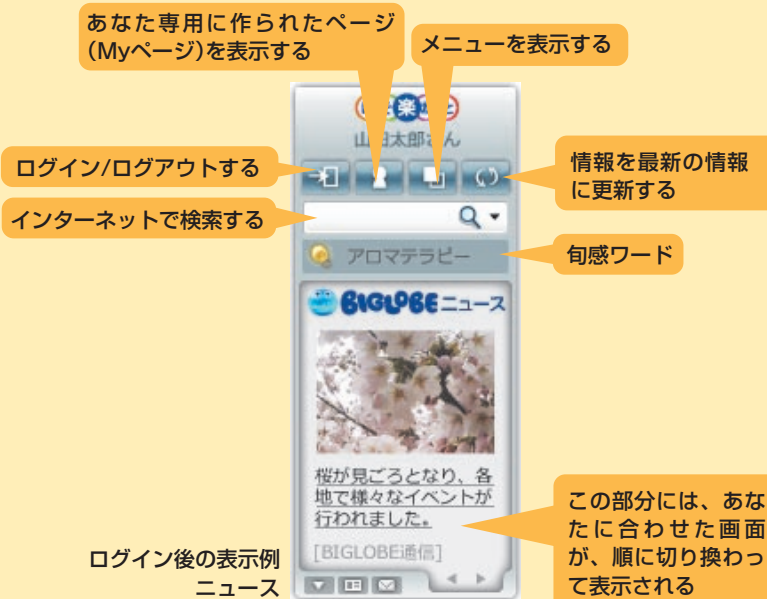
ログイン/ログアウトする

情報を最新の情報に更新する

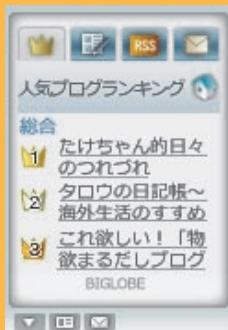
インターネットで検索する

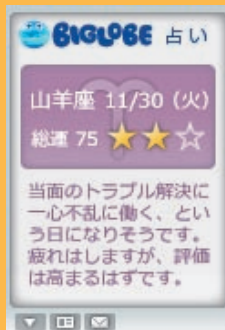
旬感ワード

この部分には、あなたに合わせた画面が、順に切り換わって表示される

ログイン後の表示例
ニュース

動画

音楽

壁紙

人気ブログランキング

天気予報

占い

「ぱそ楽ねっと」にログインすると、デスクトップの右端に表示されるサイドバーの「ぱそ楽ねっとガジェット」にあなたに合った情報が順に表示されます。

もっとくわしい情報を知りたいときは、表示されている情報をクリックしてみてください。詳細ページが表示されます。

「Myページ」ボタンをクリックすると、「ぱそ楽ねっと」に関するおしらせや、おすすめコンテンツ、各種設定、BIGLOBEの各サービスへのリンクなど、あなた専用に作られたページが表示されます。

ログイン＝パソコンやインターネットなどのシステムで、IDやパスワードを使って本人であることを認証し、そのシステムを使える状態にすること。ログインした状態を終了することは、ログアウトという。

今、注目の新機能❶ ぱそ楽ねっと

動画、音楽、壁紙、ブログなど、いろんなコンテンツにつながっている

ぱそ楽ねっとは、動画、音楽、壁紙、ブログ、ウェブメールなど、BIGLOBEのいろんな情報やサービスにつながっています。
ブログやウェブメールは、BIGLOBEのコミュニケーションツール「ウェブリサービス」につながっています。ブログやメールの更新・新着のおしらせがサイドバーに表示されるので、見逃しがありません。

BIGLOBE ViDEO STOREの画面イメージ

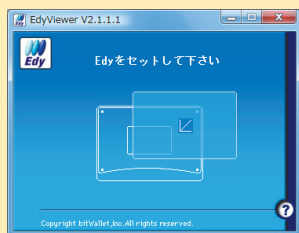
BIGLOBE 壁紙 for ぱそ楽ねっとの画面イメージ

BIGLOBEウェブリブログの画面イメージ

●動画、音楽、壁紙、ブログ等の個々のサービスについて、および、BIGLOBEの会員についてのお問い合わせ先
BIGLOBEカスタマーサポート
お問い合わせフォーム
http://support.biglobe.ne.jp/ask.html

電子マネーEdyを使えば有料コンテンツの支払いもカンタン（FeliCa対応モデルのみ）

ぱそ楽ねっとには、有料のコンテンツもあります。でも、ネットでの買い物は、支払いの手続きがめんどうだからイヤだなんて思っていませんか？
もし、Edyカードかおサイフケータイを持っていれば、カードや携帯電話をFeliCaポートにかざすことで、代金を簡単に支払うことができます。

選りすぐりの動画コンテンツが盛りだくさん、動画コンテンツを見るなら、ViDEO STORE▼

こんな画面が表示されたら、Edyカードかおサイフケータイをかざす

※サービスやコンテンツによっては、Edyでお支払いできない場合があります。

今、注目の新機能❷ネット映像

【「ネット映像」はインターネットの映像図書館】

いつでも何度でも好きなときに見られる新しい形のテレビ

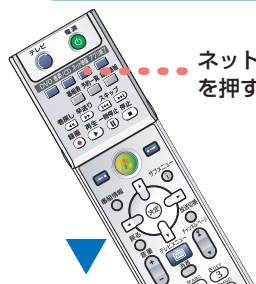
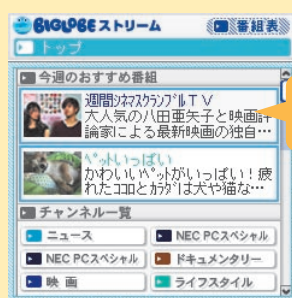
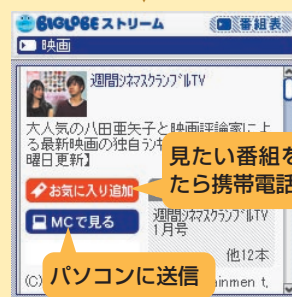
インターネットに接続したら、ぜひ試してほしいのが、「ネット映像」です。

これは、総合動画サイト「BIGLOBEストリーム」という無料映像ライブラリに、リモコンでカンタンにアクセスする仕組みです。

たとえば、レシピを見て料理しているときに、突然出てきた「ニンジンの色紙切り」。いったいどんな切り方なのか見当がつかない。知人に聞いても、電話じゃよくわからない。でも、映像で見るとすぐにわかります。

リモコンのネット映像ボタンを押して、一覧から選ぶだけ。「ニンジンの色紙切り」は、「ライフスタイル」の中の「料理の基本」の「野菜の切り方」にあります（メニューは変更になる場合があります）。

最新のニュースや天気予報、映画の予告編やドラマ、アニメ、レジャー情報など、いろんなジャンルの情報がつまっています。BIGLOBEの会員でなくても、いつでも何度でも好きなときに見ることができます。

今、注目の新機能 ② ネット映像

画面デザインやメニューは、予告なく変更になる場合があります。
ネット映像が対応している画面解像度は、1,024×768以上です。

携帯電話で番組を探して、赤外線で送信したら、今度はリモコンに（リモコン添付モデルのみ）

「ネット映像」の番組は、携帯電話でもさがせます。たとえば、外出中におすすめ番組をチェックして、携帯電話のお気に入りに登録。帰宅してその番組の情報を赤外線機能でパソコンに送信すると、番組を見ることができます。さらに、携帯電話はリモコン代わりにも使えます。

※「BIGLOBEストリームiアプリ」のダウンロードと、携帯電話の対応機種については、「BIGLOBEストリームモバイル」(http://bst.kbg.jp/)でご確認ください。
※「BIGLOBEストリームiアプリ」と「BIGLOBEストリームモバイル」の利用料は無料です。（パケット通信料は別途必要です）

「ネット映像」はインターネットの映像図書館

天気予報も「ネット映像」ボタンを押して選ぶだけ

リモコンのネット映像ボタンを押すと、ネット映像の番組表の画面になります。天気予報を見たいときは、リモコンの▲▼◀▶ボタンを使って「天気」を選び、決定ボタンを押すと、映像が表示されます。全国の天気や地域別の天気などがあるの

趣味▶ペットいっぱい！▶チワワ、ポメラニアン、プードル、アメリカンショートヘアなどのペットの日常、かわいいファッション、健康チェックなど。ウサギ、ハムスター、熱帯魚も

「ネット映像」には、たとえばこんな映像が　（内容は変更されることがあります）

ニュース	分野別のニュースと、そのヘッドライン、株式市場、各地の天気予報など最新のニュースをお届けします
映画	映画の予告編、メイキング映像や監督や出演者のインタビュー、週間ランキングなど、映画の情報・映像がいっぱい
ドラマ	韓国ドラマや中国ドラマなどのドラマ映像や、インターネットでしか見られないオリジナルドラマなど
音楽	ビデオクリップやアーティストのインタビュー、メッセージ映像、カラオケ情報など
バラエティ	芸能ニュース、俳優や映画監督の記者会見、インタビューから、未確認動物、怪奇現象まで、いろんな映像がぎっしり
アニメ	アニメ・特撮のいまどきのおすすめ作品、懐かしの作品、プロモーション映像など。さらに、ゲーム情報、FLASHゲームも
趣味	占星術などの占い、将棋の対戦・棋譜解説、モーターショーや新車の試乗レポート、ペット、競馬・ギャンブル、写真など
スポーツ	バレーボール、ラグビー、ゴルフ、格闘技、マリンスポーツなどの試合や選手インタビューなど
ショッピング	家電、音楽、DVDなどの直販番組をはじめ、旬のお取り寄せグルメなど幅広くご紹介
ライフスタイル	韓国語講座から、メイク・ヘアアレンジ、おしゃれ、100円インテリア、住まい、料理、慶弔マナーなど。バラエティに富んだ品揃え
旅行・地域	海外・国内旅行のガイド、行楽・トレンディースポット情報など、世界の旅行情報と自然の映像満載
グラビア	人気アイドルのプロモーション映像やインタビューなど、アイドルの映像や情報がいっぱい

●映像に関するお問い合わせ先

「BIGLOBEカスタマーサポート」 お問い合わせフォーム　http://support.biglobe.ne.jp/ask.html

「BIGLOBEカスタマーサポート インフォメーションデスク」

通話料無料 0120-71-0962 携帯電話・PHS・CATV電話の場合 03-3945-0962（通話料お客様負担）

9:00～21:00 365日受付

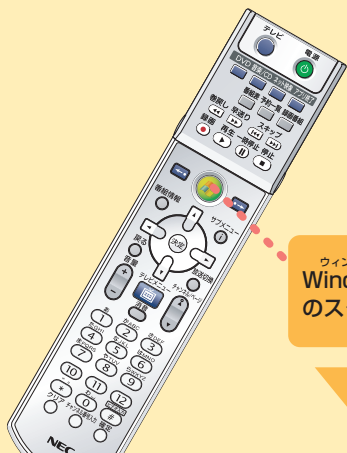
で、▼ボタンで選んで決定ボタンを押すと、見たい映像が表示されます。

見ている映像が終わると、自動的に次のタイトルの映像が表示されます。

旅行・地域▶国内外の観光地情報やレジャー・グルメ情報など。トレンディースポットから潮干狩り、季節のおもてなしレシピも

旅行・地域▶日本の鍋料理▶地域の鍋料理の紹介、調理法、特産品の使用、家庭でも簡単にできる鍋料理など

これらの映像の画面は、イメージ画像です。実際に配信されているものではありません。内容も異なることがあります。

メディアオンラインのネット映像（Windows Media Center）

Windows Media Centerの「メディアオンライン」には、また別の「ネット映像」があります。

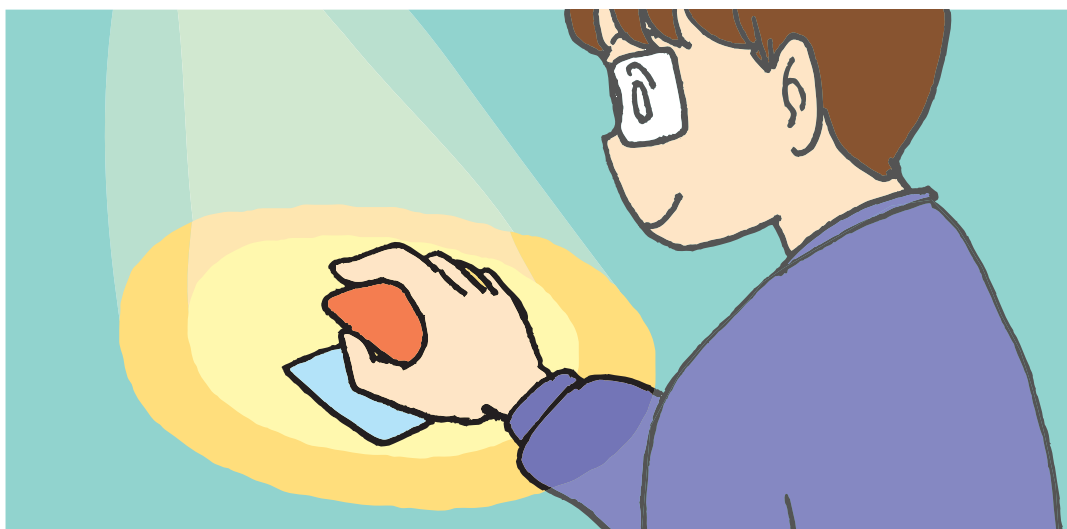
「メディアオンライン」の「ギャラリー」は、音楽や映画、ソフトウェアなどのオンデマンドオンラインコンテンツを集めたメニューです。

（コンテンツにより、視聴には別途料金がかかることがあります。）

メニュー画面
リモコンの▼▲ボタンで選んで決定ボタンを押します

※ Windows Media Centerのセットアップ、「ギャラリー」の表示方法については『映像・音楽を楽しむ本』をご覧ください。

今、注目の新機能③ FeliCa（フェリカ）ポート

【パソコンでも活躍する便利なFeliCa】

FeliCaって聞き慣れないけどホントはもうあちこちで使われている

FeliCa（フェリカ）というと聞き慣れない言葉ですが、JR東日本のSuica（スイカ）やJR東海のTOICA（トイカ）、JR西日本のICOCA（イコカ）、電子マネーのEdy（エディ）カード、おサイフケータイのことは聞いたことがありませんか？

これらは、みんなFeliCaなんです。カードや携帯電話の形をしていますが、仕組みは同じ。中に入っているIC回路によって、持ち主の識別ができて、お金をあずけて財布がわりに使えるなどの機能があります。

パソコンにFeliCa機能があればネットの支払いや残高照会ができる

電子マネーのEdyカードは、店で買い物をするときに使えますが、パソコンにFeliCa機能があれば、インターネットで買い物をするときにも使えます。クレジットカードで支払い（決済）をするためには、クレジット

「FeliCaポート」にFeliCa対応カードをかざすと、この「かざしてナビ」の画面が表示される。この画面から、FeliCaを使ったいろんな機能を使える(FeliCa対応モデルのみ)

「FeliCaポート」を使うための設定については、『準備と設定』をご覧ください。「かざしてナビ」の使い方、および「かざしてナビ」から起動するソフトの使い方については、「サポートナビゲーター」をご覧ください。

カードの番号や名前などの入力が必要ですが、Edyカードなら、「FeliCaポート」にかざすことで、支払い(決済)ができます。

また、交通機関のカード（SuicaやICOCAなど）は、現状では支払い（決済）はできませんが、残高や乗車履歴を見ることができます。交通費の精算のときに便利ですね。

FeliCaの認証機能がセキュリティにも役に立つ

FeliCaの、カードを識別する機能は、パソコンをより便利にします。

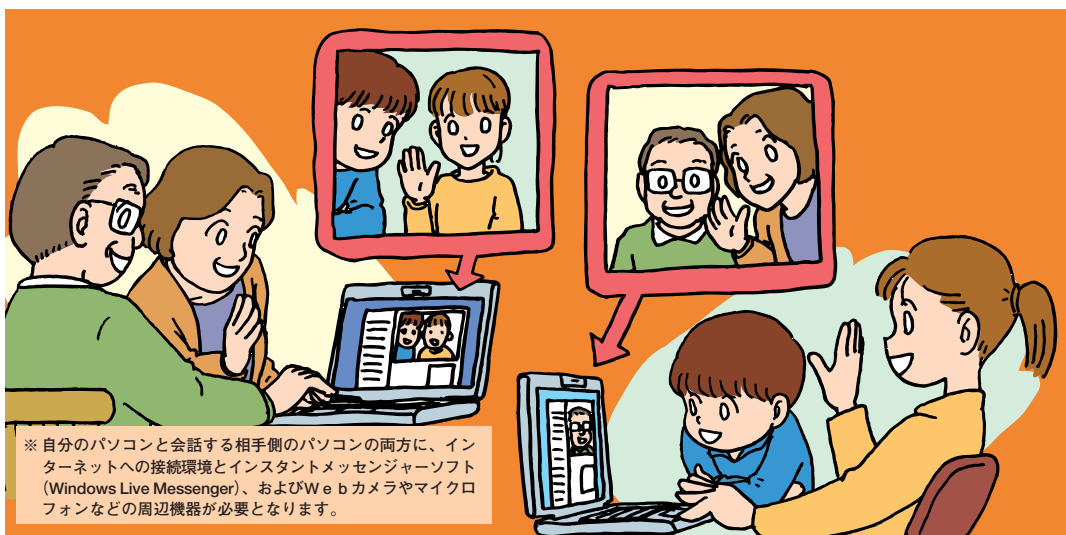
たとえば、あらかじめ登録したFeliCa対応カードがないと見られない秘密の場所を、パソコンの中に作って、そこに個人用のフォルダやファイルを置いておくことができます。

また、FeliCa対応カードをかざすだけで、WebサイトのID、パスワードや名前、住所などを自動入力することができます。

ほかにも、スクリーンセーバーの画面からもとの画面に戻すときに、FeliCa対応カードをかざすことで、パスワードを入力する代わりになります。

今、注目の新機能④ Webカメラ

「Webカメラ」で気軽なコミュニケーション

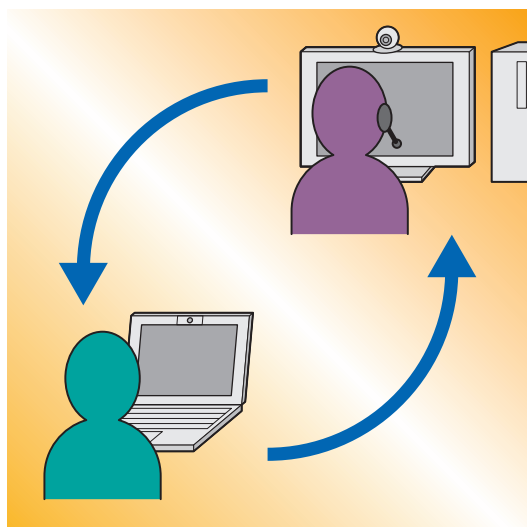
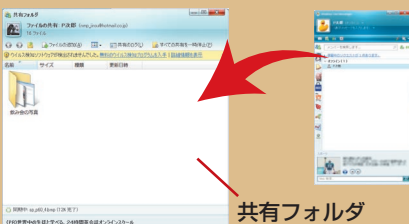
※自分のパソコンと会話する相手側のパソコンの両方に、インターネットへの接続環境とインスタントメッセンジャーソフト(Windows Live Messenger)、およびWebカメラやマイクロフォンなどの周辺機器が必要となります。

遠くのあの人とWebカメラを使ったテレビ電話(ビデオチャット)

テレビ電話なんて昔のSF小説のようですが、パソコンを使ったテレビ電話(ビデオチャット)は、すでに世界中で楽しまれているんです。

パソコンのWebカメラで撮影されたあなたの映像が、インターネットを経由して相手のパソコンに届く仕組み。もちろん、相手の映像もあなたのパソコンで見ることができます。マイクも使えば顔を見ながらリアルタイムでお話できるというわけです。

電話と違って通話料やパケット代がかかりません(インターネットの接続料などは必要となります)。だから、時間を気にせず、故郷の懐かしい友人や遠距離恋愛の恋人とゆっくり会話が楽しめます。田舎のおじいちゃんおばあちゃんにお孫さんの顔を見せてあげるのもいいですね。

ビデオチャットはたくさんのデータを送受信する必要があるため、ADSLや光ファイバーなどのブロードバンド接続のかたにおすすめします。

今、注目の新機能 ④ Webカメラ

「Webカメラ」で撮影された映像がインターネットを通じて送られる。ビデオチャットだけでなく、ビデオや写真を撮影して、メールで送ることも。(Webカメラが搭載されていないモデルでは、別途Webカメラをご用意いただく必要があります)

Windows Live Messengerが大活躍

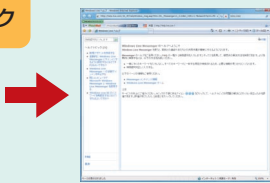
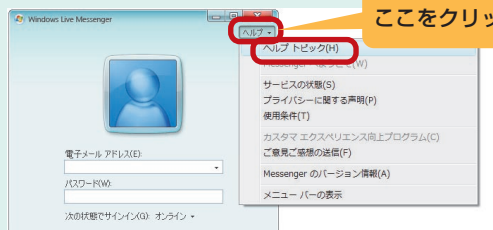
ビデオチャットには、Windows Live Messengerというインスタントメッセンジャーソフトを使います。

Windows Live Messengerは会話を楽しむだけのソフトではありません。キーボードを使った文章によるやりとりはもちろん、離れた友人と対戦できる無料オンラインゲームや、ファイルの転送機能も備えた優れものです。

また、Windows Live Messengerは携帯電話からも使えます（対応機種のみ）。電車の中や待ち合わせの最中でも、パソコンと同じIDでメッセージのやりとりができるんです。

「Webカメラ」を使うための設定については、『準備と設定』をご覧ください(Webカメラ搭載モデルのみ)

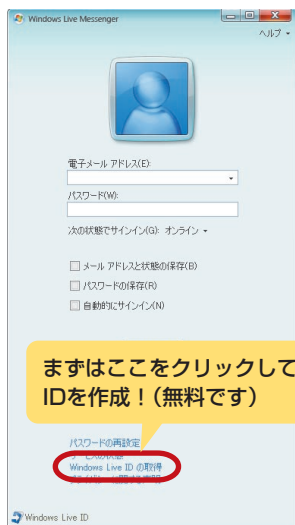
「Windows Live Messenger」のヘルプ

「Windows Live Messenger」の設定方法や使い方は、ヘルプをご覧ください。

※ 内容は変更されることがあります。

ビデオチャットについては、ヘルプの次の項目がお役に立ちます。

「メンバーとのコミュニケーション」の、
- 「Windows Live Messengerでの音声と映像の使用について」
- 「映像通話を開始する、Webcamを送信する、または相手のWebcamを表示する」

まずはWindows Live IDを作成してサインイン

Windows Live Messengerを使うには、Windows Live IDが必要です。まずは、Windows Liveサービスのホームページにアクセスして、Windows Live ID（無料）を作成しましょう。

IDとパスワードが決まったら、早速サインイン。でも相手がいなくちゃ文字どおりお話になりませんね。友達や家族、同僚やサークルの仲間など、さまざまな人をメンバーに追加して、会話を楽しみましょう。すでにWindows Live Messengerを使っている人なら、その人のWindows Live IDを登録。そうでない人にも、招待メールで参加を呼びかけることができます。

チャットを始めるまでの流れ

Windows Live IDを作成
▼
サインイン
▼
メンバー登録
▼
ビデオチャット開始！

詳しくは、Windows Live Messengerのホームページをご覧ください。
http://messenger.live.jp/index.htm

Qcam for NECのビデオエフェクトで気分を変えておしゃべりも（Webカメラ搭載モデルのみ）

顔を見ながらおしゃべりできるのがビデオチャットのいいところ。

でも、Webカメラに顔を映したくないときもありますよね。寝不足だったり、お化粧していなかったり。散らかった部屋を相手に見られてしまうのも気まずいですね。

そんなときは、Qcam for NECのアバターを使ってみましょう。

アバターはあなたの分身となるキャラクターです。Qcam for NECのビデオエフェクトで選んだアバターが、あなたに代わって相手のパソコンの画面に登場します。

Webカメラから取り込まれたあなたの顔の動きに合わせ、アバターも表情を変えるので、臨場感のある会話を楽しむことができます。

あなたに合わせて
アバターの表情が変化

付けひげや王冠を追加する
フェースアクセサリも楽しい

Qcam for NECで手軽な写真撮影 もちろんビデオだってOK

せっかくのカメラ、ビデオチャットだけではもったいない。Qcam for NECを使えば、手軽に写真やビデオを撮影することができます。

ビデオエフェクトを使ってフェースアクセサリをつけた状態でも撮影できますから、王冠をかぶった写真を撮って、その画像をブログに載せたり、友達にメールしたりするのも楽しいですね。

Qcam for NECの「写真を撮る」または「ビデオを録画」をクリックするだけ
撮影したデータは、下段の「ギャラリー」に一覧表示される

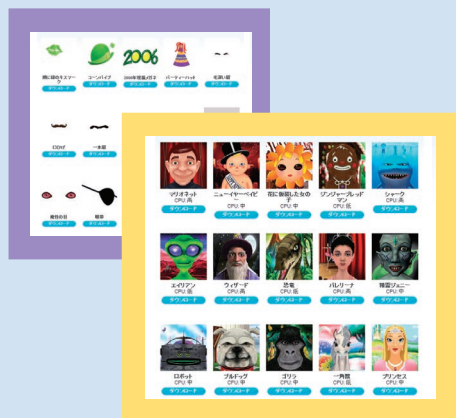
フェースアクセサリをつけた写真はもちろん、アバターの写真やビデオも撮影することもできる

Qcam for NECの使い方は、「サポートナビゲーター」や、Qcam for NECのヘルプをご覧ください。

アバターやフェースアクセサリは、インターネットからダウンロードして追加することも

Webカメラがあればログオンも顔パスで

シンプルログオン機能※とWebカメラのコンビもなかなかのもの。

あなたの顔をWebカメラに映すことで、パソコンにログオンできるのです。まさに顔パス感覚ですね。

※FeliCa対応モデルのみ

あなたの顔を3回撮影して登録。次からは顔パスでログオン

索引

A～Z

あ

か

ら

わ

■このマニュアルで使用しているソフトウェアの正式名称

(本文中の表記)	(正 式 名 称)
Windows、Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic Service Pack 1 Microsoft® Windows Vista® Home Premium Service Pack 1 Microsoft® Windows Vista® Business Service Pack 1 Microsoft® Windows Vista® Ultimate Service Pack 1
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 Service Pack 2 Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版 Service Pack 2 Microsoft® Windows® XP Media Center Edition 2005 operating system 日本語版
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer	Windows® Internet Explorer®
ワード2007、Word 2007	Microsoft® Office Word 2007
エクセル2007、Excel 2007	Microsoft® Office Excel® 2007
アウトルック2007、Outlook 2007	Microsoft® Office Outlook® 2007
IME 2007	Microsoft® IME 2007
サイドバー	Windows® サイドバー
Windows Media Center	Windows® Media Center
Windows Media Player	Windows Media® Player 11
Windows Update	Windows® Update
「スタート」、スタートボタン、スタート	Windows Vista® スタート ボタン
セキュリティセンター	Windows® セキュリティ センター
WinDVD for NEC	InterVideo® WinDVD® for NEC
WinDVD BD for NEC	InterVideo WinDVD BD® for NEC
DVD MovieWriter for NEC	DVD MovieWriter® for NEC Ver.5
筆ぐるめ	筆ぐるめ Ver.15
ウイルスバスター	ウイルスバスター™ 2008
BeatJam	BeatJam 2008 for NEC PCOMG117NBG
EdyViewer	EdyViewer 2.1.1.1
かざしてナビ	かざしてナビ for NEC PC106NBG
Corel Paint Shop Pro Photo	Corel® Paint Shop Pro® Photo XI
Windows Live Messenger	Windows Live™ Messenger

■本文中の記載について

・本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。
・記載している内容は、このマニュアルの制作時点のものです。お問い合わせ先の窓口、住所、電話番号、ホームページの内容やアドレスなどが変更されている場合があります。あらかじめご了承ください。

■ Designed for Windows® program について

本製品には、Designed for Windows® program のテストにパスしないソフトウェアを含みます。

■商標について

Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、Office ロゴ、Excel、Outlook、PowerPoint、DirectX、Windows Media、Windows LiveおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
インテル、Intel、Pentium、Celeronはアメリカ合衆国およびその他の国におけるIntel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。
“Blu-ray Disc”は商標です。
「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
「FeliCa」は、ソニー株式会社の登録商標です。
「Edy」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
「eLIO」は、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
JR東日本　Suica利用承認第4号。当該承認は、東日本旅客鉄道株式会社が本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。東日本旅客鉄道株式会社の都合により、予告なくSuicaカードが交換されることがあります。

「TOICA」は東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
「ICOCA」は西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
「PiTaPa」は株式会社スルッとKANSAIの登録商標です。
(株)パスモ商標利用許諾済　第18号

PASMOマーク及びPASMOは(株)パスモが本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。

(株)パスモの都合により予告なくPASMOカードが交換されることがあります。
「PASMO」は、株式会社パスモの登録商標です。
「おサイフケータイ」はNTTドコモの登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
「Near Field Rights Management」および「NFRM」は、日本国内における株式会社フェイスの商標または登録商標です。
TRENDMICRO及びウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
Corel、Paint Shop Proは米国およびその他の国におけるCorel Corporationあるいはその子会社の商標または登録商標です。
Corel、InterVideo、WinDVD、InterVideo WinDVD BD、Ulead、Ulead DVD MovieWriterはCorel Corporation およびその関連会社の商標または登録商標です。
Logitech、Logitechロゴ、QuickCamは、米国及び他国でのLogitechの商標又は登録商標です。
Logicool、Logicoolロゴ、その他Logicoolマークは、日本及び他国でのLogicoolの商標又は登録商標です。
DLNA はDigital Living Network Alliance の商標です。
SmartVisionは、日本電気株式会社の登録商標です。
BIGLOBEはＮＥＣビッグローブ株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルで説明されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、NEC121 コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
4. ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

VALUESTAR
LaVie

2 活用ブック

初版 2008年4月
NEC
853-810601-739-A
Printed in Japan

NECパーソナルプロダクツ株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11-1（ゲートシティ大崎 ウエストタワー）

このマニュアルは、再生紙を使用しています。